

取扱説明書

AV 一体型メモリーナビゲーション

AVIC-RQS722ZS

はじめにお読み
ください

はじめに設定
しましょう

基本操作

ナビゲーションを
使う

音楽や映像を
楽しむ

電話を使う

本機をバージョン
アップする

オプション品を
使う

付録 故障かな?と思ったら
メッセージと対処方法
など

お買い上げいただきありがとうございます

- ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
- 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- 詳しい操作方法または新機能・変更点は、右の2次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



お客様登録・商品登録のお願い

新商品やバージョンアップ等に関するご案内

など、さまざまなサービスがご利用可能となりますので、ぜひご登録をお願いいたします。



お客様登録・商品登録については、P.18をご覧ください。

バージョンアップについては、P.120をご覧ください。




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

NV3_v3.4+

接続・取り付け

警告



禁止

本機の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない
放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。



禁止

DC24V車では使用しない

本機はDC12V⊖アース車専用です。
DC24V車で使用すると火災や故障の原因になります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。



強制

エアバッグの動作を妨げないように、取り付け位置や角度の調整を行う

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。



禁止

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用しない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。



強制

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類はしっかりと固定する

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

＋－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。



注意



禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けけない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。



禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けけない

発煙や発火、故障の原因となります。



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

使用方法



警告



禁止

画面だけを見ながらの運転はしない
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造、修理をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。コードを切断したり、被覆を切って他の機器の電源をとるのは絶対におやめください。アースコードの改造や、他の機器のアースコードと途中で接続することは絶対におやめください。



禁止

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

ナビゲーションの設定・調整・確認を行う際にエンジンをかける場合は、パーキングブレーキをかけギアをPレンジまたはニュートラルにする車が動き出さないようにしてください。

エンジンをかける場合は、排気ガスがこもらないように、十分な換気を行う
特にガレージなど、閉めきった場所でエンジンをかけたまま長時間の作業を行なうと排気ガスが充満し、非常に危険です。

実際の交通規制に従って走行する
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があります、交通事故の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用し、専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換は販売店などに依頼してください。

夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する
事故の原因となります。



注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。



接触禁止

スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となります。



禁止

モニターを開いた状態でコラムシフトレバーの操作をしない
コラムシフトレバーを握る手がモニターに当たって、ケガの原因となることがあります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
どのような操作、タイミングで発生したのかなど、詳細情報を販売店かサービス相談窓口にお伝えください。

ご使用上のご注意

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますので、ご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や常識を逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

ナビゲーションの電源について



- ナビゲーションの電源スイッチはありません。エンジン切るとナビゲーションの電源が切れます。

モニターの開閉について



指のケガに
注意

- 本機は、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にするとモニターが自動的に閉じます。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。
- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。



- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- SD™ カード出し入れ時などのモニターが完全に開いた状態では、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしても自動的にモニターが閉じることはありません。

8cmディスクの使用について



- 8 cmディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cmディスクも絶対に使用しないでください。

SDカードの使用について



- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れをしないでください。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードが完全に挿入されていない状態で**モニターを閉じる**にタッチしないでください。カードが破損する恐れがあります。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

本機が探索するルートと収録データについて

- 本機が探索するルートは、案内道路種別や交通規制などの収録情報を考慮した目的地に至る道順と案内の一例であり、最適とは限りません。
- 近接する交差点や側道、立体交差の案内は、交差点拡大図や音声案内の方向が実際の道路形状と合わない場合があります。
- 本機には地図データ、交通規制データ、検索データが収録されており、地図データ収録時点の内容となっております。誤字・脱字・位置のずれ・音声・画像の表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、各AVソースの再生モード、渋滞情報などの設定が工場出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

本機と接続可能な通信機器について

Wi-Fi®テザリング対応機器とネットワークスティックの両方を本機と接続している場合、ネットワークスティックによる通信接続を優先します。

プローブ情報について

本機は工場出荷状態よりプローブ情報送信設定が「ON」です。そのため、本機と通信機器を接続後に表示される「通信サービス利用規約」を許諾後より、車両を通じて収集される位置・時刻・設定内容などの走行状況（プローブ情報）が専用サーバーにアップロードされます。本機能はご利用状況に応じて設定を「OFF」にできます。➡「スマートループ渋滞情報™を利用する」(P.84)

本機の使用を中止する時のご注意

本機には自宅や登録地などお客様の個人情報に関わる情報が記録されています。本機の使用を中止する場合等は工場出荷状態に戻すことを推奨します。➡「設定の初期化」(P.152)

また、オーナーズリンクのお客様登録および商品登録、MapFan会員登録、MapFanスマートメンバーズ登録もあわせて退会してください。

Bluetooth® 機器 (iPhone/スマートフォン) について

Bluetooth対応のiPhone/スマートフォンなどでも、機種や契約などの条件によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。本製品とスマートフォンを接続する際、利用状況によっては充電に時間がかかる場合があります。

SDカードについて

- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- 本機でSDカードを使う場合は、専用フォーマットソフトでフォーマットを行ったSDカードを使用することを推奨いたします。専用フォーマットソフトについてはSDアソシエーションのホームページでご確認ください。
< <https://www.sdcard.org/ja/> >

- パソコンの標準機能などでフォーマットしたSDカードは、本機が認識しない場合があります。
- SDカードにデータが保存されている場合、フォーマットを行うとデータが消去されます。フォーマット前にはデータのバックアップを作成することを推奨します。
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を当社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、当社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業を実行してください。

著作権

次に記載するデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- － 本製品に収録されたデータ及びプログラム
- － WEBやインターネット接続機器からダウンロードされたデータ及びプログラム

お客様が保存されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された電話帳・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

- 商品をご購入いただいたお客様には、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」でお客様登録・商品登録をされることをお勧めしております。ご登録情報をもとに、お客様一人お

一人に合わせたきめ細かなサポート＆サービス（専用ページなど）やお役立ち情報をご提供しております。お手持ちのパソコンやiPhone/スマートフォンから弊社ホームページにアクセスいただき、ご登録手続きをお願いいたします。

➡「お客様登録をする（無料）」(P.18)

- お客様登録にはメールアドレスが必要です。

オートアンテナ車にご注意

本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

その他

- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報を含まれません。また、この情報は弊社指定の拠点および弊社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 当社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

こんなことができます

● 目的地とルートを探す



キーワードやジャンル、登録した場所、履歴などから目的地を検索できます。渋滞情報や有料道路などを考慮したルート検索もできます。(➡P.73)

● 渋滞情報を確認する



VICS 情報やスマートループ渋滞情報™を利用して、リアルタイムな渋滞情報を確認できます。(➡P.83)、P.84)

● 音楽や映像を楽しむ

テレビを見る



ハイビジョンでテレビを楽しむことができます。番組表から番組を探すこともできます。

➡『ユーザーズガイド - 操作編』の「テレビを見る」

iPhone/ スマートフォンの音楽を聴く



iPhone/ スマートフォンの音楽を Bluetooth で接続して、本機で再生できます (Bluetooth Audio)。

iPhone/iPod は、USB ケーブルで接続することでも音楽を再生できます。(➡P.41)、P.107)

後部座席で映像を楽しむ



パイオニア製リアモニター (市販) を接続すると、映像ソースを後部座席でもお楽しみいただけます。(➡P.112)

● インターネットを楽しむ



パイオニア製ネットワークスティック (市販) と「docomo in Car Connect」を利用して、車内でインターネット通信ができます (車内 Wi-Fi スポット)。(➡P.37)

● 電話を使う



iPhone/ スマートフォンなどと Bluetooth で接続すると、ハンズフリーで通話ができます。(➡P.118)

● ドライブレコーダーを使う



パイオニア製ドライブレコーダーユニット（市販）を接続すると、本機を通して映像の確認やドライブレコーダーユニットの操作ができます。(➡P.134)

● バックアイカメラを使う



バックアイカメラ（別売）を接続して、車の後方の映像を本機の画面に表示できます。(➡P.135)

● バージョンアップする



バージョンアップすると、最新の地図や新機能が使えるようになります。(➡P.43)、P.120)

目次

はじめにお読みください

ご使用上のご注意.....	5	ナビスタジオ登録地点データ変換ツール について.....	15
ご使用前に知っておいていただきたいこと.....	6	最新のバージョンアップ情報について.....	15
こんなことができます.....	8	本機の表示モードについて.....	16
取り扱い情報（説明書）の構成について.....	12	登録が必要な機能について.....	17
本書の見かた.....	13	お客様登録をする（無料）.....	18
本機の使いかたを調べるには.....	15	連携アプリについて.....	23
よくあるご質問について.....	15	画面の操作方法.....	24

はじめに設定しましょう

初回起動時に設定が必要です.....	25	iPhone/ スマートフォンを本機の Wi-Fi に繋いでインターネットを楽しみたい （車内 Wi-Fi スポット）.....	37
起動モードの設定.....	25	本機で車内 Wi-Fi スポットを利用でき るようにする.....	39
マイセットアップの設定.....	25	iPhone/ スマートフォンを Bluetooth® で接 続してハンズフリー通話や音楽を楽しみたい.....	41
車両に合わせた設定を行う.....	28	Bluetooth 対応機器を登録する（ペ アリング）（初回のみ）.....	42
車両情報の設定.....	28	通信機能を使って最新の地図やプログラム に更新する（自動地図更新）.....	43
外部機器取り付け後の設定.....	29	バージョンアップ操作を行う.....	43
ステアリングオーディオスイッチの設 定を行う.....	29	自動地図更新について設定する.....	45
カメラの設定を行う.....	29	最新データを手動で確認する.....	45
駐車アシスト線を調整する.....	31		
サブウーファーの設定を行う.....	32		
AUX の設定を行う.....	32		
ドライブレコーダーの設定を行う.....	33		
リアモニターの出力設定を行う.....	34		
通信機器を使ってできること.....	35		
通信機器（Wi-Fi テザリング）を登録する.....	36		

基本操作

各部の名称とはたらき.....	46	メニュー画面を操作する [おすすめモー ド].....	55
音量を調整する.....	49	メニュー画面を操作する [カンタンモー ド].....	60
AV ソースの音量.....	49	リスト画面の操作.....	63
ナビゲーション（操作音・案内）の音量.....	49	ステータスバーの見かた.....	64
ディスプレイを調整する.....	50	本機のカスタマイズ.....	65
ディスプレイの明るさを切り換える.....	50	トップメニューに表示するショートカットを選ぶ.....	65
画質を調整する.....	52	カスタムキーを使う.....	66
モニターの角度を調整する.....	53		
画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）.....	54		

ナビゲーションを使う

現在地の地図（現在地画面）を表示する ...68	場所を登録する.....80
よく使う機能呼び出す（クイックリスト）...69	場所を探して登録する.....80
地図の操作.....70	現在地を登録する.....81
地図を動かす.....70	自宅を登録する.....81
カーソル位置を微調整する.....70	ルート上の渋滞情報を確認する.....83
地図の表示スケールを変更する.....70	スマートループ渋滞情報™を利用する.....84
地図の表示モードを変更する.....72	ナビゲーションを使いやすく設定する.....87
目的地を検索してルートを設定する.....73	ナビ機能設定.....88
案内開始画面の見かた.....75	地図設定.....93
ルート案内中の地図画面の見かた.....76	自車の位置を修正する.....97
ルートを消去する.....79	

音楽や映像を楽しむ

音楽や映像を再生しよう.....98	Hi-Res オーディオを再生する.....106
AV ソースを切り換える.....98	iPhone/ スマートフォンの音楽を聴く (Bluetooth Audio).....107
AV ソースを OFF にする.....98	iPhone/iPod を再生する.....108
USB メモリー／ iPhone/ スマートフォン の接続方法.....99	DVD/CD を再生する.....109
VTR などの外部映像機器／ドライブレ コーダー（AUX）の接続方法.....99	SD カードを再生する.....110
Apple CarPlay を利用する.....100	リアモニターを使ってみよう.....112
Android Auto™ を利用する.....103	音質設定.....112
AV ソースを再生する.....105	再生できるファイルとメディアの種類.....114

電話を使う

ハンズフリー通話をしてみよう.....118

本機を本機をバージョンアップする

バージョンアップ（地図更新）をしよう ...120
地図更新用SDカード送付サービスについて ...122
地図更新用SDカード送付サービスを申し込む ...123
WEB からバージョンアップデータをダ ウンロードする（全データ更新）.....126
SD カードを本機に挿入してバージョン アップを行う.....128

オプション品を使う

本機に接続可能なオプション品について.....130
ドライブレコーダーを使ってみよう.....134
バックアイカメラを使ってみよう.....135

付録

故障かな？と思ったら.....136
エラーメッセージと対処方法.....147
設定の初期化.....152
本体リセットのしかた.....153
取り扱い上のご注意.....153
保証書とアフターサービス.....157
仕様.....158
VICS 情報有料放送サービス契約約款.....160
商標・著作権など.....162
索引.....166

取り扱い情報（説明書）の構成について

弊社は環境保護の観点から紙資源の使用量を見直し、本製品の取り扱い情報をいくつかの媒体を介して、お客様に提供しています。

取扱説明書（本書）

製品に同梱されている説明書です。本機を使い始める前に、必ずお読みください。

本機をご購入後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、基本的な使いかたを説明しています。また、本機と組み合わせ可能なオプション品の紹介、困ったときの対処方法なども説明しています。

ユーザーズガイド

各機能の使いかたをはじめ、各種設定やバージョンアップ方法について詳しく説明しています。取扱説明書と合わせて必ずご確認ください。

iPhoneやスマートフォン、タブレットやパソコンなどを使って閲覧することができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLにアクセスしてください。

< <https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/> >









メモ

- ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

本書の見かた

はじめにお読みください

表記例	説明
 ボタン  ボタン	ナビゲーション本体のボタンを表します。 
設定 ルート	画面上に表示されるキーを表します。 
「〇〇」(➡P.XX) ➡「〇〇」(P.XX)	参照いただきたい箇所を表します。
 注意	注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
 メモ	知っていただきたいことや補足事項を記載しています。

- 各メニュー画面は工場出荷時の状態で表記しています。
- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 本書で使用している画面例は、「表示モード設定」を「おすすめモード」に設定した場合のものです。
- 工場出荷時の地図の表示はスカイビューですが、本書の説明ではヘディングアップビューを使用しています。

用語

- SDメモリーカード、SDHC™メモリーカードおよびSDXC™メモリーカードを総称して「SDカード」と表記する場合があります。
- USBメモリーなどのUSBストレージ機器を総称して「USBメモリー」と表記する場合があります。
- iPhoneおよびiPodを総称して「iPod」と表記する場合があります。
- Android™ OS搭載のスマートフォンを「スマートフォン」と表記します。

本機の使いかたを調べるには

本書では、次の3つの探しかたで本機の使いかたを調べることができます。

- 目次(P.10～P.11)・・・やりたい操作、使用目的から探せます。
- こんなことができます(P.8～P.9)・・・本機の特長や機能から探せます。
- 索引(P.160～P.169)・・・・・・・・・・キーワードから探せます。

よくあるご質問について

本機のご利用に関するよくあるご質問については、パイオニアホームページのFAQからご確認いただけます。

< <https://faq2.jpn.pioneer/app/answers/list/p/261> >



ナビスタジオ登録地点データ変換ツールについて

ナビスタジオ登録地点データ変換ツールをお使いいただくことで、他のカロッツェリア カーナビより登録地点情報を引き継ぐことができます。(対応機種などの詳しい内容は「オンラインマニュアル」にてご確認ください。)

ナビスタジオ登録地点データ変換ツールのダウンロードおよび「オンラインマニュアル」の確認は、弊社ホームページ< <https://jpn.pioneer/ja/car/navistudio/> >をご覧ください。

最新のバージョンアップ情報について

バージョンアップに関する情報はMapFanサイト*をご確認ください。

(地図データおよびプログラム修正が含まれます)

< <https://shop.mapfan.com/ext/maker/carrozzeria.html> >

*「MapFan」サイトはジオテクノロジーズ株式会社が運営しています。


プログラム修正等の最新バージョンアップについては、パイオニアホームページの「お客様サポート」よりお使いの機種を選択していただき、各機種のサポートページ内にあるお知らせより最新の情報をご確認ください。

パイオニア製ネットワークスティック(市販)やWi-Fiテザリング対応機器を使って通信している場合は、最新の地図データやプログラムの更新確認を自動で行い、更新データがあるときは通知されます。

本機の表示モードについて

本機には、次の2つの表示モードがあります。お客様の好みに合わせて切り換えてください。

- おすすめモード(出荷時設定)
- カンタンモード

切り換えは、「マイセットアップ」(⇒P.25) または、「設定」(⇒P.59) の  → **表示モード設定**で行います。

おすすめモード



カンタンモード



● トップメニューの操作方法

カンタンモードにすると、タッチのみで操作できます。

おすすめモードでは、タッチ操作に加えて、フリック操作もできます。

● 地図表示

カンタンモードにすると、おすすめモードでの地図スケール表示はそのままに、ロゴマークや主要な表示物、文字、交差点拡大図の一部表示物を拡大表示します。

● 案内音量

カンタンモードにすると、おすすめモードより大きめの音量で案内します。

● メニュー画面の操作/内容

おすすめモード：「メニュー画面を操作する[おすすめモード]」(⇒P.55)をご覧ください。

カンタンモード：「メニュー画面を操作する[カンタンモード]」(⇒P.60)をご覧ください。

登録が必要な機能について

以下の機能をお使いいただくために各種登録を行ってください。

パイオニアホームページ オーナーズリンク		MapFan サイト		ハガキでの 申し込み
お客様 ID/ パスワード登録 + 商品登録		会員 ID/ パスワード登録 + MapFan 連携登録	MapFan スマート メンバーズ入会*	申込ハガキ + シリアル No ラベル
無償 有償	地図更新用 SD カード 送付サービス	—	—	○
	通信機能を使った自動 バージョンアップ (差分更新)	○	○	—
	WEB からデータを ダウンロードして行う 手動バージョンアップ (全データ更新)	○	○	—
	オービスライブ	○	○	—

※ MapFanスマートメンバーズの入会（登録）にはクレジットカードが必要です。はじめて入会（登録）された月から1年後の同月1日に、ご登録のクレジットカードから2年目の年会費が自動的に決済されます。以降、退会（会員登録の解除）されるまで1年毎の自動決済となります。自動決済の1ヶ月前にご登録のメールアドレスに会員継続の確認メールを送信します。継続をご希望でない場合は退会（会員登録の解除）を行ってください。

例)



登録方法や機能の詳細については、以下をご覧ください。

- バージョンアップ
 - ➡ 「お客様登録をする（無料）」 (P.18)
 - ➡ 「バージョンアップ（地図更新）をしよう」 (P.120)
- オービスライブ
MapFan スマートメンバーズサイト：
< <https://sp.mapfan.com/mfpi/view> >

「MapFanスマートメンバーズ」の入会方法（登録方法）や詳細については、以下の専用ページをご覧ください。
< <https://sp.mapfan.com/mfpi/view> >

はじめにお読みください

お客様登録をする(無料)

パイオニアホームページ「オーナーズリンク」で、「お客様登録・商品登録」、「MapFan連携登録」を行っていただくと、新商品やバージョンアップなどに関するお知らせをご案内いたします。

また、有償にて下記の機能がご利用いただけるようになります。

- 本機の地図データやプログラムのバージョンアップ
- オービスライブ(自動速度取締機の位置を音と地図上でお知らせ)
- 新商品やバージョンアップなどに関するご案内

ご利用にあたって必要な登録は、「登録が必要な機能について」(➡P.17)を参照してください。

メモ

- 「MapFan」サイトでお使いのナビゲーションの登録が完了すると、引き続きMapFanスマートメンバーズ(有料)に入会(登録)することができます。MapFanスマートメンバーズについては以下のURLをご確認ください。<https://sp.mapfan.com/mfpi/view>
 - ナビゲーションを複数台ご利用の場合は、ナビゲーションと同数のMapFan会員IDが必要です。MapFan連携登録に使用したMapFan会員IDを他のナビゲーションにお使いいただくことはできません。
 - メール受信拒否設定および、特定URL付メールの受信拒否設定をされているお客様は、弊社からのURLが記載されたメールを受信できるように設定してください。(弊社ドメイン名: support.pioneer.jpを受信許可ドメインに追加してください)
 - 本機の使用を譲渡等で終了する場合は、お客様自身で登録商品解除の手続きを行い、個人情報の消去や本機とdocomo in Car Connectの連携を解除するようお願いいたします。特にdocomo in Car Connectの連携を解除しないと、譲渡された方が利用登録できませんので、ご注意ください。また、譲渡を受けた場合は、必ずオーナーズリンクからお客様登録を行っていただきますようお願いします。➡「お客様登録および商品登録を行う」(P.19)
 - お客様登録はインターネットに接続したパソコンでも行うことができます。「オーナーズリンク」にアクセスし、画面に従って登録操作を行ってください。
< <https://car-users.pioneer.jp/> >
-

お客様登録および商品登録を行う

ここでは、「お客様登録・商品登録」、「MapFan連携登録」をパソコンで行う方法について説明します。

✖️ 主な

- 登録はiPhone/スマートフォンでも行うことができます。オーナーズリンクにアクセスし、パソコンで行う手順を参考に画面に従って登録してください。

< <https://car-users.pioneer.jp/> >



1 商品に同梱の保証書をお手元に用意します

商品登録の際には保証書に記載された製造番号、もしくは本機に表示されるデバイスナンバーが必要になります。デバイスナンバーについて、詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「バージョン情報を確認する」をご覧ください。

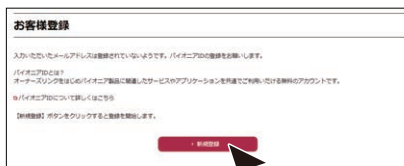
2 「オーナーズリンク」にアクセスします

< <https://car-users.pioneer.jp/> >

3 メールアドレスを入力して[次へ]をクリックします

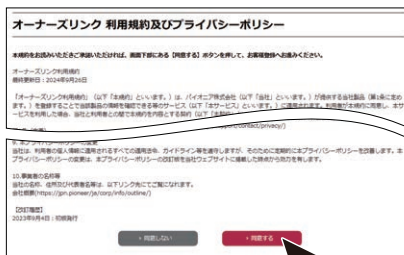


4 以前に登録をされていないメールアドレスの場合はパイオニアIDの新規登録になりますので、このまま[新規登録]をクリックします



利用規約が表示されます。

5 利用規約を確認し、内容にご同意いただける場合は[同意する]をクリックします



はじめにお読みください

6 画面に従ってパスワードの設定をします

入力が終わったら[設定]をクリックします。

メモ

- パスワードは忘れないように保管してください。

7 登録したメールアドレス宛に6桁の確認コードが送信されます

メモ

- メールに記載された確認コードは、メール受信後24時間以内のみ有効です。24時間を過ぎると確認コードは無効になり、再度申請が必要になります。
- メールが届かない場合、ご利用のセキュリティソフトやメールソフトに迷惑メール防止機能等が付いていると、迷惑メールフォルダーやゴミ箱に自動的に振り分けられた可能性がありますのでご確認ください。

8 送られてきた確認コードを入力して[次へ]をクリックします

9 [商品を登録する]をクリックします

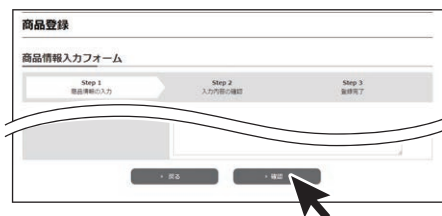
10 商品の型番を入力して検索を行うか、もしくは商品を絞り込んで検索を行います

11 お使いの商品が表示されたら、その商品をクリックします

12 [この商品を登録する] をクリックします



14 以降の情報を入力し [確認] をクリックします



13 保証書に記載されている「製造番号 (アルファベットと数字の12桁)」と、「CW:」の後ろに記載されたアルファベット1文字を入力します

お手元に保証書がない場合は、本機に表示されるデバイスナンバーを入力してください。デバイスナンバーについて、詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「バージョン情報を確認する」をご覧ください。

15 入力した内容を確認し、問題がなければ [登録] をクリックします



MapFan 連携登録にチェックが入った状態で登録を行います。

はじめにお読みください

連携アプリについて

NaviCon

NaviConは、行き先を探したり、行き先をワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon (iPhone版 / Android 版) は無料でご利用いただけます。

インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト：

< <https://navicon.com/user/support/> >



メモ

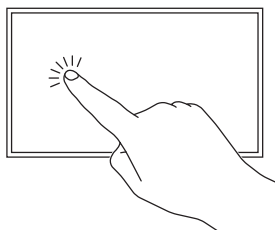
- NaviConを使用するには、iPhoneの場合はBluetooth接続またはUSB接続で、スマートフォンの場合はBluetoothで接続する必要があります。
➡「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(P.42)
- NaviConはApple CarPlayのワイヤレス接続とは同時にはご利用になれません。

画面の操作方法

画面のタッチ操作について説明します。

タッチ

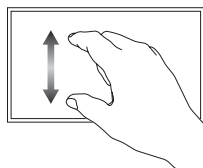
タッチキーを指で軽くたたきます。



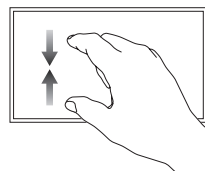
ピンチアウト/ピンチイン

2本の指でタッチしたまま指を開きます / 閉じます。

ピンチアウト

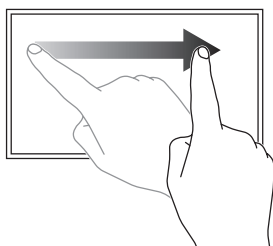


ピンチイン



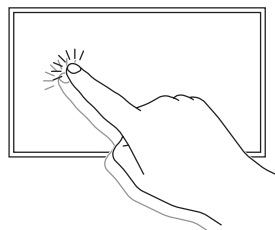
ドラッグ

タッチしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



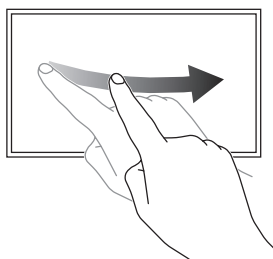
ダブルタップ

指の位置を動かさずに2度指で軽くたたきます。



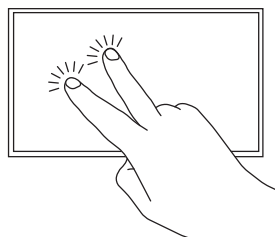
フリック

タッチしたまま、移動したい方向と逆の向きに指を軽くはじきます。



2点タッチ

2本の指を離して軽くたたきます。



初回起動時に設定が必要です

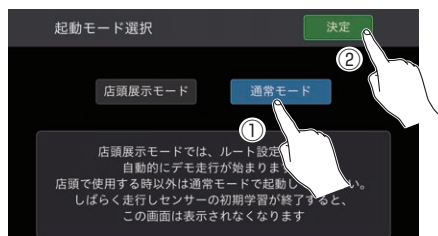
本機をはじめて起動すると、次の設定画面が表示されます。

- 起動モード選択画面
- マイセットアップ画面

画面の表示に従って、設定を行きましょう。

起動モードの設定

センサーの初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されます。**通常モード**→**決定**の順にタッチしてください。



メモ

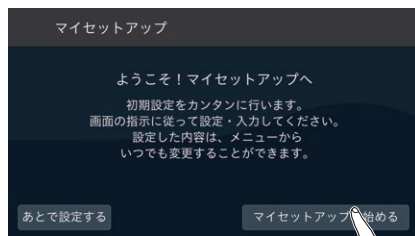
- **店頭展示モード**を選択しないでください。**店頭展示モード**を選択し**決定**にタッチしてしまった場合は、エンジンをかけ直してください。
- センサーの初期学習中とは、センサーを利用可能にするために車や取り付け状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。
- センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「センサー学習の状況を確認する」をご覧ください。

続いて、マイセットアップ画面が表示されます。

マイセットアップの設定

マイセットアップでは、本機の基本的な設定を画面の指示に従って簡単に行うことができます。本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

- 1 **マイセットアップを始める**にタッチします



メモ

- あとで設定したい場合は、**あとで設定する**にタッチしてください。次回起動時もマイセットアップが起動します。
- 設定した内容を変更したい場合は、トップメニューの**設定**→**設定アイコン**から**マイセットアップ**にタッチしてください。

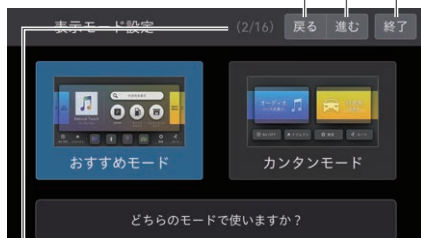
はじめに設定しましょう

2 画面の指示に従って各項目を順番に設定します

マイセットアップを終了します。

設定内容を保存し、次の画面を表示します。

設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

● お客様登録

画面に表示されている2次元コードをiPhone/スマートフォンで読み取って、お客様登録を行うことができます。登録方法につきましては➡「お客様登録および商品登録を行う」(P.19)をご覧ください。

● 表示モード設定

本機の使い方を「おすすめモード」か「カンタンモード」のいずれかから選びます。➡「本機の表示モードについて」(P.16)



おすすめモード(出荷時設定)



カンタンモード

● ショートカット設定

表示モードを「おすすめモード」に設定している場合は、トップメニューに表示される4つのショートカットを変更できます。➡「トップメニューに表示するショートカットを選ぶ」(P.65)



ショートカット

音量設定

ナビゲーションの案内音量や操作音、受話音量、着信音量などを設定します。⇒「**音量を調整する**」(P.49)

自宅設定

自宅の場所を設定します。⇒「**自宅を登録する**」(P.81)

Wi-Fiテザリング設定

iPhone/スマートフォンなどの通信を利用して、本機をインターネットに接続できます。渋滞情報や天気情報などの便利な情報を取得することができます。⇒「**通信機器 (Wi-Fiテザリング) を登録する**」(P.36)

Bluetooth設定

Bluetooth設定に関する案内が表示されます。

プローブ情報送信設定

プローブ情報送信の有無 (ON/OFF) を設定します。スマートループ機能^{*}を利用するには、ONに設定します。

※リアルタイムな渋滞回避ルートや新しい施設の入り口情報など、ドライブに役立つ情報を提供します。

自動更新設定

最新の地図データやプログラムの更新確認を自動で行うかどうかを設定できます。⇒「**自動地図更新について設定する**」(P.45)

カスタムダイレクト設定

普段よく使う機能を、カスタムキー①～③に登録すると、ワンタッチで操作できます。⇒「**カスタムキーを使う**」(P.66)

ステアリングリモコン設定

ステアリングオーディオスイッチを使う場合に設定します。⇒「**ステアリングオーディオスイッチの設定を行う**」(P.29)

メモ

- ステアリングオーディオスイッチの設定は、ご購入時に車種に合わせてすでに設定されています。ここでの設定は不要です。

車両情報設定

車両情報を登録すると、有料道路の料金表示や駐車場の検索に登録情報を利用できます。⇒「**車両情報の設定**」(P.28)

ETC/ETC2.0取付状態設定

「車に取り付けている」を選択すると、機能設定の「スマートIC/ETC専用出入口考慮ルート探索」および「ETCレーン案内」はONになり、「料金案内」はOFFになります。

車内Wi-Fiスポット

車内Wi-Fiスポットに関する案内が表示されます。

Apple CarPlay

必要に応じて、Apple CarPlayの登録を行ってください。

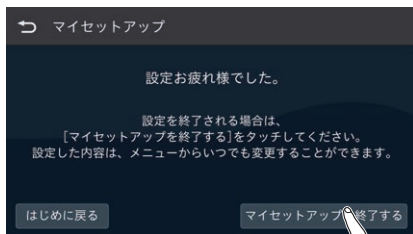
⇒「**Apple CarPlayを利用する**」(P.100)

Android Auto

必要に応じて、Apple CarPlayの登録を行ってください。

⇒「**Android Auto™を利用する**」(P.103)

3 マイセットアップを終了するにタッチします



車両に合わせた設定を行う

本機を取り付けた車両に合わせて各種設定を行います。

車両情報の設定

車両情報を登録すると有料道路の料金表示や駐車場の検索に車両情報が反映されます。

メモ

- マイセットアップで設定した場合はここでの設定は不要です。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の **設定** にタッチします

3 レンチアイコン → **車両情報設定** にタッチします



4 各種設定を行います



有料道路料金区分

有料道路で案内される料金区分を設定します。

駐車制限(車種)

車種を設定します。

駐車制限(車両寸法)

車両の寸法(長さ、幅、高さ)を設定します。

外部機器取り付け後の設定

バックアイカメラやパイオニア製ドライブレコーダーなどの別売品や市販品を本機に接続した後は、正常に動作させるために、設定を行ってください。

各種設定を行った後、走行を開始すると、ナビの精度をよくするためのセンサー学習を自動的に行います。学習動作中に操作等を行っても問題はありません。センサー学習中にエラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージと対処方法」(➡P.147)の「センサー学習」を参照して、エラーの原因を取り除いてください。

ステアリングオーディオスイッチの設定を行う

ステアリングオーディオスイッチの設定は、ご購入時に車種に合わせてすでに設定されています。お好みの機能をステアリングオーディオスイッチに割り当てたい場合のみ再度設定してください。

1 ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の **設定** にタッチします

3 ➡ **ステアリングリモコン設定** にタッチします



4 設定したい項目にタッチします



OFF

ステアリングオーディオスイッチを使用しない場合に選択してください。

学習

お好みの機能をステアリングオーディオスイッチに割り当てることができます。詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「ステアリングオーディオスイッチに機能を割り当てる」をご覧ください。

スズキ

あらかじめステアリングオーディオスイッチに割り当てられた機能のまま使用したい場合に選択してください。

カメラの設定を行う

本機にバックアイカメラを接続した場合は、カメラ設定を行ってください。

1 ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の **設定** にタッチします

はじめに設定しましょう

3 カメラ設定にタッチします



4 各項目を設定します

バックカメラ入力

本機にバックアイカメラを接続したときに設定します。

ON	本機にバックアイカメラを接続したときに設定します。
OFF	バックアイカメラを接続していないまたは一時的に使用しないときに設定します。

カメラ極性設定

本機にバックアイカメラを接続したときに車のバック信号の極性に合わせて設定します。

High	接続状態画面で、シフトレバーをリバース (R) に切り換えた場合に「バック信号」の表示がHighになる車両のときに選びます。
Low	接続状態画面で、シフトレバーをリバース (R) に切り換えた場合に「バック信号」の表示がLowになる車両のときに選びます。

メモ

- 「バックカメラ入力」をONにすると設定できます。
- もし間違えて設定してしまった場合、再度エンジンをかけなおすとカメラが故障する恐れがあるため、エンジンを切る前に「カメラ極性設定」に従って、極性を設定しなおしてください。
- 接続状態画面は、**設定→接続状態**から確認できます。

駐車アシスト線表示

駐車アシスト線の表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定します。

駐車アシスト線調整

駐車アシスト線の調整をします。→「駐車アシスト線を調整する」(P.31)

接続するバックカメラの種類

本機に接続するバックアイカメラの種類を設定します。

HDカメラ	HD画質のカメラを接続するときに設定します。
ノーマルカメラ	SD画質のカメラを接続するときに設定します。

メモ

- 「バックカメラ入力」をONにすると設定できます。
- バックアイカメラを接続した後は、本設定を必ず行ってください。

カメラビュー表示連動設定

バックアイカメラの映像をカスタムキー、ステアリングオーディオスイッチの操作で表示することができます。

車両スイッチ 簡易連動	本機では使用しません。
接続アダプター連動	本機では使用しません。
連動OFF	バックアイカメラの映像を表示します。
設定OFF	バックアイカメラの映像を表示しません。

カメラビュー表示自動OFF時間

カスタムキー、ステアリングオーディオスイッチの操作でバックアイカメラの映像を表示してから、表示を自動で解除するまでの時間を30秒、1分、3分から設定します。

メモ

- 「カメラビュー表示連動設定」が「連動OFF」のときに設定できます。
- シフトレバーをリバース (R) に切り換えて表示するバックアイカメラ映像の表示時間には影響ありません。

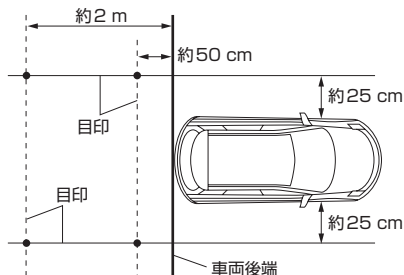
駐車アシスト線を調整する

駐車アシスト線の表示位置を調整します。

メモ

- あらかじめ「駐車アシスト線表示」をONにしてください。
- 車種によっては駐車アシスト線の調整ができない場合があります。
- 車種によっては駐車アシスト線が二重に表示される場合があります。この場合は、「駐車アシスト線表示」をOFFにしてください。
- バックアイカメラの装着位置によっては、駐車アシスト線が画面内に収まらない場合があります。

- 1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ+約50 cm と+約2 m の位置にガムテープなどで目印を付ける



- 2 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

- 3 画面下部の **設定** にタッチします

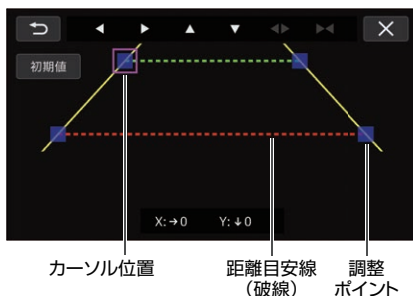
- 4 **カメラ設定** にタッチします



- 5 **駐車アシスト線調整** にタッチします



- 6 調整ポイントまたは距離目安線をドラッグして位置を調整します



メモ

- 調整ポイントにタッチし、**◀/▲/▶/▼** にタッチしても位置を調整できます。
- 距離目安線にタッチし、**◀▶** または **◀▶** にタッチすると、左右の調整ポイントをまとめて調整できます。
- **初期値** にタッチすると、調整ポイントを工場出荷時の位置に戻します。
- バックアイカメラが映し出す範囲は、バックアイカメラの取り付け位置と取り付け向きによって変わります。このため、片方のポイントがナビ画面の端に位置して、ナビ画面上の本書の記載どおりの位置でポイント調整ができない場合があります。できるだけ、バックアイカメラを車両中央に近く低すぎない位置に取り付けてください。

はじめに設定しましょう

サブウーファーの設定を行う

本機にサブウーファーを接続した場合は、サブウーファーの設定を行ってください。

1 サブウーファーを固定し、車の窓やドアを閉めます

2 任意のAVソースを再生します

→「AVソースを切り換える」(P.98)

3 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

4 画面下部の⚙️設定にタッチします

5 🗨️→サブウーファーにタッチして、ONにします



6 位相やカットオフ周波数の調整を行う場合は、サブウーファー設定にタッチします



設定方法について、詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「音質設定」をご覧ください。

AUXの設定を行う

本機に外部機器を接続した場合は、AUXの入力設定を行ってください。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 🗨️→入力/出力設定にタッチします



4 AUX入力設定にタッチして、ONにします



AVメニューの「AUX」が選択できるようになります。

メモ

- 「ドライブレコーダー設定」が「ON(AUX)」のときは設定できません。

ドライブレコーダーの設定を行う

本機にパイオニア製ドライブレコーダーユニット「VREC-DS810DC」(市販)を接続した場合は、ドライブレコーダーリンク機能の入力設定を行ってください。

メモ

- 「ドライブレコーダー設定」を「ON(AUX)」または「ON(HDMI)」にすると、AVメニューの「AUX」または「HDMI」が「ドライブレコーダー」に切り換わります。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 入力/出力設定にタッチします



4 ドライブレコーダー設定にタッチしてON(AUX)またはON(HDMI)にタッチします



お使いの接続形式に合わせて設定してください。
お使いの接続形式が不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

▼
ドライブレコーダーリンク機能の設定が完了します。

リアモニターの出力設定を行う

本機にパイオニア製リアモニター（市販）を接続した場合は、接続形式に合わせて出力設定をしてください。

メモ

- 工場出荷時は「RCA」に設定されているため、本機とリアモニターをHDMI®で接続した場合はここでの設定で「HDMI」に切り換えてください。

1 設定ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の **設定** にタッチします

3 **入力/出力設定** にタッチします



4 **リアモニター出力設定** にタッチして、**RCA**または**HDMI**に切り換えます



タッチするたびに「RCA」と「HDMI」が切り換わります。

お使いの接続形式に合わせて設定してください。お使いの接続形式が不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

通信機器を使ってできること

通信機器を接続すると、専用サーバーやインターネットを経由して、さまざまな情報の取得やインターネット通信、自動バージョンアップが可能になります。あらかじめ、通信機器の接続や設定を行っておくと便利です。

専用サーバーや
インターネット



天気情報



自動地図更新

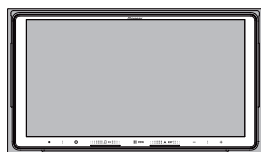


渋滞情報



車内 Wi-Fi スポット※

など



Wi-Fi テザリング対応の
iPhone/ スマートフォン / 通信機器

または



パイオニア製ネットワークスティック
(市販)

※ ネットワークスティックの接続と docomo in Car Connect
の契約が必要です。

できること

- 天気情報の取得
- スマートループ渋滞情報TMの取得 (➡P.84)
- オンデマンド渋滞情報の取得
- 専用サーバーを使用した地点検索
(お出かけ検索、駐車場満空情報、ガススタ価格情報)
- 車内Wi-Fiスポット(ネットワークスティック
接続時のみ) (➡P.37)
- 自動地図更新(バージョンアップ)
(➡P.43)

通信機能を使うには

以下のいずれかの通信機器を本機に接続する必要があります。

- パイオニア製ネットワークスティック(市販)
を本機に接続する
- Wi-Fiテザリング対応のiPhone/スマートフォン/通信機器を本機に接続する
(➡P.36)

はじめに設定しましょう

通信機器 (Wi-Fiテザリング) を登録する

メモ

- Wi-Fiテザリングをご使用時の通信料は、お客様のご負担となります。
- Wi-FiテザリングはApple CarPlayのワイヤレス接続とは同時にはご利用になれません。

1 登録したい iPhone のインターネット共有、またはスマートフォン/通信機器の Wi-Fi テザリング機能を ON にします

2 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

3 画面下部の **設定** にタッチします

4 **Wi-Fiテザリング 設定** にタッチします



5 **Wi-Fiテザリング** にタッチして、ON に切り換えます



タッチするたびに ON/OFF が切り換わります。

6 **接続先 設定** にタッチします



7 **接続先 設定** にタッチします



8 接続したい通信機器 (またはアクセスポイント) にタッチします



通信機器 (またはアクセスポイント) との接続を行います。

接続に成功すると、背景が青色になります。



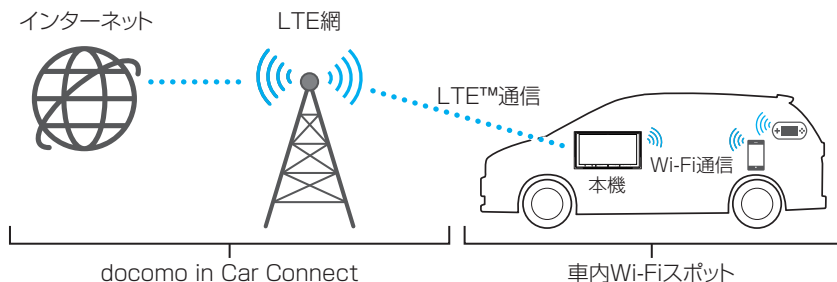
再接続するには、iPhoneのインターネット共有、またはスマートフォン/通信機器の Wi-Fiテザリング機能をONにしてください。自動接続を許可した登録済みの通信機器は、自動で Wi-Fi 接続されます。詳しくは『ユーザーズガイド - 操作編』の「自動接続を ON/OFF する」をご覧ください。

メモ

- 登録したい通信機器 (またはアクセスポイント) にセキュリティが設定されている場合は、パスワードを入力して接続を行います。

iPhone/スマートフォンを本機のWi-Fiに繋いでインターネットを楽しみたい(車内Wi-Fiスポット)

株式会社NTTドコモが提供する「docomo in Car Connect」サービスを契約すると、本機をアクセスポイントとして使用でき、iPhone/スマートフォン、タブレットなどでインターネット通信を利用できます(車内Wi-Fiスポット)。



車内Wi-Fiスポットを使うには

以下の準備が必要です。

- パイオニア製ネットワークスティック(市販)の接続
- 「dアカウント」の作成

ドコモの回線をお持ちでない方も無料で発行できます。法人回線に紐づくアカウントは利用できません。

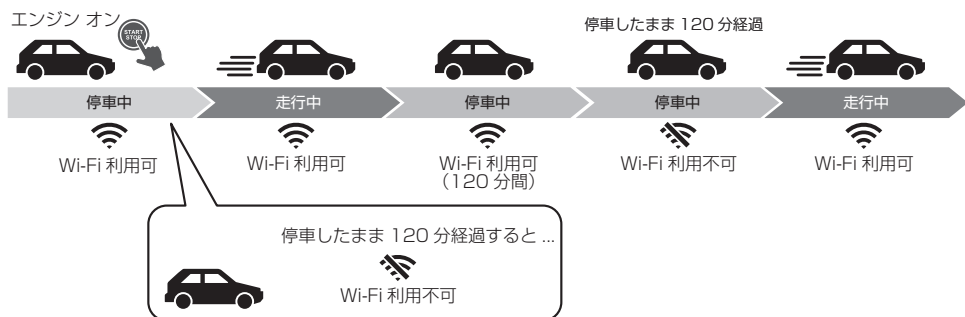
- 「docomo in Car Connect」の利用登録とチャージ

詳しくは『ユーザーズガイド - 操作編』の「車内Wi-Fiスポットを使用する」をご覧ください。

車内Wi-Fiスポット機能の動作条件

車内Wi-Fiスポット機能は、走行状態を検知し、カーナビゲーションが車両に取り付けられていることを判断できている間、インターネットをご利用いただけます。

エンジン始動後は、走行判定できていない状態が続いていても、累積して120分間は車内Wi-Fiスポット機能を利用できます。120分が経過すると、車内Wi-Fiスポット機能が利用できなくなります。走行状態を検知した後は、停車したままでも120分間車内Wi-Fiを利用することが可能です。120分経過後、機能が停止しますので、再び走行してください。



車内Wi-Fiスポット機能が利用できないときは、車内Wi-Fiスポット設定画面の「車内Wi-Fiスポット」に「ON (一時停止中)」と表示されます。



メモ

- 車内Wi-FiスポットはApple CarPlayのワイヤレス接続とは同時にはご利用になれません。
- オンラインゲームなどお楽しみいただくコンテンツによっては、通信の仕様に、通信が不安定になる場合があります。
- エンジンをオンにして本機が起動した直後は、Wi-Fi接続できるようになるまでに時間がかかる場合があります。
- 本機が走行状態を判定するまでに時間がかかる場合があります。また、実際には走行中でも走行状態と判定されない場合があります。

本機で車内Wi-Fiスポットを利用できるようにする

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 車内Wi-Fiスポット設定にタッチします



4 サービス利用登録にタッチします



5 iPhone/スマートフォンで2次元コードを読み取り、docomo in Car Connect専用サイトで利用登録とチャージを行います



6 車内Wi-Fiスポット設定画面で、車内Wi-FiスポットにタッチしてONにします



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。ONにすると、本機をアクセスポイントとして使用できます。

メモ

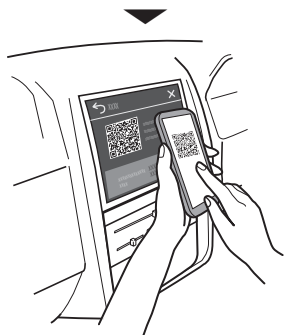
- 「車内Wi-Fiスポット」に「ON(一時停止中)」が表示されている場合は、車両の走行が一定時間、認識できていないため、車内Wi-Fiスポットを停止しています。車両を走行させると使用できるようになります。

はじめに設定しましょう

7 車内Wi-Fiスポット接続にタッチします



8 iPhone/スマートフォンで2次元コードを読み取り、画面の表示に従って操作します



本機とiPhone/スマートフォンがWi-Fiで接続され、車内Wi-Fiスポットとしてインターネットに接続できるようになります。

車内Wi-Fiスポット設定画面について

車内Wi-Fiスポット設定画面では、以下の操作や表示を確認できます。



サービス利用登録

docomo in Car Connectサービスの専用サイトへアクセスできる2次元コードを表示します。

サービス利用期限

docomo in Car Connectサービスの利用期限を表示します。

車内Wi-Fiスポット

ONにすると、本機をアクセスポイントとして、iPhone/スマートフォンとWi-Fi接続できます。

車内Wi-Fiスポット接続

iPhone/スマートフォンで2次元コードを読み取って、本機にWi-Fi接続できます。また、本機のネットワーク名 (SSID) とパスワードが表示されます。iPhone/スマートフォンから本機を検索してWi-Fi接続するときは、このネットワーク名 (SSID) とパスワードを使用します。ネットワーク名 (SSID) とパスワードは、変更することもできます。

接続中デバイス

本機に接続しているデバイスの台数が表示されます。

ネットワークスティック接続状態

ネットワークスティックの接続状態または受信感度を表示します。

ネットワークスティック有効期限

ネットワークスティック (装着しているUIMカード) の有効期限を表示します。

iPhone/スマートフォンをBluetooth®で接続してハンズフリー通話や音楽を楽しみたい

iPhoneやスマートフォン、タブレットなどのBluetooth対応機器と本機をBluetoothで接続すると、接続した機器を利用して次の機能を使用できます。

- **ハンズフリー通話**
➡「ハンズフリー通話を試みよう」(P.118)
- **音楽再生 (Bluetooth Audio)**
➡「iPhone/スマートフォンの音楽を聴く (Bluetooth Audio)」(P.107)
- **ナビ機能連携 (NaviCon連携機能)**



Bluetooth対応機器と接続するには

Bluetooth機器を使うには、本機にBluetooth接続する機器を登録しておく必要があります。

➡「Bluetooth対応機器を登録する (ペアリング) (初回のみ)」(P.42)

メモ

- 最大5台までBluetooth機器を登録できます。
- Bluetooth対応のiPhone/スマートフォンなどでも、機種や契約などの条件によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。
- 本機とBluetooth接続可能な機器情報については、下記URLでご確認ください。

< <https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/> >

Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をONにします
- 2 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します
- 3 画面下部の⚙️設定にタッチします
- 4 機器登録/削除にタッチします



メモ

- ボタンまたは○ボタンを長くタッチすることでも、機器登録/削除画面を表示できます。
(Apple CarPlayまたは Android Auto で接続中は、●ボタンを長くタッチしても機器登録/削除画面は表示できません。)

- 5 🔍にタッチします



接続可能なBluetooth機器がリストに表示されます。

- 6 接続したいBluetooth対応機器名が表示されたらタッチします



- 7 本機とBluetooth対応機器の画面に表示される番号が同一であることを確認し、はいにタッチします



- 8 Bluetooth対応機器の画面に表示される指示に従って操作を行います

Bluetooth接続が始まります。

iPhoneを登録すると、接続後にApple CarPlayを利用するかどうかのメッセージが表示されます。これ以降は「Apple CarPlayを利用する」をご覧ください。➡️「Apple CarPlayを利用する」(P.100)

接続が完了すると「登録が完了しました」と表示されます。

メモ

- Bluetooth対応機器から本機を検索して登録することもできます。
- 再接続するには、Bluetooth対応機器のBluetooth機能をONにして、本機の機器登録画面から接続を行ってください。

通信機能を使って最新の地図やプログラムに更新する(自動地図更新) 有償

通信機能を利用して、自動的に地図データや本機のプログラムをバージョンアップできます。
自動的に地図データやプログラムをバージョンアップするには、次の条件が必要です。

- MapFanスマートメンバーズに加入していること
⇒「登録が必要な機能について」(P.17)
- 通信機能が有効であること
⇒「通信機器を使ってできること」(P.35)
- 「自動更新設定」がON(工場出荷時はON)
⇒「自動地図更新について設定する」(P.45)
- 他のバージョンアップ機能が動作していないこと

メモ

- 通信機能を使った自動地図更新は、更新データのダウンロード時に、大容量のデータを送受信するため、パイオニア製ネットワークスティック(市販)のご利用をおすすめします。またWi-Fiテザリングの場合にはお客様がご契約されている通信プランにご注意の上ご利用ください。
- MapFanスマートメンバーズに加入している場合、オービスデータもバージョンアップされます。

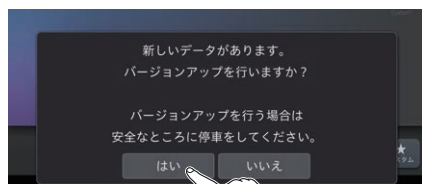
バージョンアップ操作を行う

サーバーに新しいプログラムや地図データが見つかったと、以下の手順1の画面が表示されます。プログラムと地図データを同時に更新する場合を例に説明します。

注意

- バージョンアップを開始する前に、安全なところに停車し、バージョンアップが完了するまでエンジンを切らないでください。

1 はいにタッチします



メモ

- **いいえ**にタッチした後でも、手動で最新データを確認できます。⇒「最新データを手動で確認する」(P.45)

2 バージョンアップ開始確認画面で**はい**にタッチします



- 3 利用規約を最後まで確認の上、**上記内容に同意します**にタッチしてチェックマークを入れてから、**決定**にタッチします

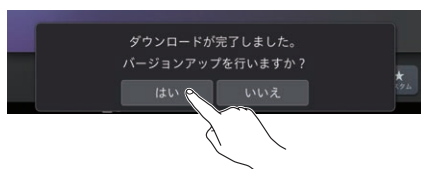


- 4 ソフトウェア利用規約を最後まで確認の上、**上記内容に同意します**にタッチしてチェックマークを入れてから、**決定**にタッチします

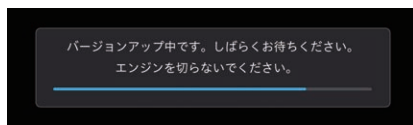


更新データのダウンロードが開始されます。画面下部のアイコンでダウンロード状況を確認できます。→「ステータスバーの見かた」(P.64)

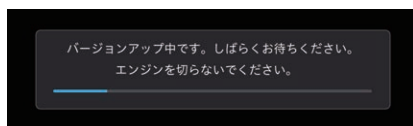
- 5 **はい**にタッチします



プログラムの更新が始まり、進捗状況が表示されます。プログラムの更新が完了すると、本機が再起動します。



地図データの更新が始まり、進捗状況が表示されます。地図データの更新が完了すると、完了メッセージが表示されます。



メモ

- プログラムのみ、または地図データのみを更新する場合は、更新開始後の再起動のタイミングや操作が異なりますが、更新完了メッセージが表示されたら、**確認**にタッチして再起動を行ってください。
- **いいえ**にタッチするとバージョンアップは行わず、翌日以降の起動時に同様の通知画面が表示されます。
- 更新データのダウンロード中にエンジンを切るなどして通信が途切れた場合は、再度通信が有効になってから更新データのダウンロードを再開します。

- 6 **確認**にタッチします



再起動後、バージョンアップが完了します。

自動地図更新について設定する

最新の地図データやプログラムの更新確認を自動で行うかどうかを設定できます。

1 **田**ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の**設定**にタッチします

3 **設定**→**バージョンアップ**にタッチします



4 **自動更新設定**にタッチして、ON/OFFを切り換えます



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

最新データを手動で確認する

「自動更新設定」をOFFに設定しているときに、サーバーまたは本機に接続されているSDカード内に最新の地図データやプログラムデータがあるかどうかの確認を手動で行います。

1 **田**ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の**設定**にタッチします

3 **設定**→**バージョンアップ**にタッチします



4 **更新データ確認**にタッチします



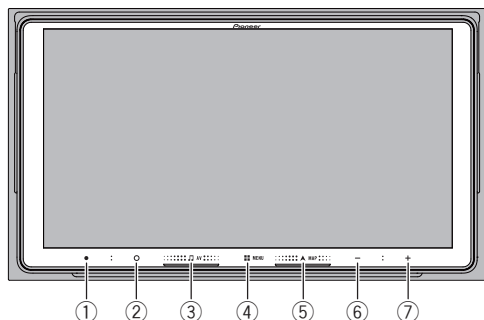
サーバーまたは本機に接続されているSDカード内に有効な最新データがある場合は、バージョンアップの確認画面が表示されます。

はじめに設定しましょう

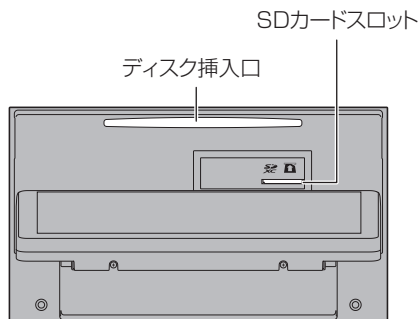
各部の名称とはたらき








■ ナビゲーション

● モニターを閉じているとき



● モニターを開いているとき



	ボタン	はたらき	
①		<ul style="list-style-type: none"> よく使う機能を登録して、ワンタッチで操作できます。➡「カスタムキーを使う」(P.66) 工場出荷時は「トラックダウン」が登録されています。 長くタッチすると、Bluetooth接続可能な機器を検索して表示します。 Apple CarPlay または Android Auto を利用しているあいだは、短くタッチすると音声認識機能が使用できます。その場合、長くタッチする機能は使えません。 	
②		<ul style="list-style-type: none"> よく使う機能を登録して、ワンタッチで操作できます。➡「カスタムキーを使う」(P.66) 工場出荷時は「トラックアップ」が登録されています。 長くタッチすると、Bluetooth接続可能な機器を検索して表示します。 	
③		AVソース画面表示中	AVメニューを表示します。
		AVソース画面以外表示中	AVソース画面を表示します。
④		トップメニューを表示します。	
⑤		● 現在地画面を表示します。	
		● 現在地画面で登録スケールを変更して表示しているときは、表示中の地図のスケールを登録スケールに戻します。	
⑥		<ul style="list-style-type: none"> ● AVソースの音量を調整します。 ● 着信中または通話中の音量を調整します。 	
⑦		● ナビゲーション音声案内の音量を調整します（「音量キーによる案内音量調整」がONの時）。	

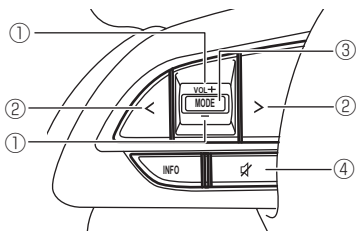
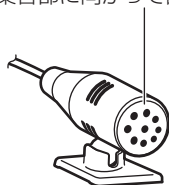
▲ 注意

- 各ボタン周囲の凸部は、衝撃を与えると白化したり、凸部がはがれる場合がありますのでご注意ください。

■ ハンズフリー通話用マイク

集音部

ハンズフリー通話をするときは
集音部に向かって話します。



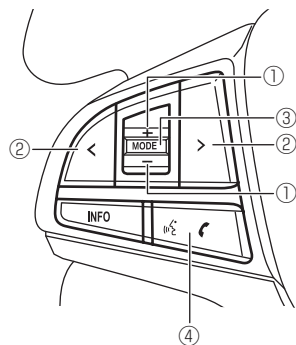
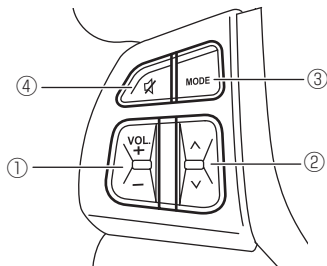
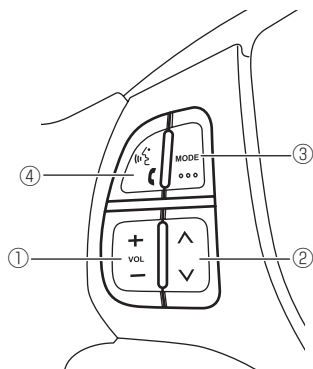
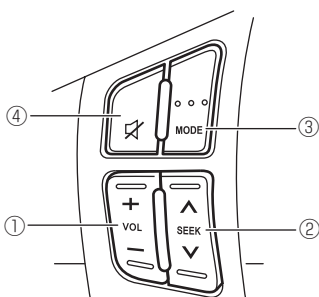
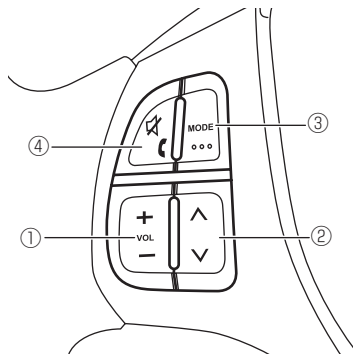
■ ステアリングオーディオスイッチ



本機能は、ステアリングオーディオスイッチ装着車で使用できます。

ステアリングオーディオスイッチにはお好みの機能を割り当てることもできます。詳しくは『ユーザーズガイド - 設定編』の「ステアリングオーディオスイッチに機能を割り当てる」をご覧ください。

▲ 注意

- 走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

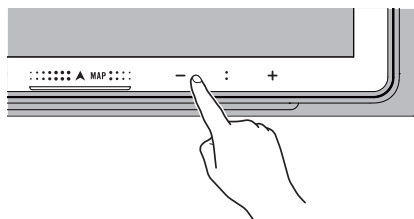


	スイッチ	はたらき	
①	+ / -	● オーディオ音量を調整します。 スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。	
②	▲ / ▼ < / >	FM/AM/TV	短押し： プリセットチャンネルのアップ/ダウン 長押し： 自動選局（シーク選曲）
		DVD/SD	短押し： トラック/チャプターのアップ/ダウン 長押し： タイトル/プレイリストのアップ/ダウン
		CD/iPod/USB/ Bluetooth Audio	短押し： トラック/曲のアップ/ダウン 長押し： 早送り/早戻し
		交通情報	短押し： 1 620 kHz/1 629 kHzの切り替え 長押し： -
③	MODE スイッチ	短押し： AVソースメニューに表示されているソースを順次選択 FM/AM → TV → DVD/CD → Bluetooth Audio → SD → USB (Android Auto) → iPod (Apple CarPlay) → Wi-Fi Audio (Apple CarPlay) → HDMI → AUX → 長押し： AV OFF	
		 <ul style="list-style-type: none">● 機器を接続していないソースや、再生の準備や設定がされていないソースはスキップされます。● 交通情報への切り替えは行われません。	
	MUTE スイッチ	● 押すとオーディオの音声を消音します。再度押すと元の音量に戻ります。	
	H/F スイッチ	● 着信中に押すと、電話を取ることができます。 ● 通話中に押すと、電話を切ることができます。 ● 電話番号の入力がされた状態などに押すと、電話を発信できます。	
④	 <ul style="list-style-type: none">● 車種によって④のスイッチは、ステアリングオーディオスイッチの設定によりMUTEスイッチ（消音）またはH/Fスイッチ（ハンズフリー）のいずれかの機能を選択することができます。➡「ステアリングオーディオスイッチの設定を行う」(P.29)● H/Fスイッチ（ハンズフリー）の操作による電話の発信は、Bluetooth Audioの使用や、電話回線に接続中にはできません。		

音量を調整する

AVソースの音量

- 1 AVソースの再生中に、本体の \square \square ボタンにタッチします



\square ボタンにタッチすると音量が下がり、 \square ボタンにタッチすると音量が上がります。

メモ

- ナビゲーション音声案内時にAVソースの音量を減衰させるには、**音量設定**→**案内音声時AV音量**を「ATT(-10dB)」または「消音」にしてください。➡「ナビゲーション(操作音・案内)の音量」(P.49)
- Android Auto で音楽再生中は、**案内音声時AV音量**の設定を変更してもATTで動作します。
- 音量を一時的に消したい(ミュートしたい)ときは、「カスタムダイレクト設定」で「ミュート ON/OFF」を選択し、カスタムキーにタッチすることで消音できるようになります。➡「カスタムキーを使う」(P.66)

ナビゲーション(操作音・案内)の音量

- 1 \square ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

- 2 画面下部の**設定**にタッチします

- 3 **音量設定**にタッチします



- 4 操作音と案内音および案内音量を調整します



操作音

本機の手音のON/OFFを設定します。

案内音

次の項目のON/OFFを設定します。

- ー ナビゲーション音声案内
- ー ETC2.0またはETCユニット音声案内

案内音量

次の項目の音量を調整します。

- ー ナビゲーション音声案内
- ー 操作音
- ー ETC2.0またはETCユニット音声案内

案内音声時AV音量

案内音声時にAV音量を小さくするか、消音するかを設定します。小さくしたいときは「ATT(-10dB)」を、消音したいときは「消音」を、そのままの大きさを再生するときは「音量変化なし」を選びます。

音量キーによる案内音量調整

ナビゲーションの音声案内中に本体の \square \square ボタンで、ナビゲーション音声案内の音量調整をするかどうかを設定します。

ディスプレイを調整する

ディスプレイの明るさを切り換える

昼モードと夜モードを切り換える

画面の明るさを昼間または夜間に見やすい設定に切り換えることができます。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 ⚙️→画面の明るさにタッチします



タッチするたびに「昼モード」と「夜モード」が切り換わります。

明るさを車両のライトに連動させる

車両のライトに連動して明るさを自動で切り換えます。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 田→画面明るさ切替設定にタッチします



4 切替方法にタッチして、イルミ連動にタッチします



明るさを手動で切り換える

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 田→画面明るさ切替設定にタッチします



- 4 **切替方法**にタッチして、**手動設定**にタッチします



- 4 **切替方法**にタッチして、**夜時間帯設定運動**にタッチします



- 5 **昼/夜 切替**にタッチして、明るさを切り換えます

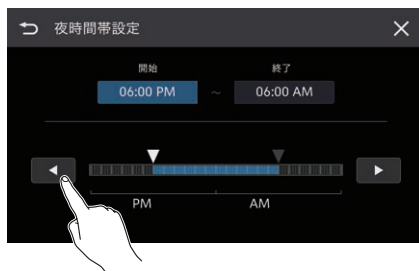


タッチするたびに「昼モード」と「夜モード」が切り換わります。

- 5 **夜時間帯設定**にタッチします



- 6 カーソル (▼) をドラッグするか、◀/▶にタッチして、明るさを切り換える時間を設定します



切り換え時間は、15分刻みで設定できます。

明るさを指定した時刻で切り換える

- 1 **田**ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

- 2 画面下部の**設定**にタッチします

- 3 **画面明るさ切替設定**にタッチします



画質を調整する

画面を見る角度などに応じて、好みの画質に調整することができます。

画質調整は「TV」、「DVD/CD」、「SDまたはUSB」、「AUX」、「HDMI」のAVソースごと、Apple CarPlay、Android Auto、バックアイカメラの画像、その他に設定することができます。

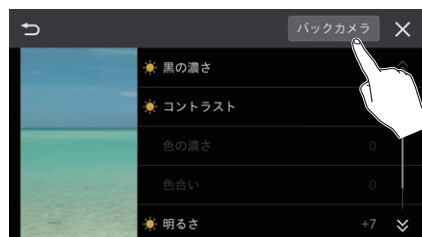
1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の  **設定** にタッチします

3  **画質調整** にタッチします



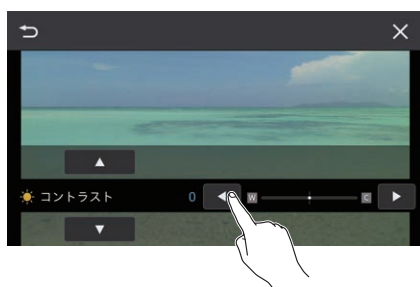
4 **AV / ナビ / バックカメラ / Apps** にタッチして調整対象を切り換えます





5 調整したい項目にタッチします



6   にタッチして、値を調整します




メモ

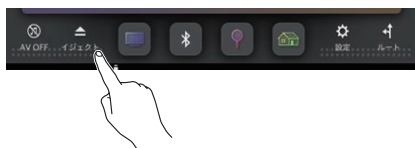
-  /  にタッチすると、調整項目が切り換わります。
- 走行中は操作できません。
- 黒の濃さ、コントラスト、明るさは、イルミネーションのオン/オフに応じ、個別に設定ができます。

モニターの角度を調整する

画面が見やすいようにモニターの角度を5段階で調整することができます。

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 イジェクトにタッチします



3  または  にタッチします



タッチするたびに、モニターの角度が変わります。

メモ

- 角度調整したモニターは、エンジンスイッチをOFFにすると自動で初期位置に戻り、次にエンジンスイッチをONにしたとき自動的に調整した角度になります。
- 工場出荷時は、カスタムキー①にイジェクト機能が登録されています。

画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)

夜間の車内で画面が点灯したままの状態では目が眩しい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 画面左上の「メニュー」ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 AVメニューを表示します

●「おすすめモード」の場合

画面を右へ1回フリックします。



●「カンタンモード」の場合

オーディオソースを選ぶにタッチします。



3 画面OFFにタッチします

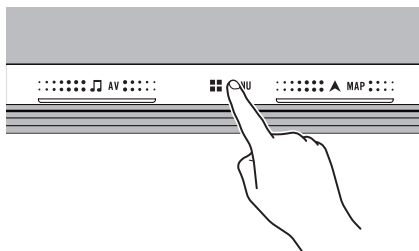


画面が一時的に消えます。

元の画面に戻すには

1 画面または本体ボタンの「音楽」、「AV」、「ナビ」のいずれかにタッチします

例) 画面の「AV」ボタン



元の画面に戻ります。

メモ

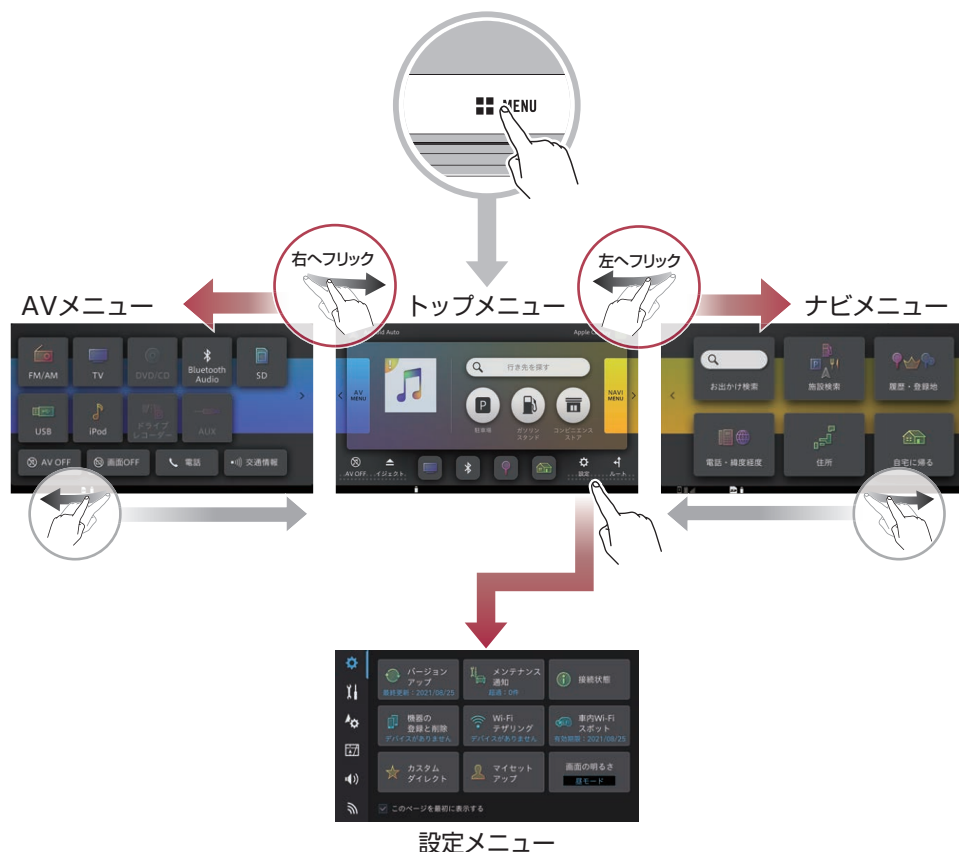
- 本機の状態によって、ナビスタンバイ画面が自動的に解除される場合があります。

メニュー画面を操作する [おすすめモード]

ここでは「表示モード設定」(➡P.16)で「おすすめモード」を選んだ場合の操作について説明します。「カンタンモード」を選んだときは「メニュー画面を操作する[カンタンモード]」(➡P.60)をご覧ください。

メニュー画面を切り換える

各メニュー画面からの切り換えはフリック操作だけでなく、画面左右の「<」・「>」にタッチすることでも切り換えることができます。設定メニューは、トップメニューの⚙️設定にタッチして表示できます。



トップメニュー

トップメニューには、お出かけ検索やダイレクト周辺検索、設定メニューなどが集められています。また、よく使う検索方法やAVソースをお好みで4つまで配置できます。➡「トップメニューに表示するショートカットを選ぶ」(P.65)

お出かけ検索

探したい場所の名称やキーワードを入力して検索します。

AV ウィンドウ

現在再生中の AV ソースの情報を表示します。



ダイレクト周辺検索

自車位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から駐車場、ガソリンスタンド※、コンビニエンスストアを検索できます。

※ 通信機器に接続している場合は、ガソリン価格からガソリンスタンドを検索できます。

ショートカット

よく使う検索方法や AV ソースを 4 つまで配置できます。

➡「トップメニューに表示するショートカットを選ぶ」(P.65)

AV OFF

オーディオ機能の再生や視聴を中止することができます。

イジェクト

DVD/CDやSDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。

設定

製品本体のシステム・機能やナビゲーション機能、オーディオ機能の設定などができます。

ルート

ルート再探索や別ルートの探索などルートに関する操作ができます。

Android Auto

Android Auto 対応のスマートフォンを接続している場合に Android Auto の画面に切り換えることができます。

Apple CarPlay

Apple CarPlay対応のiPhoneを接続している場合に Apple CarPlayの画面に切り換えることができます。

メモ

- 走行規制中などで、操作できないキーは薄く表示されます。トップメニュー以外の画面でも同様です。



ナビメニュー

ナビメニューには、目的地を探すためのさまざまなメニューが集められています。



お出かけ検索

探したい場所の名称やキーワードを入力して検索する画面を表示します。通信機器に接続している場合は、オンラインによる検索ができます。

施設検索

ジャンルから施設を絞り込んで検索できます。都道府県別、自車位置周辺の施設から検索することもできます。通信機能を使って、空いている駐車場や価格の安いガソリンスタンドも検索できます。

履歴・登録地

検索した場所の履歴や登録した場所、よく行くランキング（利用頻度の高い検索上位の施設）から検索できます。

電話・緯度経度

電話番号や、緯度・経度を入力して検索します。

住所

住所を入力して検索します。

自宅に帰る

自宅へのルート探索を行います。自宅が登録されていないときはルート探索できませんので自宅登録を行ってください。➡「自宅を登録する」(P.81)

AVメニュー

AVメニューには、音楽や映像などのAVソースが集められています。



FM/AM

ラジオが聴けます。

TV

地上デジタルテレビ放送を視聴できます。

DVD/CD

挿入されているディスク（DVD、CD）を再生できます。

Bluetooth Audio

Bluetooth機器の音声や、機器内の音楽ファイルを再生できます。

SD

SDカードに保存された音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイルを再生できます。

USB (Android Auto)

Android Auto で接続中は Android Auto に切り換えます。Android Auto で接続していないときは、USBメモリーなどに保存された音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイルを再生できます。

iPod (Apple CarPlay)

Apple CarPlayで接続中は Apple CarPlay に切り換えます。Apple CarPlayで接続していないときは、本機とUSB接続した iPhone/iPodの音楽ファイルを再生できます。

Wi-Fi Audio (Apple CarPlay)

Apple CarPlayでワイヤレス接続中に Apple CarPlayに切り換えます。

HDMI

HDMI機器の映像や音声を再生できます。

AUX

ビデオカメラなどの外部機器の映像や音声を再生できます。

ドライブレコーダー

パイオニア製ドライブレコーダーユニット「VREC-DS810DC」(市販)の映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。

AV OFF

オーディオ機能の再生や視聴を中止することができます。

画面 OFF

一時的に画面を消します。

電話

電話帳や発信履歴などを利用して電話をかけることができます。

交通情報

幹線道路などで放送されているAMの交通情報を聴くことができます。







メモ

- ドライブレコーダーを本機に接続し、「ドライブレコーダー設定」を変更すると、「ドライブレコーダー」を選択できます。
➡「ドライブレコーダーの設定を行う」(P.33)
- 「ドライブレコーダー設定」を「ON(AUX)」または「ON(HDMI)」にすると、AVメニューの「AUX」または「HDMI」が「ドライブレコーダー」に切り換わります。
- 「ドライブレコーダー設定」を「ON」にすると、AVメニューの「HDMI」が「ドライブレコーダー」に切り換わります。

設定メニュー

設定メニューには、本体のシステムやナビ機能、オーディオの設定などが集められています。



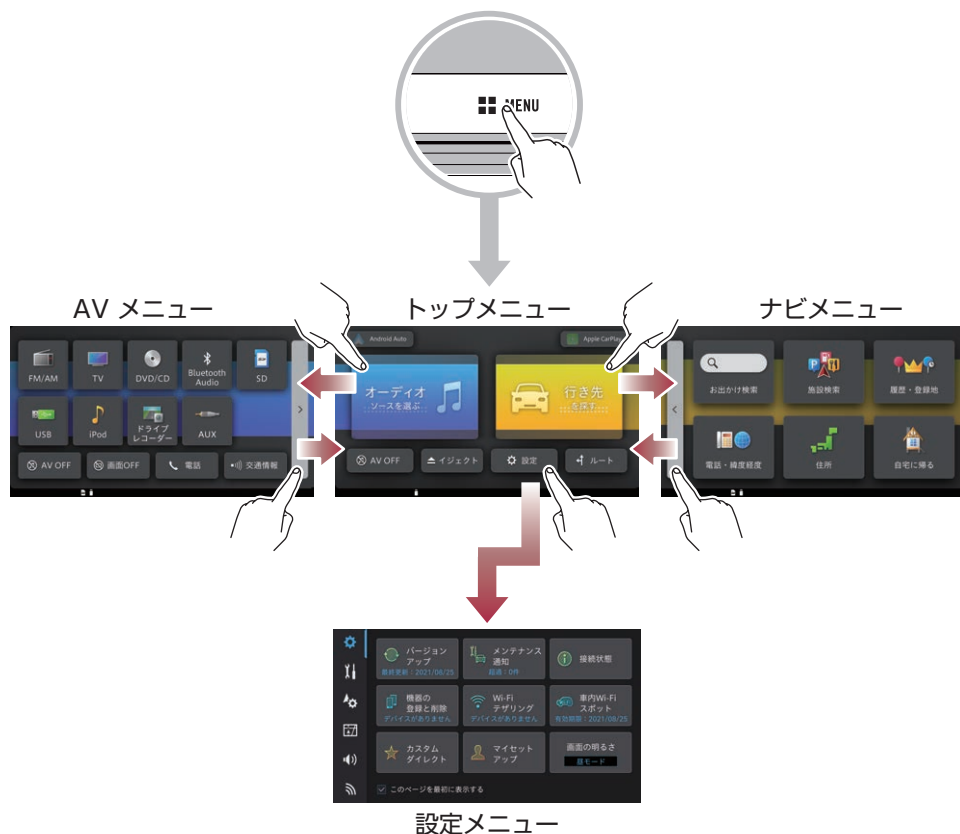
	便利メニュー 本機のプログラムのバージョンや車内Wi-Fiスポット、Bluetooth機器の設定、バージョンアップやマイセットアップなどの設定ができます。「このページを最初に表示する」にチェックを入れると、設定メニューを表示したときに、最初に便利メニューを表示します。
	システム設定・情報 音量やオプション品の設定、画質調整などの設定ができます。また、表示モードの設定もここで変更できます。
	ナビ機能設定 ルートを設定する際のさまざまな条件や、ルートの案内方法など、ナビ機能に関する設定ができます。
	地図設定 地図の表示設定を変更できます。
	オーディオ設定 お好みに合わせて音質の調整ができます。
	通信設定 Wi-Fiテザリングや車内Wi-Fiスポット、Bluetooth接続の設定やスマートループの設定など、通信に関する設定ができます。

メニュー画面を操作する[カンタンモード]

ここでは「表示モード設定」(➡P.16)で「カンタンモード」を選んだ場合の操作について説明します。「おすすめモード」を選んだときは「メニュー画面を操作する[おすすめモード]」(➡P.55)をご覧ください。

メニュー画面を切り換える

設定メニューは、トップメニューの **設定** にタッチして表示できます。



トップメニュー

トップメニューでは、主にAVメニューやナビメニューへの切り換えを行います。
また、オーディオやナビゲーションの各種設定もできます。



オーディオソースを選ぶ

AVメニューを表示します。



行き先を探す

ナビメニューを表示します。

AV OFF

オーディオ機能の再生や視聴を中止することができます。

イジェクト

DVD/CDやSDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。

設定

製品本体のシステム・機能やナビゲーション機能、オーディオ機能の設定などができます。

ルート

ルート再探索や別ルートの探索などルートに関する操作ができます。

Android Auto

Android Auto 対応のスマートフォンを接続している場合に Android Auto の画面に切り換えることができます。

Apple CarPlay

Apple CarPlay対応のiPhoneを接続している場合にApple CarPlayの画面に切り換えることができます。

ナビメニュー（目的地を探す）

ナビメニューには、目的地を探すためのさまざまなメニューが集められています。

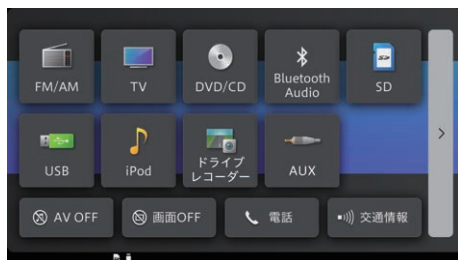
表示される内容は「おすすめモード」と同じです。➡「ナビメニュー」(P.57)



AVメニュー（AVソースを選択する）

AVメニューには、音楽や映像などのAVソースが集められています。

表示される内容は「おすすめモード」と同じです。➡「AVメニュー」(P.58)



設定メニュー

設定メニューには、本体のシステムやナビ機能、オーディオの設定などが集められています。

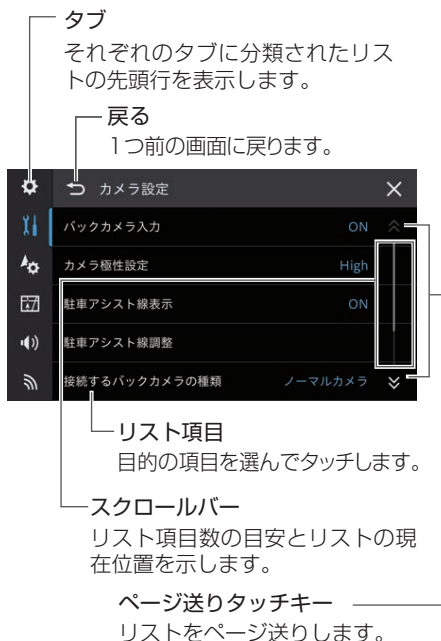
表示される内容は「おすすめモード」と同じです。➡「設定メニュー」(P.59)



リスト画面の操作

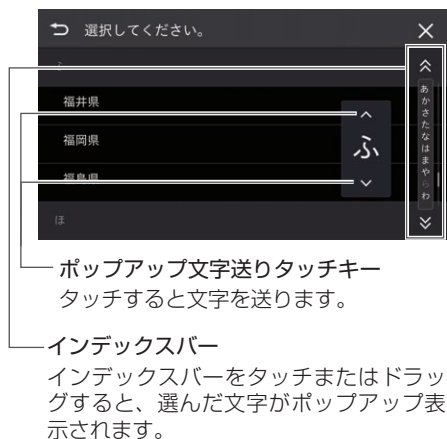
本機では、使っている機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。リストはフリック操作でも切り換えることができます。

基本的なリストの操作

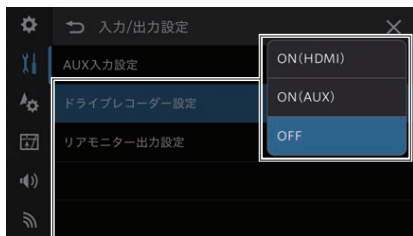


その他のリスト操作

50音インデックス付きリスト



ポップアップメニューの操作



基本操作

並べ替えの操作



チェックタイプリストの操作

















ステータスバーの見かた

本機の設定や接続状況に応じて、画面の下部のステータスバーにアイコンが表示されます。

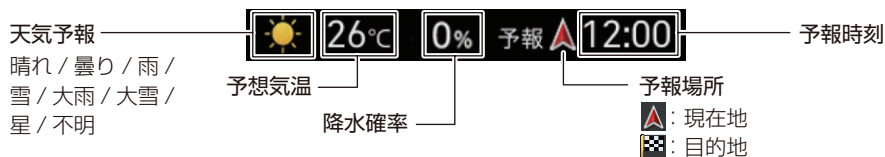


ステータスバー

アイコン	表示内容
 	別売のETCユニットやETC2.0ユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合に表示されます。ETCカードの有効期限が切れているなどして使用できない場合は、橙色で表示されます。
   	本機に登録されたBluetooth機器とBluetooth接続中に表示されます。 機器1（ハンズフリー1）と機器2（ハンズフリー2）それぞれの電波強度と電池残量が表示されます。
  	パイオニア製ネットワークスティック（市販）を接続しているときに表示されます。左から順に、「車内Wi-Fiスポット」がONに設定されているとき、「車内Wi-Fiスポット」がONに設定されているが車内Wi-Fiスポットが停止しているとき、「車内Wi-Fiスポット」がOFFに設定されているときに表示されます。
	iPhoneやスマートフォンなどの通信機器を使って、本機がWi-Fiテザリングで通信しているときに表示されます。
	AVソースの音声をミュート（消音）したときに表示されます。
	地図更新データがダウンロードできるときに表示されます。
	プログラム更新データがダウンロードできるときに表示されます。
	地図更新データとプログラム更新データがダウンロードできるときに表示されます。
 取得中 / 更新NEW 確認エラー / 確認中 取得エラー / 取得中断	更新データのダウンロード状況や更新状況が表示されます。
	本機に挿入されたSDカードが認識されると表示されます。
	本機のUSB 接続端子（Type A）に接続されたUSBメモリーなどが認識されると表示されます。

天気予報表示の見かた

本機に通信機器が接続され、通信が確立しているときは、天気予報をステータスバーに表示します。ルート設定時は目的地の、ルート設定をしていないときは現在地の天気予報を表示します。



上記の例は、午前9時にこの表示を見た場合、3時間後の12時ごろ、現在地周辺の天気は晴れ。予想気温は26℃で、降水確率は0%であることを示しています。

本機のカスタマイズ

本機の表示などをお好みに合わせてカスタマイズしたり、よく使う機能をワンタッチ操作可能なカスタム機能として登録することができます。

トップメニューに表示するショートカットを選ぶ

表示モードを「おすすめモード」に設定しているとき、トップメニューに表示されている4つのショートカットを変更することができます。

メモ

- 表示モードを「おすすめモード」に設定しているときのみ設定できます。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

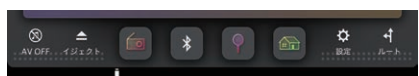
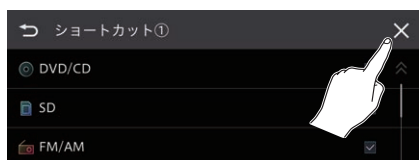
2 変更したいショートカットを長くタッチします



3 新たに登録する機能にタッチして、チェックマークを入れます



4 Xにタッチします



トップメニューのショートカットが入れ替わります。

メモ

- ショートカットは、トップメニューの **設定** → **田** → **ショートカット設定** からでも設定できます。

カスタムキーを使う

普段よく使う機能を、カスタムキー①～③に登録すると、ワンタッチで操作できます。



カスタムキー③
カスタムキー②
カスタムキー①

工場出荷時に登録されている機能は、以下のとおりです。

- カスタムキー①：「イジェクト」
- カスタムキー②：「トラックアップ」
- カスタムキー③：「トラックダウン」

カスタム機能を登録する

1 ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の **設定** にタッチします

3 → **カスタムダイレクト** にタッチします



4 カスタマイズするキーにタッチします



5 登録したい機能にタッチします



メモ

- 各カスタムキーに登録できる機能は以下のとおりです。

- － イジェクト
- － トラックアップ (カスタムキー②のみ)
- － トラックダウン (カスタムキー③のみ)
- － イベント録画の開始^{※1}
- － 案内音声 ON/OFF
- － ロゴマーク ON/OFF
- － カメラビュー表示^{※2}
- － ミュート ON/OFF
- － オーディオソース切り換え
- － TV に切り換え
- － ルート消去
- － 地点を登録する
- － お出かけ検索
- － 施設検索
- － 履歴・登録地検索
- － 電話・緯度経度検索
- － 住所検索
- － 自宅に帰る
- － 設定なし

※1: ドライブレコーダーが接続され、「ドライブレコーダー設定」が「ON(AUX)」または「ON(HDMI)」に設定されているときに登録できます。

※2: 「カメラビュー表示連動設定」が「連動 OFF」のときに設定できます。

➡「カメラの設定を行う」(P.29)

カスタム機能を使う

カスタムキー①～③に登録した機能は、それぞれ次のように操作できます。

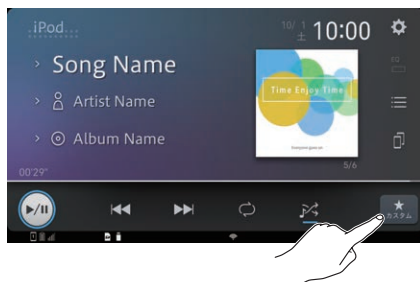
● カスタムキー①

現在地画面またはAVソース画面で★カスタムにタッチします。

- － 現在地画面



- － AVソース画面



● カスタムキー②

本体の○ボタンにタッチします。

● カスタムキー③

本体の●ボタンにタッチします。

メモ

- ステアリングオーディオスイッチにカスタムキー①～③を登録することもできます。➡「ステアリングオーディオスイッチの設定を行う」(P.29)

現在地の地図（現在地画面）を表示する

1 ボタンにタッチします

現在地の地図（現在地画面）が表示されます。




情報ウィンドウキー

情報ウィンドウはタッチするたびに、市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV ソース情報を切り換えることができます。走行している道路によっては最高速度を表示します。

VICS WIDE による緊急情報（気象に関する特別警報など）を受信した際はその内容が情報ウィンドウに表示されるため、緊急情報表示中は他の情報表示に切り換えることができません。

地図表示の向きキー

タッチするたびに地図の表示を切り換えます。

- （ヘディングアップビュー）：進行方向を上に表示
- （スカイビュー）：進行方向を上に表示し、上空からの立体表示
- （ノースアップビュー）：北を上に表示

AV リストキー

再生中の AV ソースのリスト画面に切り換えます。リストのない AV ソースの場合は AV 再生画面に切り換わります。

地図モード 切り換えキー (⇒ P.72)

渋滞情報キー (⇒ P.83、85)

スケール表示キー (⇒ P.71)

自車マーク表示 (現在いる位置)

カスタムキー①





よく使う機能をお好みで 1 つ登録し、ワンタッチで操作できます。(⇒ P.66)



ステータスバー表示 (⇒ P.64)

クイックリストキー 一般的によく使用される機能や設定をすぐに呼び出せます。(⇒ P.69)

サイドキー表示キー

    の 4 つのキーの表示 / 非表示を切り換えます。

メモ

- ハイウェイモードのときはサイドキーを非表示にすることはできません（「サイドキー表示」キーは表示されません）。

よく使う機能呼び出す(クイックリスト)

現在地画面の**クイック**にタッチすることで、一般的によく使用される機能や設定をすぐ呼び出せます。

1 ▲ボタンにタッチし、現在地画面を表示します

2 **クイック**にタッチします



クイックリストが表示されます。クイックリストで選択できる機能、設定は以下のとおりです。

- 音声案内 ON/OFF
- ログマーク ON/OFF
- 100m スケール一方通行 ON/OFF
- 目的地の地図を見る
- 順調表示 ON/OFF
- ハイウェイモード ON/OFF
- 自転車位置を別道路に切り換える
- 自転車の向きを反転する
- ルート消去
- 自宅に帰る

3 呼び出したい項目にタッチします



地図の操作

地図を動かす

- 1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します
- 2 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックします



現在地画面がスクロール画面に切り換わります。

カーソル位置を微調整する

ヘディングアップビューまたはノースアップビューを表示している場合は、カーソル位置を微調整できます。

- 1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します
- 2 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックします
- 3 微調整にタッチします



- 4 矢印にタッチしてカーソルをスクロールします



微調整をもう一度タッチすると地図画面に戻ります。

地図の表示スケールを変更する

タッチ操作で変更する

- 詳細に切り換える

- 1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します
- 2 画面をダブルタップします



詳細に切り換わります。

● 広域に切り換える

1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します

2 画面を2点タッチします



広域に切り換わります。

ピンチイン/ピンチアウトで変更する

1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します

2 画面をピンチインまたはピンチアウトします



地図の表示スケールが変更されます。
ピンチインで広域に、ピンチアウトで詳細に切り換わります。

スケールゲージで変更する

1 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します

2 スケール表示にタッチしてスケールゲージを表示します



3 スケールゲージを上下にドラッグします



地図の表示スケールが変更されます。

詳細または**広域**にタッチすることでも変更できます。

メモ

- 地図の表示スケールを登録すると、現在地画面を表示中に**▲**ボタンにタッチすることで、登録したスケールに切り換えることができます。表示中の地図モードによって、それぞれ表示スケールを登録できます。登録方法は、『ユーザーズガイド - 操作編』の「地図の表示スケールを登録する」をご覧ください。

地図の表示モードを変更する

3種類の表示モードからお好みの表示モードを選ぶことができます。

● ノーマルモード

全画面を地図表示にします。



● AVサイドモード

画面を2分割し、AVソース画面と地図画面を表示します。



● ハイウェイモード

有料道路専用の画面を表示します。
高速道路/有料道走行時のみ選択できます。



メモ

- 出荷時の設定では、ハイウェイモード対象路線を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります。

1 **▲**ボタンにタッチして現在地画面を表示します

2 **FM/AM** または **▲**、**FM/AM** にタッチします



タッチすると地図の表示モードが切り換わります。

- ▲** : ノーマルモードに切り換え
- FM/AM** : AVサイドモードに切り換え
- FM/AM** : ハイウェイモードに切り換え

目的地を検索してルートを設定する

目的地検索からナビゲーション終了までの操作の流れ

1. 目的地を検索します



2. 目的地までのルートを選択します



3. 案内開始にタッチして、ルート案内を開始します



4. 目的地付近に到着すると、ルート案内は終了します

ナビゲーションの操作

ここでは、お出かけ検索を例に成田空港を目的地としたルートを設定します。他の検索方法については、『ユーザーズガイド - 操作編』の「目的地の検索」をご覧ください。

1. 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2. お出かけ検索の入力画面を表示します

●「おすすめモード」の場合

Q (お出かけ検索) にタッチします。



●「カンタンモード」の場合

行き先を探すにタッチした後、お出かけ検索にタッチします。



3 探したい場所の名称やキーワードを入力し、または**検索**にタッチします



専用サーバーから最新情報を利用して、フリーワードによる検索を行います（オンライン検索）。専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信機器との接続が必要です。

➡「通信機器を使ってできること」(P.35)

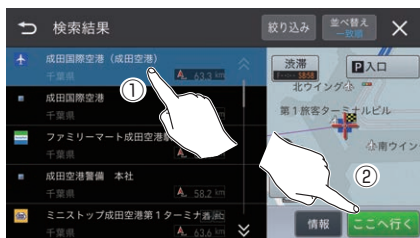
検索

本機に収録されている情報を利用して、フリーワードによる検索を行います。

メモ

- 複数のキーワードを使って検索する場合は、キーワードの間をスペースで区切って入力してください。
- 表示される情報や検索結果の内容は、サーバー側で管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

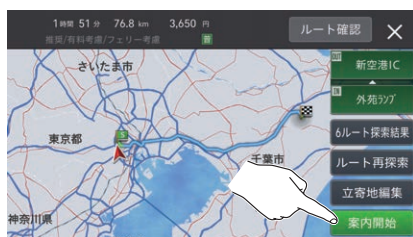
4 **成田国際空港 (成田空港)** ➡ **ここへ行く**の順にタッチします



絞り込みにタッチすると、住所またはジャンルで候補を絞り込むことができます。

並べ替えにタッチすると、近い順、50音順で候補を並べ替えることができます。

5 **案内開始**にタッチします



成田空港までのルート案内が始まります。



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます）。

目的地付近（成田空港付近）に到着すると、ルート案内は終了します。

メモ

- 探索されたルートは、道路案内種別や交通規制などの収録情報を考慮して本機が求めた目的地に至る道順と案内の一例です。最適とは限りません。実際の走行は道路標識などの規制に従ってご走行ください。
- 病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。
- ルート探索は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。
- 誘導される右左折方向は、実際の道路形状とは合わない場合があります。
- 近接する交差点が連続する場合や、道なりで分岐点の判断をしない場合、道路形状で判断する場合は、音声案内は距離およびその際の車速状態により優先順位が決まります。

案内開始画面の見かた



メモ

- 案内開始画面は、ノースアップビュー固定です。
- 料金表示は、あらかじめ設定された「有料道路料金区分」にもとづいた料金で表示されます。
➡「車両情報の設定」(P.28)
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」や「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。
- 表示される料金は実際にかかる料金と異なることがあります。
- 通常のルート探索では、渋滞情報と渋滞予測データを考慮して複数のルートを探索します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮する情報を選択できます。➡「ナビ機能設定」(P.88)
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」と「有料道路使用条件」、「フェリー航路使用条件」の探索条件に従ったルートです。➡「ナビ機能設定」(P.88)

メニュー表示の見かた

ルートの探索結果に応じて、案内開始画面の右側にナビメニューが表示されます。

6 ルート探索結果

目的地までのルートを最大6本、地図とリストで確認できます。

リストでは、距離や所要時間、料金などを確認できます。

ルート再探索

目的地までのルートの探索条件を一時的に変更してルートを再探索できます。

立寄地編集

目的地までのルート上に、立寄地、乗降ICを指定・選択できます。

案内開始

選択したルートの案内を開始します。

メモ

- Apple CarPlayまたは Android Auto 側でルートを案内していた場合、本機のナビ機能で案内を開始すると Apple CarPlayまたは Android Auto 側でのルート案内はキャンセルされ、本機のルート案内に切り換わります。

ルート案内中の地図画面の見かた

到着予想時刻

タッチするたびに、表示内容が切り換わります。

- ① 目的地までの距離・到着予想時刻
- ② 直近の立寄地までの距離・到着予想時刻
- ③ 出発時刻・走行開始から現在までの経過時間

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。タッチすると次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます。タッチするたびに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。



レーン案内表示
レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色（推奨レーンは白矢印）で表示されます。

ルート

目的地の方向
(自動車マークの先から伸びている線)

交差点案内の表示

交差点に近づくと、交差点案内表示の設定に応じて、地図の表示が自動的に切り換わります。

➡「交差点案内表示」(P.90)

●「交差点拡大図」設定時

交差点周辺の地図が拡大表示されます。



●「信号機カウント」設定時

右左折する交差点までの信号機の数と距離を表示します。



メモ

- 表示される信号機の数とは実際の数と異なる場合があります。
- 交差点案内表示をOFFにしているときは、交差点案内表示をしません。
- [] にタッチすると、交差点案内を非表示にできます。[] にタッチすると、交差点案内を再度表示できます。

ルート案内中の主な機能

オートリルート

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します。



ルートアドバイザー

交通規制や渋滞を回避するような新しいルートが見つかったと、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートが表示されます。

新ルートまたは**元ルート**にタッチしてルートを選択します。タッチ操作しない場合に選択するルートを設定できます。➡「ルートアドバイザー自動決定ルート」(P.89)



次の案内地点を確認する

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます(リクエスト案内)。



メモ

- ルートインフォメーションをタッチするたびに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。

ルートを消去する

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の📍ルートにタッチします



3 ルート消去にタッチします



4 はいにタッチします

案内中のルートが消去されます。

メモ

- ルートの消去は、クイックリスト (⇒P.69) やカスタムキー (⇒P.66) から実行できます。


場所を登録する

自宅や友人宅などによく行く場所や、景色がきれいで覚えておきたい場所などを登録しておくと、少ない操作で目的地や立寄地に設定できます。

メモ

- 自宅を含め 1001 地点まで登録できます。
- 登録した場所の編集や位置変更、削除方法は、『ユーザーズガイド - 設定編』の「登録した場所の編集」をご覧ください。

場所を探して登録する

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 ナビメニューを表示します

●「おすすめモード」の場合

画面を左へ 1 回フリックします。



●「カンタンモード」の場合

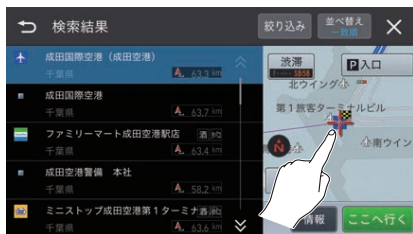
行き先を探す にタッチします。



3 ナビメニューで場所を検索します



検索を行うと地点確認画面が表示されます。



複数の地点が検索された場合、リスト画面と地点確認画面が表示されます。登録したい場所の地点確認画面をタッチして地点確認画面を全画面表示にします。

4 **ここを登録する** にタッチします





地点情報が登録され、登録内容画面が表示されます。

3 「地点を登録する」を設定したカスタムキーにタッチします

例) カスタムキー①



地点情報が登録されます。

メモ

- 現在地の住所付近の名称で登録されます。
- カスタムキーに他の機能が設定されていると、この操作では登録できません。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、自宅までのルートを簡単に設定できます。

1 自宅付近に車を停めます

2 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します

3 地図をスクロールして、自宅として登録したい場所を中心に表示します



スケールを拡大したり位置を微調整することにより詳細に位置を決めることができます。➡「地図の操作」(P.70)

5 ✕にタッチします

メモ

- 地図画面をスクロールして、登録したい場所を中心に表示し、**ここを登録する**にタッチすることでも、場所を登録できます。
- USBメモリーなどに書き出した他のパイオニア製ナビゲーションの登録地を、本機に読み込むことができます。➡「ナビスタジオ登録地点データ変換ツールについて」(P.15)

現在地を登録する

現在の地点を登録します。登録したい場所に車を停車して操作します。

1 カスタムキー①～③のいずれかに「地点を登録する」を設定します

➡「カスタムキーを使う」(P.66)

2 ▲ボタンにタッチして現在地画面を表示します

4 自宅登録するにタッチします



5 はいにタッチします

自宅の場所が登録されます。

メモ

- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク(アイコン)、ヨミとして「ジタク」が自動的に登録されます。
- 自宅の位置はいつでも変更できます。
- マイセットアップでも自宅の登録や変更ができます。➡「マイセットアップの設定」(P.25)
- 地点を検索して登録や変更することもできます。検索結果から地図画面を表示して**自宅登録する**または**自宅変更する**にタッチします。
- すでに自宅登録が完了している場合は**自宅登録する**が**自宅変更する**に変更されます。

ルート上の渋滞情報を確認する

1  ボタンにタッチして現在地画面を表示します

2 渋滞にタッチします



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況を文字と音声で案内します。

案内中のルートがない場合

現在地周辺の規制情報を確認できます。

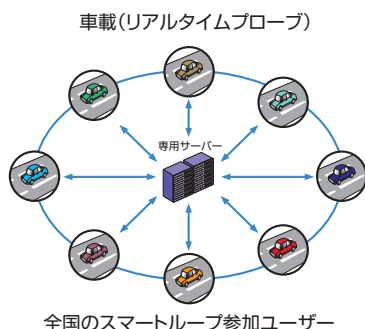


スマートループ渋滞情報™を利用する

「スマートループ」を使うと、リアルタイムな渋滞回避ルートや新しい施設の入り口情報など、役立つ情報を利用することができます。

「スマートループ」とは

お客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロツェリア独自のデータを加えてスマートループをご利用のお客様に配信する情報共有システムです。



スマートループ渋滞情報™を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報™を利用するために、次の2つのステップで設定を行います。

1 スマートループ設定をします

➡「スマートループ設定をする」(P.84)

2 通信機器を接続して、ネットワークに接続します

➡「通信機器を使ってできること」(P.35)

メモ

- スマートループ渋滞情報™を利用するには、通信機器をはじめて使用するときなどに表示されるカーナビゲーションサービス基本約款への同意が必要です。

スマートループ設定をする

- 1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します
- 2 画面下部の⚙️設定にタッチします
- 3 無線→スマートループ設定にタッチします
- 4 プローブ情報送信設定にタッチして、ONに設定します



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

続いて、スマートループ渋滞情報™を自動で取得するかどうかを設定します。

5 渋滞情報取得開始設定にタッチして設定を選んでタッチします



● オート

本機に通信機器を接続した時に、自動的に渋滞情報を取得します。

● マニュアル

手動で渋滞情報を取得します。

6 渋滞情報連続取得設定にタッチして設定を選びます



タッチするたびにON/OFFが切り換わります。

● ON

スマートループ渋滞情報™を一定間隔で自動的に取得します。

ONに設定した場合は、手順7へ進み、**渋滞情報取得時間設定**にタッチして、渋滞情報を取得する間隔を設定します。

● OFF

手動で渋滞情報を取得します。

7 渋滞情報取得時間設定にタッチして、渋滞情報を取得する間隔を選んでタッチします



括弧内の時間はルート案内設定をしていない場合のものです。例えば、「5分(20分)毎」の場合、ルート案内設定しているときは5分毎に、ルート案内設定をしていないときは20分毎に渋滞情報を取得します。

以上で、スマートループ設定は完了です。

スマートループ渋滞情報™を取得する

1 地図画面で渋滞に長くタッチします



スマートループ渋滞情報™を取得します。

スマートループ渋滞情報™ の見かた

取得したスマートループ渋滞情報™は破線で表示され、実線で表示される VICS 情報とは区別して表示されます。

情報提供先表示

F：FM VICS による情報

S：スマートループ渋滞情報™による情報

情報提供時刻表示

橙色：情報受信から 5 分未満の状態

空色：情報受信から 5 分以上 30 分未満の状態



渋滞情報の表示

一般道



有料道路



メモ

- スマートループ渋滞情報™について、詳しくは『ユーザーズガイド - 操作編』の「通信で渋滞情報を取得する」をご覧ください。

ナビゲーションを使いやすく設定する

用途やお好みに応じて設定を変更して、ナビゲーションを使いやすくしましょう。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の ⚙️ 設定 にタッチします

3 ⚙️ (ナビ機能設定) または 田 (地図設定) にタッチします



4 設定が終わったら ✕ にタッチします

ナビ機能設定

*は工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
ルート探索基準	ルートを探索するときの基準を設定します。 推奨：ルート学習データなどを元に、到着時刻が早いルートを探します。 距離優先：主に距離を考慮して、なるべく距離が短くなるルートを探します。 幹線優先：主に道幅と時間を考慮し、広い道を優先的に使用するルートを探します。	推奨* 距離優先 幹線優先
ルート探索条件設定	ルートを探索するときの条件を設定します。	
有料道路使用条件	ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。 考慮：必要に応じて有料道路を考慮します。 回避：有料道路を極力使用しません。	考慮* 回避
フェリー航路使用条件	ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。 考慮：フェリーの使用を考慮します。 優先：フェリーを優先的に使用します。 回避：フェリーを極力使用しません。	考慮* 優先 回避
学習ルート考慮	学習したルートを考慮してルート探索するかどうかを設定できます。 ON：学習したルートを考慮します。 OFF：学習したルートを考慮しません。	ON* OFF
渋滞情報	取得した渋滞情報などを考慮してルートを探します。 渋滞情報・天気考慮渋滞予測： 渋滞情報と取得した天気予報に応じた渋滞予測データを考慮してルートを探します。 渋滞情報・渋滞予測： 渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートを探します。 渋滞情報のみ： 渋滞情報のみを考慮してルートを探します。 考慮しない： 規制情報のみを考慮してルートを探します。	渋滞情報・天気考慮 渋滞予測* 渋滞情報・渋滞予測 渋滞情報のみ 考慮しない
時間規制考慮	日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかどうかを設定できます。	ON* OFF
スマートIC/ETC専用出入口考慮 ルート探索	スマートIC/ETC専用出入口を乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。 ON：スマートIC/ETC専用出入口を考慮します。 OFF：スマートIC/ETC専用出入口を使用しません。ルート案内中は設定できません。	ON OFF*

ナビ機能設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
ルートアドバイザー設定	新しい候補ルートを提供する際、リルート履歴や渋滞情報のうち、どの情報を考慮するかを設定します。	すべて考慮* 渋滞情報のみ OFF
ルートアドバイザー 自動決定ルート	ルートアドバイザーによる新ルートと元ルートの選択画面でタッチ操作が行われない場合に選択する、既定のルート候補を設定できます。➡「ルートアドバイザー」(P.77)	元ルート* 新ルート
到着予想時刻速度 (一般道)	一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。 「推奨」は本機がルートを考えて自動的に設定した速度で計算します。	推奨* 20 km/h 30 km/h 40 km/h 50 km/h 60 km/h
到着予想時刻速度 (有料道)	有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。 「推奨」は本機がルートを考えて自動的に設定した速度で計算します。	推奨* 60 km/h 80 km/h 100 km/h
回避エリア	回避エリアを登録することで、登録したエリアを回避したルート探索を行います。 設定方法は『ユーザーズガイド - 設定編』の「回避エリアを登録する」をご覧ください。	—
AV画面割り込み	AV画面を表示中に割り込み表示させる内容(交差点案内表示、ビーコン情報やITSスポットの5.8 GHz VICS情報、ルートアドバイザーの情報)を設定します。	交差点案内表示: ON*、OFF ルートアドバイザー表示: ON*、OFF ビーコン表示: ON*、OFF
オートフリーズーム	現在地と直近の案内地との距離に合わせて地図スケールを自動的に変更するかどうかを設定します。 ON: 自動的に変更します。 OFF: 自動的に変更しません。	ON OFF*
一般道シンプルガイド	通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかどうかを設定します。 ON: 通常の数と内容より少なく案内します。 OFF: 通常の数と内容で案内します。	ON OFF*

ナビ機能設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
オートハイウェイモード	ハイウェイモード対象路線を走行時に、自動的にハイウェイモードを開始するかどうかを設定します。 ON: 自動的にハイウェイモードを開始します。 OFF: ハイウェイモードを開始しません。	ON * OFF
交差点案内表示	ルート案内時に表示される交差点案内表示を設定します。➡「交差点案内の表示」(P.77)	信号機カウント * 交差点拡大図 OFF
方面案内表示	一般道走行時に方面案内看板を表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON * OFF
高速道通過時刻表示設定	ハイウェイモード時の通過予想時間表示を、通過までの残り時間にするか通過する時刻にするか設定します。	通過残り時間 * 通過時刻
逆走警告	ハイウェイモード対象路線での逆走を検知したときに、警告メッセージの表示と音声案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
逆走注意案内	高速道/有料道進入時、またはSA/PAでエンジンをかけ直したときに音声と画面表示で逆走注意案内を行うかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
速度超過防止警告	高速道や一般道走行時に速度超過を検知した場合に、警告メッセージと音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。 (本機能は、あくまで運転を補助するものであり、運転者は必ず実際の交通規制に従い、安全運転を心がけてください。検知した速度と実際の速度が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。速度違反などに関して、当社では一切の責任を負いかねます)	ON * OFF
信号機ジャスト案内	信号機を目印にした音声案内を行うかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF

ナビ機能設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
一時停止地点案内	一時停止する地点が近づいたことを音とマークで案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON (音あり) * ON (音なし) OFF
教育施設所在案内	走行中、自転車位置から直線距離で300 m以内に教育施設を検出したときに音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON OFF *
ETCレーン案内	有料道走行時にETCレーン案内を表示するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
料金案内	ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
県境案内	県境を音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
合流案内	有料道走行時に合流地点を音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
踏切案内	前方に踏切がある場合に音声で案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
右左折専用レーン案内	前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
リフレッシュ案内	2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF

ナビ機能設定(つづき)



設定項目	設定内容	設定値
ライト点灯案内	日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
渋滞オートガイド	渋滞情報を音声で案内するかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
オートパーキングメモリー設定	オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索を行うかどうかを設定します。 ON: オートパーキングメモリーを利用します。 OFF: オートパーキングメモリーを利用しません。 ※オートパーキングメモリー: 目的地や立寄地の付近でエンジンを停止した場所を施設の駐車場として認識し、自動的に記録する機能	ON * OFF
オートパーキングメモリー編集	保存されたオートパーキングメモリーのデータを編集、消去します。編集ではルート探索時に使用する駐車場入口ポイントを指定できます。	—
ビーコン即時表示	受信したビーコン情報やITSスポットの5.8 GHz VICS情報のうち、即時に表示する情報の種類を設定します。	文字・図形 * 図形 OFF
ビーコン即時表示時間	ビーコン即時表示をOFF以外に設定している場合に、ビーコン情報の表示時間を設定します。	5秒 10秒 * 15秒
ETC2.0/ETC設定	ETCについての設定をします。	
ETC2.0アップリンク機能設定	ブローブ情報アップリンクの使用を許可するかどうかを設定します。 ON: 許可します。 OFF: 許可しません。	ON * OFF
ETC起動時音声案内	ETC起動時にETCカードの状態を音声で案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF

地図設定

*は出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
ロゴマーク表示	コンビニ、ガソリンスタンドなど地図画面上に表示するロゴマークを設定します。	ON OFF *
ロゴマーク表示 スケール	ロゴマークや周辺検索の結果を表示する地図の表示スケールを設定します。	100 mスケール以下 200 mスケール以下 500 mスケール以下 1 kmスケール以下 *
ロゴマーク拡大表示	地図画面上に表示設定したロゴマークや周辺検索の結果を拡大表示するかどうかを設定します。 ON: 拡大表示します。 OFF: 拡大表示しません。	ON OFF *
ロゴマーク施設内 駐車場表示	地図画面上に表示設定したロゴマークや周辺検索の結果に駐車場がある場合、施設のロゴマークと駐車場マークを同時に表示するかどうかを設定します。 ON: 同時に表示します。 OFF: 同時に表示しません。	ON * OFF
100 mスケール 一方通行表示	地図の表示スケールを100 mスケールにした際に、地図画面に一方通行マークを表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON OFF *
文字拡大表示	地図画面に表示される文字を大きく表示するかどうかを設定できます。 ON: 拡大表示します。 OFF: 拡大表示しません。	ON OFF *
登録地マーク 簡易表示スケール	登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。	500 mスケール以上 1 kmスケール以上 2 kmスケール以上 簡易表示しない *
ビジュアル ランドマーク表示	スカイビューの時にランドマーク施設を立体的な3Dの施設アイコンで表示するかどうかを設定します。 ON: 3Dの施設アイコンで表示します。 OFF: 3Dの施設アイコンで表示しません。	ON * OFF

地図設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
3D建物表示	スカイビューの時に主要な建物を立体表示するかどうかを設定します。 ON: 立体表示します。 OFF: 立体表示しません。	ON * OFF
最高速度情報表示	走行道路に最高速度が設定されている場合、最高速度を表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON * OFF
ヒヤリハット地点案内	急停車が頻発する場所や事故多発地点など、運転に注意が必要な地点(「ヒヤリハット地点」)に  を地図画面上に表示し、音声案内をするかどうかを設定します。 ON: 案内します。 OFF: 案内しません。	ON * OFF
冠水注意地点マーク表示	近年多発する集中豪雨により、アンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点に  を地図画面上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON * OFF
ボトルネック踏み切り表示	「ボトルネック踏切」および「開かずの踏切」を地図上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。 ※ボトルネック踏切: 踏切交通遮断量(自動車1日あたりの交通量×1日あたりの踏切遮断時間)が5万台時/日以上以上の踏切のこと。 ※開かずの踏切: ボトルネック踏切のうち、ピーク1時間あたりの遮断時間が40分以上の踏切のこと。 ※開かずの踏切は、赤枠で表示されます。	ON * OFF
ゾーン30エリア表示	都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限された区域(「ゾーン30」)を、地図画面上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON OFF *

地図設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
地図色変更	地図色が切り換わるタイミングを設定します。 時刻連動: 時刻に応じて昼色と夜色を切り換えます。 イルミ連動: 車両のライトの点灯/非点灯に応じて、 昼色と夜色を切り換えます。	時刻連動* イルミ連動 昼色固定 夜色固定
走行軌跡表示	走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON OFF*
走行軌跡自動消去	走行軌跡表示がONのとき、走行軌跡を自動的に消去するように設定できます。 自宅付近: 自宅に到着後、エンジンをOFFにしたときに走行軌跡を消去します。 エンジンOFF: エンジンをOFFにしたときに走行軌跡を消去します。	自宅付近 エンジンOFF OFF*
案内地方向目安線表示	自車マークから出ている目的地/経由地までの線を表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF
渋滞情報表示対象道路	渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。	有料道・一般道* 有料道のみ 一般道のみ 表示しない
渋滞情報表示	渋滞情報を地図上に道塗り表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF
順調表示	渋滞していない道路を地図上に道塗り表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON OFF*
規制情報/規制区間表示	規制情報と規制区間を地図画面上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF
拡張事象規制エリア表示	事故や工事などの拡張事象規制エリアを地図画面上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF

地図設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
区間旅行時間表示	特定地点までのおよその所要時間を示す区間旅行時間マークを地図上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF
駐車場情報マーク表示	駐車場や臨時駐車場の満空情報マーク、充電スポットの情報マークを地図上に表示するかどうかを設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。	ON* OFF
別道路切換	付近に有料道路がある場合、一般道路上か有料道路上に自転車位置を切り換えます。	—
自転車位置修正	自転車位置が実際の位置と異なっている場合に、自転車位置を修正できます。➡「自転車の位置を修正する」(P.97)	—
オービスポイント	オービスデータをご利用時に、オービスポイントの案内条件を設定できます。	全ポイント* 有料道のみ 一般道のみ OFF

自転車の位置を修正する

今いる位置が実際の位置とずれている場合に、自転車の位置を修正できます。

1 田舎ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 田舎→自転車位置修正にタッチします

4 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合わせ、決定にタッチします



地図（8方向矢印キー以外の部分）にタッチしてスクロールさせることもできます。

5 左右の回転矢印キーにタッチして自転車の向きを調整し、決定にタッチします



自転車位置が修正されます。

音楽や映像を再生しよう

AVソースを切り換えて音楽や映像を楽しむことができます。

メモ

- TV、FM/AM などの音源や映像のことをAVソースと呼びます。

AVソースを切り換える

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 AVメニューを表示します

- 「おすすめモード」の場合

画面を右へ1回フリックします。



- 「カンタンモード」の場合

オーディオソースを選ぶにタッチします。



メモ

- AVソース画面で[🎵]にタッチすることでもAVメニューを表示できます。

3 AVソースを選んでタッチします



選んだAVソースの画面 (AVソース画面) に切り換わります。

AVソースをOFFにする

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 AV OFFにタッチします



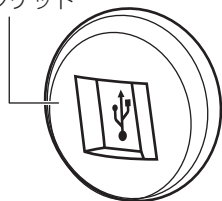
メモ

- AVメニューでも操作できます。

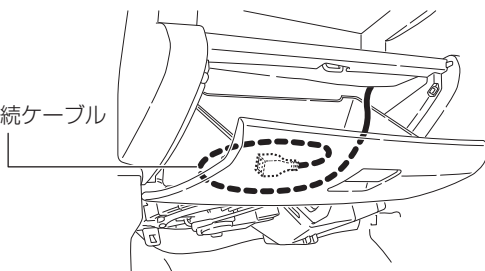
USBメモリー／iPhone/スマートフォンの接続方法

市販のUSBメモリーは、純正またはオプションのUSBソケットか、グローブボックス内に収納されているUSB接続ケーブルに接続して使用することができます。

純正またはオプション
USBソケット

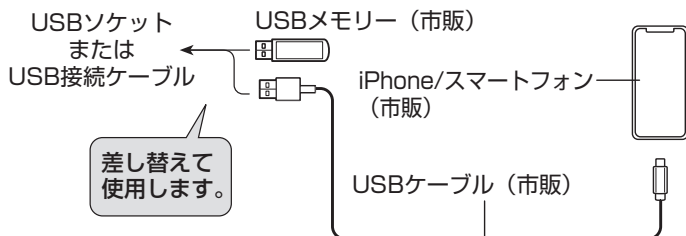


USB 接続ケーブル



純正またはオプションのUSBソケットをご利用の場合、USB接続ケーブルはグローブボックス内に取り付けられておりません。

iPhone/スマートフォンをご利用になる場合は、市販のUSBケーブルと差し替えて使用してください。USBケーブルは、車内に放置しないでください。



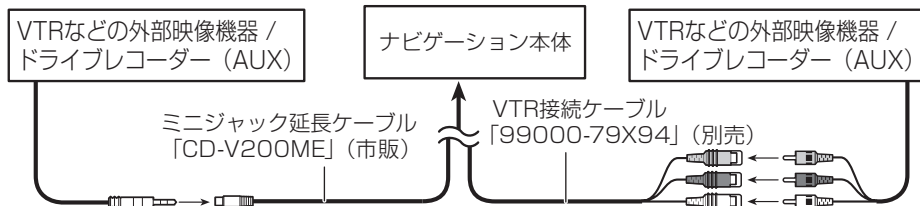
音楽や映像を楽しむ

VTRなどの外部映像機器／ドライブレコーダー（AUX）の接続方法

VTR接続ケーブル（別売）を接続している場合、お客様が使用されているVTRなどの外部映像機器やドライブレコーダーを接続して使用することができます。

ご使用になる製品の端子形状に合わせて、各種変換ケーブルをお使いください。

VTRなどの外部映像機器やドライブレコーダーを接続した場合は、AV機能設定を行う必要があります。



メモ

- 外部映像機器とドライブレコーダーの同時接続はできません。

Apple CarPlayを利用する

本機に接続したiPhone のアプリを本機の画面に表示してタッチ、スワイプ、ドラッグなどで操作できます。Siri による音声認識で操作することもできます。

Apple CarPlay で本機から操作できるのは Apple CarPlay に対応している App だけです。

メモ

- Apple CarPlay側でのルート案内(Appによるルート案内)と本機のナビ機能でのルート案内は同時に行えません。(どちらか一方を開始したとき、現在行われている方のルート案内は終了します。)
- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlayに対応しているiPhoneについては、以下を確認してください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>
- Apple CarPlayについての詳細は、Apple CarPlayサポートサイトをご確認ください。
- Apple CarPlayによる道案内情報の精度は、アプリに依存します。
- Apple CarPlayはApple Inc.が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

iPhoneの接続

USBで接続する

- 1 本機にiPhone をUSBで接続します

接続方法は『取付説明書』をご確認ください。

- 2 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

- 3 画面上部のApple CarPlayにタッチします



Apple CarPlayの画面が表示されます。

メモ

- Apple CarPlayの接続中は、田ボタンを押すとSiri機能を使用できます。

ワイヤレスで接続する

- 1 iPhoneのWi-Fi 機能とBluetooth機能をオンにします
- 2 本機とiPhoneをBluetooth機能で接続します

詳しくは「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(➡P.42) 42) をご覧ください。



本機が接続機器先の応答を待ちます。iPhone側の画面を操作してください。

3 Apple CarPlayを利用するかどうかのメッセージが表示されたらはいにタッチします

本機とiPhoneが自動的にWi-Fi接続されApple CarPlayの画面が表示されます。

いいえを選んだ場合は、Apple CarPlayでの接続は行わず、通常のBluetooth接続(HFP、AVPプロファイルでの接続)を行います。

その場合の電話やオーディオの操作は以下を参照してください。

➡『ユーザーズガイド - 操作編』の「通話 (iPhone/スマートフォン)」、「Bluetooth Audio」

メモ

- Apple CarPlayの接続中は、**●**ボタンを押すとSiri機能を使用することができます。
- 本機がBluetooth接続されていたときは、Apple CarPlayの接続が完了するとBluetooth接続は終了します。

運転席位置の設定

実際の運転席の位置を設定します。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします



3 運転席位置にタッチして、左または右を選びます



タッチすることにより、右⇄左が切り換わります。

メモ

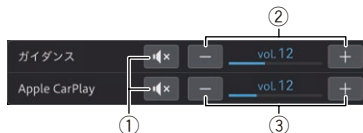
- 設定した内容は、次回Apple CarPlay起動時に適用されます。

音量調節

Apple CarPlayを使用している場合は、メインの音量とは別に、Siri (接続したiPhone で利用可能な場合) またはガイド音量を調節できます。

1 Apple CarPlay画面を表示中に、+ または- ボタンを押します

音量設定メニューが4秒間表示されます。



- ① ガイド音声／メイン音声をミュートします。
- ② ガイド音声の音量を調節します。
- ③ メイン音声の音量を調節します。

メモ

- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ または- ボタンを押すと再度表示されます。
- メイン音声の音量は+ または- ボタンを押して調節することもできます。
- Siriを使用している場合、ミュート機能は使用できません。

接続方法の切り換え

一度、Bluetooth機器登録したiPhoneは**機器登録/削除**画面のタッチする場所で接続方法を切り換えることができます。

1 **田**ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 トップメニューの**Bluetooth機器登録**をタッチします

3 **機器登録/削除**画面で該当するiPhoneの接続したい方法を選びます



- ① Bluetoothでの接続中にタッチすると Apple CarPlayの接続 (Wi-Fi経由の接続) に切り換えます。Apple CarPlay中にタッチすると Apple CarPlay画面を表示します。
- ② Bluetooth経由での接続 (HFPとAVP) と切断を行います。Apple CarPlayの接続中にタッチすると Apple CarPlayを中止して、Bluetooth経由での接続に切り換えます。
- ③ 登録された機器を削除します。

Android Auto™ を利用する

本機に接続した Android Auto 対応スマートフォンのアプリを本機の画面に表示してタッチ、スワイプ、ドラッグなどで操作できます。Google アシスタントによる音声認識で操作することもできます。Android 11.0 以降のスマートフォンをお使いください。

メモ

- Android Auto 側でのルート案内(Appによるルート案内)と本機のナビ機能でのルート案内は同時に行えません。(どちらか一方を開始したとき、現在行われている方のルート案内は終了します。)
- スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Android Auto についての詳細は、Android Auto サポートサイトをご確認ください。
- Android Auto による道案内情報の精度は、アプリに依存します。
- Android Auto は Google が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

スマートフォンの接続

メモ

- 初めて接続した場合は、Google 認証の画面が表示されます。画面に従って操作してください。

1 本機にスマートフォンをUSBで接続します
接続方法は『取付説明書』をご確認ください。

2 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

3 画面上部の Android Auto にタッチします



Android Auto の画面が表示されます。

メモ

- Android Auto の接続中は、田ボタンを押すと Google アシスタント 機能を使用できます。

音量調節

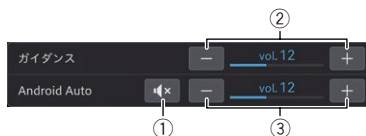
Android Auto を使用している場合は、音楽やラジオ音声などのメインの音量とは別に、音声認識またはガイド音量を調整できます。

メモ

- Android Auto で音楽再生中は、案内音声時AV音量の設定を変更してもATTで動作します。➡『ユーザーズガイド - 操作編』の「音量を調整する」

1 Android Auto 画面を表示中に、+ または - ボタンを押します

音量設定メニューが4秒間表示されます。



- ① ガイド音声／メイン音声をミュートします。
- ② ガイド音声の音量を調節します。
- ③ メイン音声の音量を調節します。

メモ

- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ または - ボタンを押すと再度表示されます。
- メイン音声の音量は+または-ボタンを押して調節することもできます。

Android Auto の自動起動設定

Android Auto を起動したときに、自動的に Android Auto 画面を表示させるかどうかを設定できます。

メモ

- Android Auto は、スマートフォンが接続されている場合のみ、自動的に起動します。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 田→Android Auto オート起動にタッチします



タッチするごとに、ON⇄OFFが切り換わります。

ON	自動起動します。
OFF	自動起動しません。

AVソースを再生する

基本的なAVソースの操作方法と設定について説明します。

メモ

- AVソースごとに表示される内容は異なります。
- 各AVソースの操作方法は、『ユーザーズガイド』をご覧ください。

AVソース画面の操作

USBソースを例に説明します。



音楽や映像を楽しむ

操作部

	再生／一時停止を切り換えます。キー周囲の色で現在の状態を表します。
	トラックダウン／トラックアップを行います。 本体の●ボタン/○ボタンでも操作できます。 (工場出荷時は、●ボタンにトラックダウン、○ボタンにトラックアップが設定されています) →「カスタムキーを使う」(P.66) <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">● Apple CarPlayまたは Android Auto で接続中は●ボタンによるトラックダウン操作はできません。
	タッチした位置(再生経過時間)から再生します。 Bluetooth Audioソース、iPodソースの再生時はタイムバーでの操作はできません。
	リピート再生の機能を切り換えます。アイコンと下のバーの色で現在の設定を表します。
	ランダム再生の機能を切り換えます。アイコンと下のバーの色で現在の設定を表します。

AVソース設定を行う

AVソース設定では、TVやDVDなどに関する設定を行います。

1 田ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 画面下部の ⚙️ 設定 にタッチします

3 田 → AVソース設定 にタッチします

4 設定したい項目を選んでタッチします



TV設定

地上デジタルテレビ放送に関する視聴や環境などの設定ができます。

DVD設定

DVDの字幕や音声、TVアスペクトなどの設定ができます。

USB/SD設定

USBまたはSDのJPEG画像のスライドショーの表示間隔を設定できます。

Hi-Resオーディオを再生する

Hi-Resとは、「High resolution（高解像度）」の略称で、「Hi-Resオーディオ」はCDを超えた高音質な音源を意味します。本機では、SDカードやUSBメモリーなどに保存した、WAVとFLACの48kHzを超えるオーディオファイルをダウンコンバートして再生できます。

メモ

- 各フォーマットの詳細情報は「再生できるファイルとメディアの種類」(➡P.114)をご覧ください。

再生のしかた

AVメニューの「SD」や「USB」から再生できます。➡「AVソースを再生する」(P.105)

iPhone/スマートフォンの音楽を聴く (Bluetooth Audio)

本機とBluetooth接続されたiPhone/スマートフォンの音楽データを再生できます。

iPhone/スマートフォンを本機に登録していない場合は、登録を行ってください。➡「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(P.42)

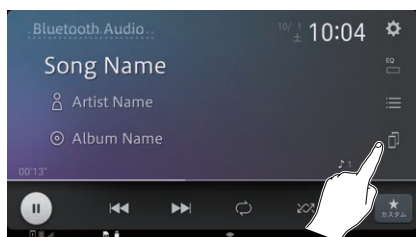
再生のしかた

AVメニューの「Bluetooth Audio」から再生できます。➡「AVソースを再生する」(P.105)

接続するBluetooth Audio 機器を切り換える

Bluetooth Audio機器を複数台登録している場合、Bluetooth AudioのAVソース画面で切り換えられます。

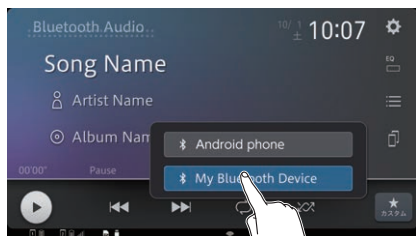
1 ①にタッチします



メモ

- 切り換え先の機器の種類や機器状態によって、切り換え前のAVソースが維持されることがあります。その場合はBluetooth Audio経由で再生したいソースに手でソースを切り換えてください。

2 切り換えたいBluetooth Audio機器にタッチします



選択したBluetooth Audio機器に接続します。

iPhone/iPodを再生する

本機に接続したiPhone/iPodの音楽データとオーディオブックを再生できます。

本機に接続したiPhoneでApple CarPlayを使用しない設定をした場合、またはiPhone側でApple CarPlayでの接続を本機に対して行わない設定をした場合、Apple CarPlayを使って接続する操作を行うまでは本機では“iPod”ソースとして再生します。

接続は次のいずれかの方法で行います。

- USB

USB接続の場合でApple CarPlayを使用しない場合はiPhone側でApple CarPlayを本機に対して使用しない設定をしてから接続してください。

- Bluetooth

Bluetooth接続の場合でApple CarPlayを使用しない場合は、Bluetooth機器登録の際に“Apple CarPlayを使用しない”を選択するか、iPhone側でApple CarPlayを本機に対して使用しない設定をしてから接続してください。

本機ではiPhone/iPodは1台のみ、いずれかの接続のみで接続可能です。

USBでの接続は「*USBメモリー／iPhone/スマートフォンの接続方法*」(➡P.99)を、Bluetoothによる接続は「*Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)*」(➡P.42)をご覧ください。

メモ

- Lightningコネクタ対応機器をUSB接続する場合は、以下のいずれかのパイオニア製ケーブルが必要です。

- iPhone/iPod 用接続ケーブル (市販) + USB 接続ケーブル (市販)
- iPhone/iPod 用 USB 変換ケーブルセット (市販)

➡「*パイオニア製オプション品一覧*」(P.132)

- 対応iPhone/iPodおよび制限事項については、下記URLをご確認ください。

< <https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/> >

また、適合情報のないiPhone/iPodについては動作確認しておりませんのでご注意ください。

再生のしかた

AVメニューの「iPod」から再生できます。➡「*AVソースを再生する*」(P.105)

DVD/CDを再生する

ディスクの入れかた・取り出しかた

ディスクの入れかた

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 **イジェクト** にタッチします

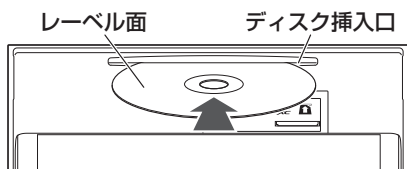


3  にタッチします



モニターが開きます。

4 ディスク挿入口にディスクを差し込みます



ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 **イジェクト** にタッチします



3  にタッチします





モニターが開き、ディスクが出てきます。

4 ディスクを取り出し、**モニターを閉じる** にタッチします

モニターが閉じます。

メモ

-  ボタンと  ボタンを同時に長くタッチすると、強制的にモニターが開き、ディスクが出てきます。
- 工場出荷時は、カスタムキー①にイジェクト機能が割り当てられています。

音楽や映像を楽しむ

再生のしかた

ディスクを本機に挿入すると、自動的に再生を開始します。
AV OFFや他のソースからDVD/CDに切り換えたいときは、AVメニューの「DVD/CD」から再生できます。➡「AVソースを再生する」(P.105)

SDカードを再生する

SDカードの入れかた・取り出しかた

SDカードの入れかた

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 イジェクトにタッチします

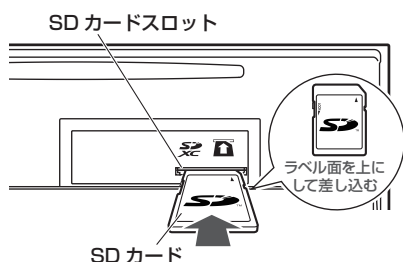


3  にタッチします



モニターが開きます。

4 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込みます




5 モニターを閉じるにタッチします

モニターが閉じます。

SDカードの取り出しかた

▲注意

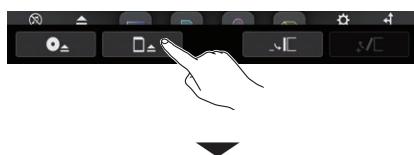
- SDカードを取り出す場合は、必ず  にタッチしてから行ってください。タッチせずに取り出すと、SDカード内のデータが破損する恐れがあります。
- 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

1  ボタンにタッチし、トップメニューを表示します

2 イジェクトにタッチします

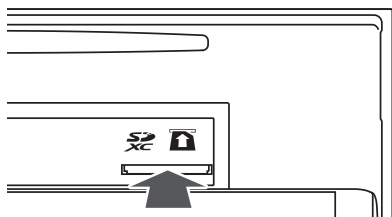


3  にタッチします

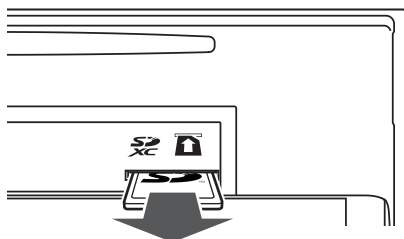


モニターが開きます。

- 4 “カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで放します



SDカードが押し出されます。



- 5 SDカードをまっすぐ引き抜き、**モニターを閉じる**にタッチします

モニターが閉じます。



- 工場出荷時は、カスタムキー①にイジェクト機能が割り当てられています。

再生のしかた

AVメニューの「SD」から再生できます。➡「AVソースを再生する」(P.105)

リアモニターを使ってみよう

パイオニア製リアモニター（市販）を本機に接続すると、映像ソースを後部座席でも楽しめます。

リアモニターを接続した後は、出力設定を行ってください。➡「リアモニターの出力設定を行う」(P.34)

メモ

- リアモニターの電源をONにしたときや、HDMIケーブルの抜き差しを行った際に、本機で表示している映像ソースの映像が一瞬止まることがあります。
- リアモニターがRCA接続の場合、リアモニターにHDMIソースの映像は表示されません。
- 本機とリアモニターをHDMIで接続している場合、CDなど音声だけのソースを再生しても、音声はリアモニターに出力されません。
- リバース連動ビュー接続で、ドライブレコーダーをバックアイカメラとして使用している場合には、リアモニターへ出力される映像は、バックアイカメラ映像のみとなります。
- パイオニア製HDMI分配ユニット（市販）を使用することで分配ユニット含め最大5台までのHDMI機器を接続することができます。➡「パイオニア製オプション品一覧」(P.132)

音質設定

再生中の音源に合わせて設定を変更したり、お好みに合わせて音質を調整することができます。

メモ

- 各音質設定について、詳しくは『ユーザーズガイド- 設定編』の「音質設定」をご覧ください。

1 田ボタンにタッチして、トップメニューを表示します

2 画面下部の⚙️設定にタッチします

3 音にタッチして変更したい設定項目を選んで設定します



4 設定が終わったら❌にタッチします

*は工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
フェーダー／ バランス	前後左右の音量バランスを調整することができます。	0 ～ 25 (出荷時は0)

設定項目	設定内容	設定値
ラウドネス	小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にできます。	High Mid Low OFF *
ソースレベル アジャスター	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差を揃えることができます。	- 4 ~ + 4 (出荷時は0)
サウンド レトリバー	圧縮音声は圧縮処理される際、削除されてしまう部分が発生します。サウンドレトリバー機能をONにすると、DSP処理によってその削除されてしまった部分を補い、圧縮音声ファイル再生時の音の密度感、抑揚感を向上させて再生することができます。	モード2 モード1 OFF *
スピーカー出力 レベル	各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。	- 24 ~ + 10 (リスニングポジションの設定値により出荷時の設定が異なります)
リスニング ポジション	乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を選択することができます。	OFF * オール フロント フロントL フロントR
タイム アライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。	リスニングポジションの設定値により異なります。
イコライザー	あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（Custom）から、曲調や気分などに合わせてお好みのイコライザーカーブとその効果レベルを選ぶことができます。 チューニングメモリーデータを切り換えて、Customを2つ設定できます。	S.Bass Powerful Natural Vocal Flat * Custom 1 Custom 2
サブウーファー	サブウーファーの接続有無を設定します。設定をONにすると、タイムアライメントやサブウーファーのカットオフ周波数を調整できます	ON * OFF
カットオフ	各スピーカーのカットする起点となる周波数を選択します。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。またそのカットの緩急を傾斜（スロープ）で設定します。	—
バスブースター設定	スピーカーから出力される低音域の増強効果を設定できます。	0 ~ + 6 (出荷時は0)
サブウーファー設定	サブウーファーのカットオフ周波数を設定できます。「カットオフ」と同じ画面を表示します。	—
設定値の保存	調整した設定内容を本機に保存できます。	—
設定値の読み込み	本機に保存した音質設定の内容を読み込みます。また、音質設定の内容を出荷時の設定に戻せます。	—

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

共通

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
ファイルシステム	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/ 2.00/2.01/2.50	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/ 2.00/2.01/2.50	FAT16 FAT32 NTFS exFAT	
最大フォルダー数	700		1 500	
最大ファイル数	999	3 500	15 000（音楽+映像ファイル）	

メモ

- ファイルシステムがNTFSの場合は読み取り専用となります。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
Windows Media Audio Professional (5.1ch)
Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
Windows Media Audio Voice
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを、WMA/MP3/AAC/WAVファイルとして記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- ID3 tag の Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。ID3タグの作成環境によっては正常に表示されない場合があります。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- iTunes Storeで購入された楽曲(.m4p)は、再生できません。
- パーティションを作ったUSBメモリーなどは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、Appleロスレス・エンコーダ形式には対応していません。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 本機では、最大で8時間までのファイルの表示に対応しています。
- サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。

MP3

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	.mp3			
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング 周波数	8 kHz ~ 48 kHz			
ID3タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3		Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4	

WMA

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	.wma			
ビットレート	5 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR		8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR	
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz		32 kHz ~ 48 kHz	

WAV

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	再生できません。		.wav	
シグナルフォーマット			リニア PCM(LPCM)	
サンプリング周波数			16 kHz ~ 192 kHz	
量子化ビット数			8ビット/16ビット/24ビット/32ビット (int のみ)	

メモ

- サンプリング周波数が48 kHzを超える場合はダウンコンバートして再生します。

AAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	.m4a			
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR		16 kbps ~ 320 kbps (CBR)	
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz		8 kHz ~ 48 kHz	

メモ

- iTunesでエンコードされたAACファイルを再生できます。
- AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG-2、MPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

FLAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	再生できません。		.flac	
サンプリング周波数			8 kHz ~ 192 kHz	
量子化ビット数			8ビット/16ビット/24ビット	

メモ

- サンプリング周波数が48 kHzを超える場合はダウンコンバートして再生します。

JPEG

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	再生できません。		.jpeg、.jpg、.jpe	
最大解像度			8 192 ピクセル x 7 680 ピクセル	

メモ

- 解像度が8 192 ピクセル × 7 680 ピクセルまでのベースラインJPEGと、EXIF2.1 に対応しています (EXIF形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です)。
- プログレッシブJPEGの再生には対応していません。
- パソコンで加工されたEXIFファイルは、再生できないことがあります。

PNG

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	再生できません。		.png	
最大解像度			720 ピクセル x 576 ピクセル	

BMP

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリーなど	SDカード
拡張子	再生できません。		.bmp	
最大解像度			1 920 ピクセル x 936ピクセル	

オーディオおよびビデオファイルの互換性

CD-R/-RW/DVD-R/-RW

拡張子	.avi	.mpg/.mpeg
ビデオコーデック	MPEG-4	MPEG-1/MPEG-2
オーディオコーデック	MP2/MP3/AC3	MP2
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル (MPEG-4/MPEG-2) 352 ピクセル × 288 ピクセル (MPEG-1)	
最大フレームレート	30 fps	
最大ファイルサイズ	Don't Care(ファイルシステムの規格上最大サイズの規定なし)	

USB/SD

拡張子	.avi	.mpg/.mpeg	.mp4	.3gp	.mkv
ビデオコーデック	MPEG4/H.263/H.264	MPEG2	MPEG4/H.263/H.264	H.263	MPEG4/H.264/VC-1
オーディオコーデック	MP3/LPCM		MP3/AAC/LPCM	AAC	MP3/AAC/vorbis/LPCM
最大解像度	1 920ピクセル x 1 080ピクセル (ビデオコーデックがMPEG2の場合は720ピクセル x 576ピクセル)				
最大フレームレート	30 fps				
最大ファイルサイズ	制限なし(各ファイルシステムに依存)				

拡張子	.mov/.m4v	.wmv/.asf	.flv	.ts/.m2ts/.mts
ビデオコーデック	MPEG4/H.263/H.264	VC-1	H.264	MPEG2/MPEG4/H.264
オーディオコーデック	MP3/AAC/LPCM	MP3/WMA/LPCM	MP3/AAC	MP3/AAC
最大解像度	1 920ピクセル x 1 080ピクセル (ビデオコーデックがMPEG2の場合は720ピクセル x 576ピクセル)			
最大フレームレート	30 fps			
最大ファイルサイズ	制限なし(各ファイルシステムに依存)			

メモ

- 各ビデオコーデックにおける最大ビットレートは以下のとおりです。ファイルによっては再生できない場合があります。
 - MPEG2/MPEG4/H.264 : 40 Mbps
 - H.263 : 20 Mbps
 - VC-1 : 45 Mbps
- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。

HDMI入力の対応フォーマット

映像

対応解像度

VGA/480p/720p

音声

フォーマット	対応ビットレート	対応サンプリング周波数
LPCM (2ch)	16ビット/20ビット/24ビット	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

HDMI出力の対応フォーマット

映像

対応解像度

480p/720p

音声

フォーマット	対応ビットレート	対応サンプリング周波数
LPCM (2ch)	16ビット	48 kHz

メモ

- 本機とリアモニターをHDMIで接続している場合、USBメモリーなどに保存された音楽など、音声だけのソースを再生しても、音声はリアモニターに出力されません。

ハンズフリー通話を試みよう

Bluetooth接続されたiPhone/スマートフォンなどを使って、ハンズフリー通話をすることができます。

注意

- Apple CarPlay接続中は本機の電話メニューの代わりに、Apple CarPlayの電話画面が表示されます。電話機能を使うには、Apple CarPlayの電話画面を操作してください。
- Android Auto 接続中は本機の電話メニューの代わりに、Android Auto の電話画面が表示されます。電話機能を使うには、Android Auto の電話画面を操作してください。

電話のかけかた

1 iPhone/スマートフォンなどを本機とBluetooth接続します

iPhone/スマートフォンなどを本機に登録していない場合は、登録を行ってください。

➔「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(P.42)

2 AVメニューを表示します

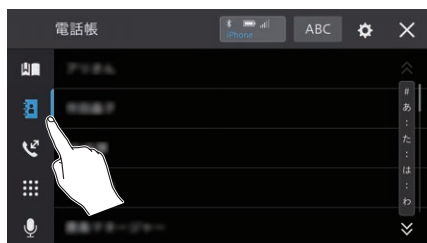
➔「AVソースを切り換える」(P.98)

3 電話にタッチします




電話メニューが表示されます。

4 電話メニューの左側のタブで、発信方法を選んでタッチします



プリセットダイヤル

プリセットダイヤルに登録した電話番号(相手)に、リストから素早く発信できます。

電話帳または発信履歴画面で、にタッチすると、プリセットダイヤルに登録できます。



電話帳

現在接続中のiPhone/スマートフォンなどの電話帳を表示し、選んだ相手に発信できます。



発信履歴

本機とiPhone/スマートフォンなどが接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。



ダイヤル発信

ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、その番号に発信できます。





音声認識操作

接続しているiPhoneの音声認識操作ができます。



メモ

- iPhone/スマートフォンなどの本体を操作して発信することもできます。
- 通話中の受話音量の調整は、  ボタンで行えます。
- 電話帳の読み込みや、その他のメニューについては、『ユーザーズガイド - 操作編』の「通話 (iPhone/スマートフォン)」をご覧ください。

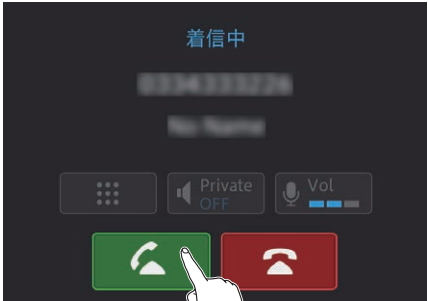
電話メニューのその他の機能




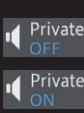



①	電話機として接続中の2台のiPhone/スマートフォンなどを切り換えます。次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">● 接続されている電話機名● 接続されている電話機の本機への登録番号● 電波状態● 電池残量
②	電話帳の並び順を切り換えます。 <ul style="list-style-type: none">● ABCにタッチするとABC順に並びます。● あいうにタッチすると五十音順に並びます。
③	設定メニューを表示します。




電話の受けかた

1 電話を着信したら、にタッチします



通話が可能になり、通話中メニューが表示されます。

	ダイヤル画面を表示します。
	プライベートモードをオン／オフします。 iPhone/スマートフォンで通話したいときにタッチして、オンにします。
	マイク感度を3段階で調整できます。
	電話を受けます。
	電話を切ります。

-  **メモ**
- プライベートモードをオンにすると、電話機によっては通話が切れたり、プライベートモードオフに復帰できない場合があります。
 - 着信中の着信音量の調整、通話中の受話音量の調整は、  ボタンで行えます。
 - iPhone/スマートフォンによっては、着信と通話（受話）音量が個別に設定できる機種とできない機種があります。

電話を使う

バージョンアップ(地図更新)をしよう

本機の地図データやプログラムなどを最新の状態にバージョンアップすることができます。バージョンアップを行うと、例えば、次のような機能をご利用いただけるようになります。

- 最新の道路データ・渋滞情報でルート探索
- 新しくできたコンビニや駐車場など最新情報による目的地の検索
- 製品の問題点の改善や新機能の追加

バージョンアップの方法

バージョンアップの方法は以下の3通りがあります。

無償	<ul style="list-style-type: none">● ハガキ申し込みによる地図更新用SDカード送付サービスを利用すると、送付されたSDカードを本機に挿入して1回だけバージョンアップできます。 ⇒「地図更新用SDカード送付サービスについて」(P.122)
	<ul style="list-style-type: none">● 通信機能を利用して、サーバーに新しい地図データやプログラムが公開されたタイミングで、自動的にバージョンアップ(差分更新)を行います。 ⇒「通信機能を使って最新の地図やプログラムに更新する(自動地図更新)」(P.43)
有償	<ul style="list-style-type: none">● パイオニアホームページ「オーナーズリンク」から新しい地図データやプログラムをパソコンにダウンロードし、そのデータを転送した市販のSDカードを本機に挿入してバージョンアップ(全データ更新)を行います。 ⇒「WEBからバージョンアップデータをダウンロードする(全データ更新)」(P.126)

バージョンアップを行うには

バージョンアップを行うには以下の登録が必要です。

		パイオニアホームページ オーナーズリンク	MapFan サイト		ハガキでの 申し込み
		お客様 ID/ パスワード登録 + 商品登録	会員 ID/ パスワード登録 + MapFan 連携登録	MapFan スマート メンバーズ入会※	申込ハガキ + シリアル No ラベル
無償	地図更新用 SD カード 送付サービス	—	—	—	○
	通信機能を使った自動 バージョンアップ (差分更新)	○	○	○	—
有償	WEB からデータを ダウンロードして行う 手動バージョンアップ (全データ更新)	○	○	○	—

登録方法など詳細については、以下をご覧ください。

➡「登録が必要な機能について」(P.17)

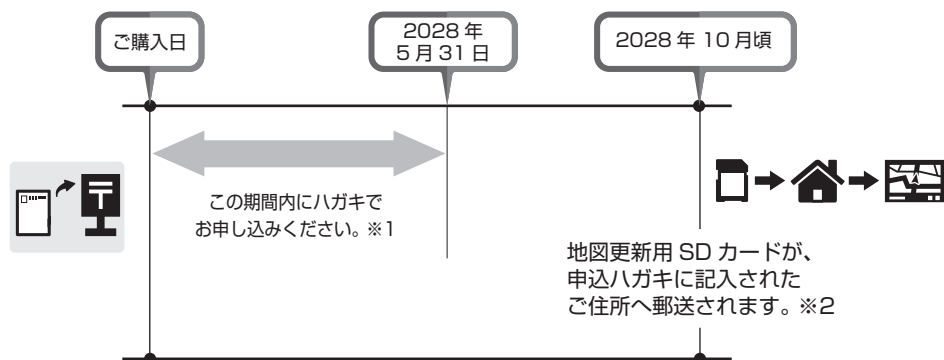
➡「お客様登録をする(無料)」(P.18)

地図更新用SDカード送付サービスについて 無償

本機はハガキ申し込みによる地図更新用SDカード送付サービス(1回)付です。

本サービスは、本機を新品購入されたお客様のみを対象にしています。

地図更新の流れ



※1：申込期限は2028年5月31日(当日消印有効)です。

申込期限を過ぎたハガキは無効となり、SDカードは送付されません。

※2：地図更新用SDカード(2028年春版データ収録)の発送時期は2028年10月頃に発送を予定していますが、諸般の事情で発送時期が多少遅れることがあります。

地図更新用SDカード送付サービスを申し込む 無償

申込ハガキを準備する

申込ハガキを記入する前に「個人情報のお取り扱いについて」(➡P.124)をお読みください。申込ハガキの到着をもって、ご同意いただいたものとみなします。

お名前(フリガナ)
お住所
電話番号
生年月日
販売ディーラー名

個人情報保護シールを必要事項の上に貼り付けていますか？
シリアル No ラベルを規定の位置に貼り付けていますか？

SAMPLE

- 1 必要事項を記入します
- 2 必要事項に記入漏れが無いか確認します
- 3 個人情報保護シールを貼り付けます
- 4 シリアルNoラベルを貼り付けます
- 5 シールやラベルの貼り忘れが無いか確認します
- 6 ポストに投函します
- 7 SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます
(2028年10月頃に発送を予定しております。)

▲ 注意

- 申込ハガキに必要事項がすべて記入されていなかったり、シリアルNoラベルが貼られていないと、SDカードが郵送されません。
- 申込ハガキは再発行できません。

1 必要事項を記入する



2 必要事項に記入漏れがないか確認する



- ☐ お名前 (フリガナ)
- ☐ ご住所
- ☐ 電話番号
- ☐ 生年月日
- ☐ 販売ディーラー名

3 個人情報保護シールを貼り付ける



個人情報保護シール

4 シリアルNoラベルを貼り付ける



シリアル No ラベル

5 シールやラベルの貼り忘れがないか確認する



- ☐ 個人情報保護シールを必要事項の上に貼り付けていますか？
- ☐ シリアル No ラベルを規定の位置に貼り付けていますか？

6 ポストに投函する



登録情報や更新方法を変更したいときは「こんなときは」(➡P.125)をご覧ください。お申込み状況の照会サービスは行っておりません。



SDカードが申込ハガキに記入されたご住所に届きます。



発送時期は**2028年10月頃**に発送を予定しております。

個人情報のお取り扱いについて

1. パイオニア株式会社（以下「当社」といいます。）は、地図更新SDカード送付申込ハガキにより収集するお客様の個人情報について、次に掲げる目的で利用するとともに、個人情報保護関係法規および当社が定める個人情報保護方針（<https://jpn.pioneer/ja/privacy/>）に則って厳重に取り扱います。
 - ①地図更新SDカードの送付およびそれに関連するサービスの提供
 - ②その他各種企画・商品に関するご案内
2. 当社は、申込ハガキにより収集するお客様の個人情報について、次のとおり共同利用を行うことがあります。
 - (1) 個人情報の項目
お名前、ご住所、電話番号、生年月日、販売ディーラー名、その他の登録情報等
 - (2) 共同利用者の範囲
当社の連結決算の対象となるパイオニアグループ会社（連結子会社及び持分法適用会社）
 - (3) 共同利用する目的
 - ①地図更新SDカードの送付およびそれに関連するサービスの提供
 - ②その他各種企画・商品に関するご案内
 - (4) 管理責任を負う者
パイオニア株式会社
3. 当社は、申込ハガキにより収集するお客様の個人情報の開示や訂正などをご希望される場合、お申し出いただいたお客様がご本人であることを確認させていただいた上で、遅滞なく、法令上必要な範囲で対応させていただきます。申込ハガキにより収集するお客様の個人情報についてのお問い合わせは次の窓口までお願いいたします。

お問合せ先：パイオニア地図SDカード送付窓口

受付時間：月曜～金曜9:30～12:00、13:00～17:00（土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く）


固定電話から：0120-032-527（無料）

携帯電話から：050-3097-9109（IP電話・有料）

登録情報を変更したい

ハガキによる申込みをしたあと、引越し等をして登録情報を変更したいときは、郵便ハガキに以下の情報をすべてご記入いただき、弊社指定の送付先住所までお送りください。（ハガキ送付費用はお客様のご負担になります。）

表面



〒350-8555

埼玉県川越市山田 25-1

パイオニア株式会社

OEM 事業統括グループ
2026 年モデル純正カーナビゲーション
地図更新用 SD カード送付窓口（ススキ2） 行

裏面

- 1 「登録情報変更希望」
- 2 お名前（フリガナ）
※名字に変更がある場合は旧姓、新姓の両方の名字をご記入ください。
- 3 お届け先 郵便番号
- 4 お届け先 住所
※郵便番号、住所に変更がある場合は旧⇒新の両方の住所をご記入ください。
- 5 電話番号
※平日の昼間に連絡がつきやすい番号をご記入ください。
- 6 生年月日
- 7 製品型番と製造番号
※製品型番は「製造番号通知 兼 お客様登録用シート」の機種名のところに記載されている AVIC- で始まる番号をお書きください。

▲ 注意

- お電話、メールなどでのご変更のご依頼は承っておりません。
- お申込み状況の照会サービスは行っておりません。
- 登録情報の変更は本機を新品購入されたお客様のみを対象としています。

■ハガキによる申込みについてお問い合わせをしたい

「ハガキによる申込み」に関する次の内容については、下記の窓口へお問い合わせください。

- 個人情報の開示、訂正、利用停止等をしたい
- SDカードが届かない

お問合せ先：パイオニア地図SDカード送付窓口

受付時間：月曜～金曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く）

固定電話から：0120-032-527（無料）

携帯電話から：050-3097-9109（IP電話・有料）

■ハガキによる申込み状況を照会したい

お申込み状況の照会サービスは行っておりません。

WEBからバージョンアップデータをダウンロードする(全データ更新) 有償

パイオニアホームページ「オーナーズリンク」からバージョンアップデータとライセンスデータおよびバージョンアップサポートツールをパソコンにダウンロードし、バージョンアップサポートツールを使って市販のSDカードに転送します。そのSDカードを本機に挿入してバージョンアップします。

バージョンアップについての注意事項

- バージョンアップに使用するバージョンアップサポートツールはWindowsのみに対応しています。
- 最大で年2回のバージョンアップを予定しています。
- 本機の収録データは2025年度版です。
- バージョンアップには、32 GB以上のSDカードが必要です。また、SDカードにはバージョンアップデータのみを入れてください。
- あらかじめ、SDカードの書き込み防止を解除してください。
- バージョンアップのお知らせについてはお客様登録時に「新商品や、バージョンアップ、アンケート等に関するご案内」に同意いただいた方にのみEメールでご案内させていただく予定です。
- お使いのバージョンによってはバージョンアップの前にプログラムの更新を行う場合があります。

メモ

- ナビゲーションシステムのバージョンや地図データ、検索データのバージョンを確認する方法は、『ユーザーズガイド - 設定編』の「バージョン情報を確認する」をご覧ください。

バージョンアップの準備を行う

バージョンアップを行うには以下の条件に合ったパソコンと、SDカードをご用意ください。

市販のパソコン

- 対応OSは次のとおりです。
 - Microsoft Windows 11
- 対応ブラウザは次のとおりです。
 - Microsoft Edgeリリース時点最新版
 - Mozilla Firefox[®] リリース時点最新版
 - Google Chromeリリース時点最新版
- 48 GB以上の空き容量が必要です。
- 長時間（1時間以上）、インターネットに接続できる環境が必要です。
- SDカードスロットがない場合は、SDカードリーダーをご用意ください。

市販のSDカード

- class4以上、32 GB以上の空き容量が必要です。
- SDカードにはバージョンアップに必要なデータ以外は保存しないでください。
- SDカードは事前にフォーマットしてください。
➡「SDカードについて」(P.6)
- パソコン環境によっては、SDカードに保存する際に、隠しファイル等が生成され、32 GBのSDカードに収まらない場合があります。この場合は64 GB以上のSDカードをご用意ください。

バージョンアップ用SDカードを作成する

1 インターネットに接続したパソコンを使って、「オーナーズリンク」にアクセスします

< <https://car-users.pioneer.jp/> >



2 お客様ID（メールアドレス）、パスワードを入力してログインします

「お客様登録および商品登録を行う」(➡P.19) で事前に登録した内容を入力して、ログインしてください。

3 「カーナビバージョンアップ関連」をクリックします

お客様メニュー



4 画面に従って操作し、「バージョンアップデータ」と「ライセンスデータ」をパソコンにダウンロードします

ダウンロードの詳しい操作方法は『ユーザーズガイド - 操作編』の「バージョンアップ」をご覧ください。

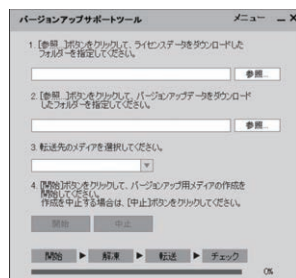
5 「バージョンアップサポートツール」をダウンロードします

バージョンアップサポートツールの詳しい使いかたは下記をご覧ください。

< https://jpn.pioneer/ja/car/vup_support_tool/manual.php >

6 SDカードをパソコンに挿入します

7 「バージョンアップサポートツール」を実行し、画面に従ってフォルダーとSDカードの指定を行い、[開始]をクリックします



バージョンアップ用SDカードを作成します。環境（CPU性能、セキュリティソフト、回線速度、SDカード等）によっては1時間以上かかる場合があります。完了してからSDカードをパソコンから取り出します。

SDカードを本機に挿入してバージョンアップを行う

無償の地図更新用SDカード送付サービス(⇒P.122)または有償のバージョンアップデータダウンロード(⇒P.126)のいずれかで準備したSDカードを本機に挿入し、バージョンアップを行います。ここでは、プログラムと地図データを同時にバージョンアップする場合を例に説明します。

▲ 注意

- バージョンアップを開始する前に、安全なところに停車してください。
- バージョンアップは車両装着状態で行います。バッテリー上がりを防ぐためエンジンをかけた状態で行ってください。

1 バージョンアップデータを転送したSDカードをSDカードスロットに挿入します

⇒「SDカードの入れかた・取り出しかた」(P.110)

データの読み込みが完了すると、バージョンアップを行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

2 はいにタッチします

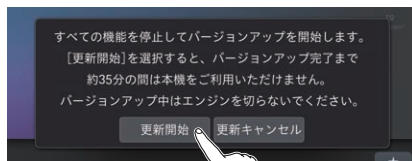


バージョンアップ中は目的地検索、ルート案内などのナビゲーション機能は使えません。バージョンアップが完了し、すべての機能が使用できるようになるまで、バージョンアップの内容によって30～40分程度かかります。

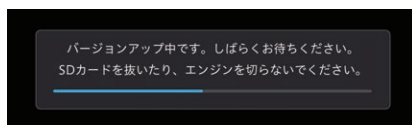
メモ

- **いいえ**にタッチした後すぐに、再度バージョンアップ操作をしたい場合は、**更新データ確認**から実施できます。⇒「最新データを手動で確認する」(P.45)
- SDカードを取り外した場合は、再度手順1から操作してバージョンアップしてください。
- バージョンアップ中にエンジンを切った場合は、再度エンジンをかけると、続きからバージョンアップを再開します。

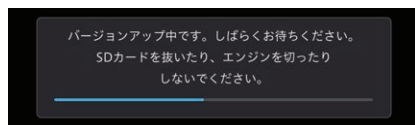
3 更新開始にタッチします



プログラムの更新が始まり、進捗状況が表示されます。プログラムの更新が完了すると、本機が再起動します。



地図データの更新が始まり、進捗状況が表示されます。地図データの更新が完了すると、完了メッセージが表示されます。



メモ

- プログラムのみ、または地図データのみを更新する場合は、更新開始後の再起動のタイミングや操作が異なりますが、更新完了メッセージが表示されたら、**確認**にタッチして再起動を行ってください。
- **更新キャンセル**にタッチした後すぐに、再度バージョンアップ操作をしたい場合は、**更新データ確認**から実施できます。➡「最新データを手動で確認する」(P.45)
- SDカードを取り外した場合は、再度手順1から操作してバージョンアップしてください。

4 **確認**にタッチします



本機が再起動します。再起動後に本機のすべての機能が使用できるようになります。

5 SDカードを本機から取り出します

- ➡「SDカードの入れかた・取り出しかた」(P.110)

本機に接続可能なオプション品について

本機には、次のオプション類が組み合わせできます。オプション品の型番などは、「パイオニア製オプション品一覧」(➡P.132)をご覧ください。

メモ

- 次の型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ディーラーオプション

●バックアイカメラ

別売のバックアイカメラを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。カメラ映像には駐車アシスト線を表示させることができます。また、車種によっては車両に合わせて駐車アシスト線も調整できます。

●ETCユニット

ETCユニット（別売）を接続すると、ETCカードの有効期限について音声で案内したり、ETCカードに記録されている利用履歴、ETCユニットの車載器管理番号を本機の画面で確認することができます。

●ETC2.0ユニット

ETC2.0ユニット（別売）を接続すると、上記「ETCユニット」の機能に加えて、渋滞回避、安全運転支援等の情報提供サービスを利用できます。また、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスを導入する予定です。

※本機はETC2.0のすべてのサービスのご利用を保証するものではありません。

パイオニア製オプション

●ドライブレコーダー

パイオニア製ドライブレコーダーユニット「VREC-DS810DC」(市販)を接続すると、本機を通して映像の確認や設定の操作を行うことができます。

メモ

- 機能および操作方法は、ドライブレコーダーに付属の『はじめにお読みください』および『取扱説明書』をご覧ください。

●ネットワークスティック

パイオニア製ネットワークスティック（市販）を接続すると、専用サーバーへ接続して本機の通信機能をご利用いただけます。ネットワークスティックのご購入代金には、最大約3年間分（ご使用開始日から当月末までの日数分＋35ヶ月間分）の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合は、パイオニア製UIM-4（市販）のご購入もしくはネットワークスティックの再購入が必要です。詳しくは以下をご覧ください。

<<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/uim-1/>>

メモ

- docomo in Car Connectサービスを利用するには、別途契約が必要です。
- 電話としての機能はありませんのでご注意ください。

● リアモニター

パイオニア製リアモニター「TVM-FWシリーズ」/「TVM-Wシリーズ」/「TVM-PWシリーズ」(市販)を接続すると、走行中でも後席の同乗者はTVなどを楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像は次のとおりです。

○：表示します ×：表示しません

	リアモニター出力	
	RCA	HDMI
DVD-Video/DVD-VR	○	○
TV	○	○
USBの映像ファイル	○	○
SDの映像ファイル	○	○
AUX/ドライブレコーダー	○	○
HDMI/ドライブレコーダー	×	○
ナビゲーション	×	×
バックアイカメラ	×	×
各種メニュー画面	×	×
AVソース画面	×	×

● HDMI分配ユニット

パイオニア製HDMI分配ユニット(市販)をお使いいただくと、複数のモニターに高画質な映像分配が可能になります。

● 各種接続ケーブル

パイオニア製の各種接続ケーブル(市販)を使用すると、本機にiPhoneやHDMI機器をつないで、音楽や映像を楽しむことができます。詳しくは「接続ケーブル一覧」(➡P.133)をご覧ください。

パイオニア製オプション品一覧

商品名	型番
ネットワークスティック	ND-DC5
ネットワークスティック通信サービス更新料	UIM-4
ドライブレコーダーユニット	VREC-DS810DC
GPSアンテナ	AN-G050 (5m)
AV入力用変換ケーブル	CD-VRM200 (2m)
ミニジャックケーブル	CD-150M (1.5m)
	CD-V150M (1.5m)
	CD-450M (4.5m)
ミニジャック延長ケーブル (AV用)	CD-V200ME (2m)
電源配線キット	RD-233 (3m)
電源コード	RD-N002
	RD-N001
RCA分配ピンケーブル (オス-メス)	CD-20Y (20cm)
RCAピンケーブル (オス-オス ステレオ)	CD-051 (5m)
	CD-032 (3m)
	CD-052 (5m)
デュアルRCAピンケーブル	CD-002W (25cm)
HDMIケーブル (Type A-Type A オス-オス)	CD-HM022 (2m)
	CD-HM031 (3m)
	CD-HM052 (5m)
iPhone/iPod用USB変換ケーブル (Lightning)	CD-IU010 (50cm)
iPhone/iPod用USB変換ケーブルセット (Lightning)	CD-IU021
USB接続ケーブル	CD-U710 (1m)

接続ケーブル一覧

接続機器				
機種	コネクタ形状	ナビ背面 接続端子	接続方法	パイオニア製ケーブル
iPhone / iPod	Lightning コネクタ / USB Type-C® コネクタ	USB接続端子 (Type A)	USB接続	「CD-U420」 + 「CD-IU010」 または 「CD-IU021」
		USB接続端子 (Type A) HDMI入力端子 (Type A)	HDMI接続	「CD-IU021」 + 「CD-HM022」 または「CD-IU010」 + 「CD-U420」 + 「CD-HM022」 (Lightning-Digital AV アダプタ (Apple社製) が必要です)
USBメモリー など	USB Type A	USB接続端子 (Type A)	USB接続	「CD-U420」
AUX (外部映像機器/ ドライブレコー ダー)	ミニジャック	AUX入力端子	ミニジャック ケーブル 接続*	「CD-V150M」または 「CD-VRM200」
HDMI機器	HDMI Type A	HDMI入力端子 (Type A)	HDMI接続	「CD-HM022」または 「CD-HM031」または 「CD-HM052」
HDMI入力対応 リアモニター	HDMI Type A	HDMI出力端子 (Type A)	HDMI接続	「CD-HM022」または 「CD-HM031」または 「CD-HM052」

※ 長さが足りないときは、ミニジャック延長ケーブル「CD-V200ME」をお使いください。

ドライブレコーダーを使ってみよう

パイオニア製ドライブレコーダーユニット「VREC-DS810DC」(市販)を接続すると、本機が持つ緯度経度や速度などの情報の共有や、本機を通して映像やメッセージの確認、およびドライブレコーダーユニットの操作を行うことができます。(ドライブレコーダーリンク)

ドライブレコーダーユニットを接続した後は、ドライブレコーダーリンク機能の設定を行ってください。➡「ドライブレコーダーの設定を行う」(P.33)

メモ

- はじめて本機と接続したときは、本機のGPS測位またはセンサー学習完了までドライブレコーダーリンク機能が動作しないことがあります。
- 走行中は**REC**キーのみ操作できます。ドライブレコーダーからの出力映像も表示されません。
- 緯度経度・時速の情報は撮影中の画面では確認できません。撮影後のファイルに表示されます。
- リバース連動ビュー接続で、ドライブレコーダーをバックアイカメラとして使用している場合には、リアモニターへ出力される映像は、バックアイカメラ映像のみとなります。

ドライブレコーダーの映像を表示する

1 AVメニューを表示します

●「おすすめモード」の場合

画面を右へ1回フリックします。



●「カンタンモード」の場合

オーディオソースを選ぶにタッチします。



2 ドライブレコーダーにタッチします



ドライブレコーダーの映像が表示されます。



画面右上の **≡** にタッチすると、ドライブレコーダーを操作するためのタッチキーが表示されます。

メモ

- ドライブレコーダーユニットの操作方法や内容については、ドライブレコーダーユニットに付属の『取扱説明書』をご覧ください。

バックアイカメラを使ってみよう

▲ 注意

- 設定は車の移動や停車を伴います。周囲の安全、交通法規に注意してください。
- バックアイカメラおよびバック信号入力が接続されていることをご確認の上、設定を開始してください。

本機にバックアイカメラ（別売）を接続して、車の後方の映像を画面に表示できます。

バックアイカメラを接続した後は、本機の設定を行ってください。➡「カメラの設定を行う」(P.29)

バックするときにバックアイカメラ映像を表示する

シフトレバーをリバース (R) の位置にすると、車両後方の映像に切り換わります。駐車場で後退するときなどに表示すると便利です。

1 シフトレバーをリバース (R) にします

バックアイカメラの映像が表示されます。






シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面は元の表示に切り換わります。

💡 メモ

- バックアイカメラの映像表示中に **X** にタッチすると、バックアイカメラ映像を解除します。
- ナビゲーションを起動してすぐにシフトレバーをリバース (R) に入れると、カメラ映像のみが表示され、駐車アシスト線や「車両周辺を直接確認してください。」のメッセージは表示されません。これらの表示やメッセージは少し遅れてカメラ映像上に表示されます。メッセージが表示される前も車両周辺を直接確認してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは「保証書とアフターサービス」(➡P.157)をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
電源が入らない、動作しない。	原因：エンジンがかかっていない。 処置：エンジンをかけてください。
	原因：ヒューズが切れている。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
	原因：電源ケーブルが正しく接続されていない。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
	原因：周囲の温度が極度に低いまたは高い。 処置：本機には、使用温度範囲(➡P.158)があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調整してください。
起動に時間がかかるときがある。	原因：本機がシステムの最適化を行っている。 処置：自動的に行われる処理で、故障ではありません。
起動時にバックアイカメラ画像(黒画像)になってしまう。	原因：バックアイカメラの極性の設定が正しくない。 バックアイカメラを接続していない状態となっている(使用する場合)。 処置：本体ボタンの  、  、  のいずれかのボタンにタッチした後、エンジンを切らずにバックアイカメラの極性を正しく設定し直してください。➡「カメラの設定を行う」(P.29) 解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
バックアイカメラ画像が映らない。	原因：バックアイカメラの設定が正しくない。 処置：お使いのバックアイカメラに応じて、「接続するバックカメラの種類」(➡P.30)でHDカメラまたはノーマルカメラを選択してください。
タッチ操作していたら急に画面に何も表示されなくなりました。	原因：誤ってAVメニューの 画面OFF にタッチしてナビスタンバイ状態にした。 処置：画面にタッチして、ナビスタンバイ状態を解除してください。
画質調整ができない。	原因：停車していない。またはパーキングブレーキをかけていない。 処置：安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	原因：周囲の温度が極端に低い。 処置：周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	原因：走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーにタッチしている。 処置：安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	原因：設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーにタッチしている。 処置：本書または『ユーザーズガイド』で設定や接続状態を確認してください。解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
<input checked="" type="checkbox"/> ボタンでトラックダウンができなくなった。	原因：Apple CarPlayまたはAndroid Auto が接続されている。 処置：Apple CarPlayまたはAndroid Auto が接続されている場合は、自動的にSiriやGoogle アシスタント を呼び出す機能に切り換わります。AVソース画面のトラックダウンボタンやステアリングリモコンでトラックダウンができます。 ➡「AVソースを再生する」(P.105)
本機とBluetooth対応機器をBluetooth接続できない。	原因：Bluetooth対応機器を登録していない。 処置：接続したいBluetooth対応機器を本機に機器登録してください。 ➡「Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）（初回のみ）」(P.42)
ハンズフリー用にBluetooth接続していたiPhoneやスマートフォンが切断されている。	原因：Apple CarPlayまたはAndroid Auto が接続されている。 処置：Apple CarPlayまたはAndroid Auto 接続後は、Apple CarPlayまたはAndroid Auto 接続しているiPhoneもしくはスマートフォンのみで通話が可能です。
本機とWi-Fiテザリング対応機器をWi-Fi接続できない。	原因：Wi-Fiテザリング対応機器の登録をしていない。 処置：接続したいWi-Fiテザリング対応機器を本機に機器登録してください。➡「通信機器（Wi-Fiテザリング）を登録する」(P.36)
	原因：Wi-Fiテザリングが契約されていない。 処置：Wi-Fiテザリング対応機器のキャリアによってはテザリングの契約が必要な場合があります。お使いの通信機器の契約をご確認ください。
Wi-Fiテザリング、または車内Wi-Fiスポットを利用していたのにWi-Fiが切断されている。	原因：Apple CarPlayがワイヤレス接続されている。 処置：Wi-FiテザリングとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時にはご利用になれません。再度Wi-Fiテザリング設定を行うことでApple CarPlayのワイヤレス接続を終了することができます。 ➡「通信機器（Wi-Fiテザリング）を登録する」(P.36) Wi-FiテザリングとApple CarPlayを同時に使用したい場合は、Apple CarPlayを利用するiPhoneをUSB接続してください。
通信を使ったバージョンアップが終了しない。	原因：ダウンロードするデータ量が多いため、更新に時間がかかっている、または通信環境が悪い。 処置：ダウンロードするタイミングによっては、データ容量が2 GB ～ 3 GBになる場合があります、バージョンアップに2時間以上かかることがあります。通信環境が悪い場合には、通信環境の良い場所でお試してください。

ナビゲーション	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
自車位置を測位できない。	原因：トンネルの中やビルの駐車場など、GPS衛星の電波がささげられる場所にいる。 処置：GPS感度の良い場所に移動してください。
	原因：GPSアンテナの上に電波をささげる物を置いている。 処置：GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	原因：GPS受信感度が低い。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビゲーション	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
自車位置が正しくない。	<p>原因：自車位置がずれている。 処置：GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。</p> <p>処置：センサーが利用可能となるまでの初期学習中は、自車位置のずれが発生する可能性があります。この場合は初期学習が完了するまでお待ちください。</p> <p>原因：車速パルスが正しく入力されていない。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>原因：3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。 処置：3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
突然ルート案内が終了した。	<p>原因：ルート案内中のiPhoneをApple CarPlay接続した。または、ルート案内中のAndroidデバイスをAndroid Auto接続した。本機のルート案内と、Apple CarPlay/Android Autoのルート案内は同時にはご利用になれないため、本機のルート案内が終了します。</p> <p>処置：本機の操作にて再度ルートを設定してください。 Apple CarPlay/Android Autoのルート案内中に本機のルート案内を開始した場合は、Apple CarPlay/Android Autoのルート案内が終了します。(ルート案内中ではないiPhoneをApple CarPlay接続した場合も本機のルート案内が終了することがありますが、iPhoneの再起動で改善する場合があります。ルート案内中ではないAndroidデバイスをAndroid Auto接続した場合、Android Autoの自発的なルート案内再開により、本機のルート案内が終了することがあります。本機のルート案内を使いたい場合には、Android Auto画面もしくはAndroidデバイスの操作にてルート案内を終了してから、本機と接続してください。)</p>
地図の向きが変わらない (自車マークが上でない 方向に向かう)。	<p>原因：地図の向きがノースアップビューになっている。 処置：方位マークをタッチして地図の向きをヘディングアップビューに変更してください。➡「現在地の地図(現在地画面)」を表示する」(P.68)</p>
走行を開始しても地図が動かない。	<p>原因：現在地画面を表示していない。 処置：▲ボタンにタッチして、現在地画面にしてください。</p>
ナビゲーションの案内音声が出ない。	<p>原因：ナビゲーションの「案内音」設定がOFFになっている。 処置：ナビゲーションの「案内音」設定をONにしてください。 ➡「ナビゲーション(操作音・案内)の音量」(P.49)</p> <p>原因：ナビゲーションの「案内音量」設定が0になっている。 処置：ナビゲーションの「案内音量」設定を調整してください。 ➡「ナビゲーション(操作音・案内)の音量」(P.49)</p>

ナビゲーション	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ナビゲーションの案内音量が変更される。	<p>原因：ガイド音声発話中に本体の\square \square \square ボタンにタッチすると、AVソースではなく案内音量が変更されます（ナビゲーションの「音量キーによる案内音量調整」がONのとき）。</p> <p>処置：ナビゲーションの案内音量を本体の音量\square \square \square ボタンで変更したくないときは、「音量キーによる案内音量調整」をOFFにしてください。 ➡「ナビゲーション（操作音・案内）の音量」(P.49)</p>
ナビゲーションの案内音量が大きくなった。	<p>原因：ナビゲーションの「表示モード設定」で「カンタンモード」を選択している。</p> <p>処置：「カンタンモード」では「おすすめモード」よりも+2 dB大きな音量で案内します。大きすぎる場合は「案内音量」設定を調整するか、表示モードを「おすすめモード」に設定してください。 ➡「ナビゲーション（操作音・案内）の音量」(P.49) ➡「本機の表示モードについて」(P.16)</p>
地図上に渋滞情報や交通情報が表示されない。	<p>原因：受信したVICS情報は、表示されるまで数分かかることがある。</p> <p>処置：表示されるまで、お待ちください。</p> <hr/> <p>原因：VICSの受信感度が良くない。</p> <p>処置：放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー（残響音）が大きく聞こえる。	<p>原因：通話相手の声（スピーカーからの音声）が音声入力用マイクに入り込んでいる。</p> <p>処置：エコーは相手の声が車両スピーカーを通して音声入力用マイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。</p>
ハンズフリー通話時に、通話がしづらい。	<p>原因：エアコンの風や音が音声入力用マイクに影響している。</p> <p>処置：マイクの位置をエアコンの風や音が影響しない場所に変更することで症状を改善できます。</p>
オーディオ共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
テレビやUSBなどの映像を見ることができない。	<p>原因：走行中である。</p> <p>処置：本機は、安全のため走行中にテレビやUSBなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。</p> <hr/> <p>原因：パーキングブレーキ線を接続していない。</p> <p>処置：お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
音が出ない。	<p>原因：オーディオの音量が0になっている。</p> <p>処置：本体の\square \square \square ボタンにタッチして音量を調整してください。</p>

オーディオ共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
音声案内時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。	<p>原因：「音量設定」の「案内音声時AV音量」設定が「消音」または「ATT(-10dB)」に設定されている。</p> <p>処置：「案内音声時AV音量」設定を「音量変化なし」に変更してください。➡「ナビゲーション(操作音・案内)の音量」(P.49)</p>
ハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れる。	<p>原因：本機がオーディオの音を消している。</p> <p>処置：自動的に行われる処理で、故障ではありません。</p>
前／後／左／右のスピーカーから音が出ない。	<p>原因：前後左右の音量バランスの調整が適切でない。</p> <p>処置：各スピーカーの音量バランスを正しく調整・設定してください詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
リアモニターに映像が映らない。	<p>原因：HDMI機器を5台（リアモニター 3台、HDMI分配ユニット2台）を超えて接続している。</p> <p>処置：接続できるHDMI機器はHDMI分配ユニットを含め、最大5台までです。</p>
リアモニターに表示していたドライブレコーダーの映像がリアカメラのみになった。	<p>原因：ドライブレコーダーをリバース連動ビュー方式で接続しているため、シフトレバーをリバース(R)に入力するとリアカメラ映像のみを表示する。</p> <p>処置：リバース(R)を解除してください。</p>

FM/AM	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	<p>原因：放送局の電波が弱い。</p> <p>処置：他の放送局を選局してください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
	<p>原因：周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。</p> <p>処置：受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。</p>
自動選局できない。	<p>原因：強い電波の放送局がない。</p> <p>処置：手動で選局してください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
FMは受信するが、AMが受信できない。受信感が悪い。	<p>原因：アンテナコントロールが接続されていない。</p> <p>処置：お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>原因：自動車のアンテナが伸びていない。</p> <p>処置：アンテナを十分に伸ばしてください。</p>

DVD	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
再生できない。	原因：本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 処置：本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：ファイナライズされていないディスクを挿入している。 処置：ファイナライズされたディスクを挿入してください。
	原因：ディスクが汚れている。 処置：ディスクを取り出し、メガネ拭き等でやさしくふき取ってください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	原因：ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。 処置：ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	原因：視聴制限がかかっている。 処置：視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	原因：複数の言語が収録されていないDVDを再生している。 処置：複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	原因：ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。 処置：ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	原因：初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。 処置：初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	原因：複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 処置：複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	原因：複数のアングルが収録されていない場面で操作している。 処置：複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。 または暗い。	原因：ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合がある。) 処置：アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	原因：ディスクが禁止している操作である。 原因：ディスクの構造上対応できない操作をしている。 処置：この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	原因：ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。 処置：□(停止)にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
CD-RやCD-RW、 CD-ROMを再生できない。	<p>原因：ディスクがファイナライズされていない。 処置：ディスクをファイナライズしてください。</p> <p>原因：ディスクが汚れている。 処置：ディスクを取り出し、メガネ拭き等でやさしくふき取ってください。</p>
WMA/MP3/AACファイル を再生できない。	<p>原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。</p> <p>原因：対応していないビットレートで記録されている。 処置：対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルに切り換えてください。</p> <p>原因：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 処置：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。</p>
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	<p>原因：ファイルの形式と拡張子があっていない。 処置：ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。</p>
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	<p>原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。</p>
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	<p>原因：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 処置：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。</p>
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	<p>原因：WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。 処置：ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。</p>

地上デジタルテレビ	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	<p>原因：受信状態が悪くなった。 処置：受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。</p>

地上デジタルテレビ	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「プリセットチャンネルがありません」というメッセージが表示される。	<p>原因：チャンネルスキャンをしていない。 処置：プリセットモードを「エリアモード」ではなく、「ホームモード」または「ドライブモード」ではじめて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
	<p>原因：自車位置の移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。 処置：他の中継局（チャンネル）に切り換えてください。チューナ利用設定の「オート」やオート放送局サーチ設定により、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
	<p>原因：放送局（チャンネル）が増えたり、自車位置が他のエリアに移動して受信環境が変わった。 処置：受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
	<p>原因：受信レベルが低下して、放送が受信できない。 処置：受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に「ワンセグ切り換え可マーク」が表示されているときは、ワンセグ放送に切り換えることができます。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
	<p>原因：車両に電波シールドガラスが使われている。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
メッセージが表示され、視聴ができない。	<p>原因：本機が対応しない放送を視聴しようとしている。 処置：以下の放送には対応していません。対応している放送に切り換えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有料放送 ● 双方向通信を使うデータ放送 ● ワンセグのデータ放送
画質が悪くなった。	<p>原因：ワンセグに切り換わっている。 処置：ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、サービス切換にタッチします。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>

SD/USB	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
WMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルを再生できない。	<p>原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.114)</p>
	<p>原因：対応していないビットレートで記録されている。 処置：対応しているビットレートで記録されたファイルを再生してください。➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.114)</p>
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルが見つからない。	<p>原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.114)</p>

SD/USB	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
保存した映像ファイルを再生すると、音声は出ますが、映像が見えない。	原因：走行中である。 処置：走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	原因：SDカードが正しくフォーマットされていない。 処置：専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 < https://www.sdcard.org/ja/ >

Apple CarPlay (iPod)	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
接続できない。 うまく再生できない。	原因：パイオニア製iPhone/iPod用接続ケーブル（市販）が正しく接続されていない。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。 原因：お使いのiPhone/iPodが本機に対応していない。 処置：対応iPhone/iPodについては、下記URLでご確認ください。 < https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/ > 適合情報のないiPhone/iPodについては動作確認しておりませんのでご注意ください。
iPhoneなどをBluetooth Audioとして使用できない。	原因：Bluetooth機器登録をしていない。 処置：接続したいiPhoneなどを本機に機器登録してください。 ➡「Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）（初回のみ）」（P.42） 原因：Apple CarPlayの接続中である。 処置：Apple CarPlayを使用中は本機のBluetooth Audioを使ったiPhoneとの接続は行えません。Apple CarPlayとBluetooth接続の切り換えについて詳しくは「接続方法の切り換え」（➡P.102）102）をご覧ください。
Apple CarPlayが動作しない。Apple CarPlayのアイコンが利用可能な状態にならない。	原因：iPhoneと本機の接続が正しくない。 処置：iPhoneと本機を正しく接続してください。 iPhoneとの接続については、以下を参照してください。 ➡「iPhoneの接続」（P.100）
iPhoneにインストールしたAppがApple CarPlay画面に出てこない。	原因：インストールされたAppがApple CarPlayで動作するAppではない。 処置：Apple CarPlayに対応したAppをお使いください。
Wi-Fiテザリング、または車内Wi-Fiスポットが同時に使用できない。	原因：Apple CarPlayがワイヤレス接続されている。 処置：Wi-FiテザリングとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時にはご利用になれません。再度Wi-Fiテザリング設定を行うことでApple CarPlayのワイヤレス接続を終了することができます。 ➡「通信機器（Wi-Fiテザリング）を登録する」（P.36） Wi-FiテザリングとApple CarPlayを同時に使用したい場合は、Apple CarPlayを利用するiPhoneをUSB接続してください。

Android Auto	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
Android Auto が動作しない。Android Auto のアイコンが利用可能な状態にならない。	<p>原因：Android 端末と本機の接続が正しくない。</p> <p>処置：Android 端末と本機を正しく接続してください。 スマートフォンとの接続については、以下を参照してください。 ➡「スマートフォンの接続」(P.103) (本機はワイヤレス接続の Android Auto は使用できません。)</p>
	<p>原因：Android 端末の設定が正しくない。</p> <p>処置：Android 端末の設定を確認してください。</p>
Bluetooth Audio	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
Bluetoothを使ってiPhone/スマートフォンなどと接続できない。	<p>原因：Bluetooth機器登録をしていない。</p> <p>処置：接続したいiPhone/スマートフォンなどを本機に機器登録してください。➡「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(P.42)</p>
	<p>原因：接続していたiPhone/スマートフォンなどの機器を別の機器に変えた。</p> <p>処置：変えた機器を本機に登録するか、登録済のBluetooth機器に変えた場合はBluetooth機器の切り換え操作を行ってください。</p>
再生できない。	<p>原因：Bluetooth機器登録をしていない。</p> <p>処置：Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。➡「Bluetooth対応機器を登録する(ペアリング)(初回のみ)」(P.42)</p>
	<p>原因：登録したBluetooth機器がBluetooth Audio機器として設定されていない。</p> <p>処置：Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。</p>
リピートやランダム再生ができない。	<p>原因：Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0 以下である。</p> <p>処置：プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
Bluetooth Audioソースとして登録したiPhoneなどの機器が使用できない。	<p>原因：同じ機器または別の機器をUSB接続している。</p> <p>処置：Bluetooth Audioソースとして登録した機器と、USB接続した機器が異なる機器であっても、同時に使用することはできません。この場合、Bluetooth Audioソースとして登録した機器は使用できなくなりますので、Bluetooth Audioソースとして登録した機器を使用する場合は、USB接続した機器を取り外してください。</p>

docomo in Car Connect	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
サービス利用登録の画面を表示できない。	<p>原因：パイオニア製ネットワークスティック（市販）が接続されていない。</p> <p>処置：パイオニア製ネットワークスティック（市販）を本機に接続してください。接続済みの場合は、ネットワークスティックを抜き差ししてから少し時間をおいて再度ご確認ください。</p>
車内Wi-FiスポットがONにならない。	<p>原因：docomo in Car Connectサービスが有効でない。</p> <p>処置：docomo in Car Connectサービスへの加入（利用登録、チャージ）を行ってください。</p> <p>詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
チャージしても、車内Wi-FiスポットがONにならない。	<p>原因：サーバーとの同期に時間がかかっている。または電波受信状況が悪く、同期がうまくできていない。</p> <p>処置：しばらくしてからご確認ください。</p> <p>処置：電波受信状況の良い場所でご確認ください。</p> <p>処置：エンジンOFF/ONをお試しください。</p>
チャージしても、サービス利用期限が更新されない。	<p>原因：サーバーとの同期に時間がかかっている。または電波受信状況が悪く、同期がうまくできていない。</p> <p>処置：しばらくしてからご確認ください。</p> <p>処置：電波受信状況の良い場所でご確認ください。</p> <p>処置：エンジンOFF/ONをお試しください。</p>
車内Wi-FiスポットがONになっているが、iPhone/スマートフォンからつながらない。	<p>原因：接続できるデバイス数の上限を超えている。またはネットワーク名（SSID）、パスワードが正しくない。</p> <p>処置：本機のWi-Fiスポットに接続できるデバイスの上限は5台までです。</p> <p>処置：本機のネットワーク名（SSID）、パスワードの設定に間違いがないかご確認ください。</p> <p>処置：接続するデバイス側のWi-Fi設定に間違いがないかご確認ください。</p>
車内Wi-Fiスポットが「ON（一時停止中）」と表示され、iPhone/スマートフォンからつながらない。	<p>原因：一定時間、車両を走行させていない。</p> <p>処置：一定時間、車両の走行を認識できていないため、車内Wi-Fiスポットを停止しています。車両を走行させると使用できるようになります。➡「車内Wi-Fiスポット機能の動作条件」(P.38)</p>

エラーメッセージと対処方法

共通項目	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
スピーカーの配線、または本機に異常を検知しました。 スピーカーの配線を確認してください。配線を確認後、メッセージが表示され続ける場合はパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。 処置：スピーカーの接続状態を確認後、エンジンをかけ直してもメッセージが消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
高温を検出したため、15秒後に本機を停止します。しばらくしてから、エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示され続ける場合はパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：本機内部の回路(測位・ハンズフリー等)に異常が発生している。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
セキュリティ機能の異常を検知しました。 パイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：本機内部のセキュリティ回路に異常が発生している。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビゲーション	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
探索できませんでした。 付近にルート探索対象道路がありません。 位置を修正してください。	原因：目的地または出発地の場所が適切ではない。 処置：目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	
自転車位置修正できませんでした。	原因：自転車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。 処置：自転車位置修正可能な道路(一般道路と有料道路が並行しているような道路)があるときに操作してください。

渋滞情報	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。	原因：スマートループ渋滞情報™を取得できていない。 処置：時間や場所をずらしてから、再度受信してください。
VICS情報が取得できませんでした。	原因：VICS情報を取得できていない。 処置：時間や場所をずらしてから、再度受信してください。
自車位置が案内中のルート上から外れているため、渋滞チェックできません。	原因：自車位置がルートにないために、渋滞の案内ができない。 処置：自車位置がルート上に表示されてから再度操作してください。

通信	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
サーバーで障害が発生しました。	原因：何らかの原因で回線接続に失敗している。 処置：しばらくしてから再度操作してください。
ネットワークで障害が発生しました。	
サーバーが使用できません。しばらくしてからアクセスしてください。	
データ通信タイムアウトが発生しました。	原因：何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。 処置：しばらくしてから再度操作するか、エンジンをかけ直してください。
データの取得ができませんでした。	
エラーが発生しました。	
通信機器が接続されていません。	原因：iPhone/スマートフォンなどのWi-Fiテザリング対応機器またはパイオニア製ネットワークスティック（市販）が接続されていない。 処置：iPhone/スマートフォンなどのWi-Fiテザリング対応機器またはパイオニア製ネットワークスティック（市販）を接続してください。
サーバーメンテナンス中です。しばらくしてから操作してください。	原因：サーバーのメンテナンスを行っている。 処置：サーバーメンテナンスが終了するまでお待ちください。

Bluetooth	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
通信機器が接続されていません。	原因：iPhone/スマートフォンなどのBluetooth機器が接続されていない。 処置：iPhone/スマートフォンなどのBluetooth機器を接続してください。

SDカード	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
このSDカードは本機では使用できません。	原因：本機で使用できないSDカードを挿入した。 処置：本機が対応するSDカードをご確認ください。 ➡「仕様」(P.158)
	原因：SDカードが正しくフォーマットされていない。 処置：専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 < https://www.sdcard.org/ja/ >

USB	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
USBを確認してください。	原因：本機で使用できないUSB接続機器を接続した。 処置：本機が対応するUSB接続機器をご確認ください。 ➡「仕様」(P.158)
再生できないUSBです	
USBハブエラー	原因：USB HUBが接続されている。 処置：USB HUBを取り外してください。
過電流保護の為、USBの接続を中止しました。 そのUSB機器を本機に接続しないでください。 再起動して下さい。	原因：USB接続している機器の消費電流が規定値を越えている。 処置：これらの機器をすべて取り外してエンジンをかけ直してください。指定以外のUSB機器（ハードディスクやUSB扇風機など）は接続しないでください。

iPhone/スマートフォン	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
電話帳の読み込みができませんでした。	原因：メールアドレスや電話番号が登録されている電話帳が存在しない。 処置：iPhone/スマートフォンの電話帳を確認してください。

音楽ディスク	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
高温、または低温のため、再生できません。	原因：本機の内部温度が高い、または低い。 処置：ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
再生できないディスクです。	原因：本機で再生できないディスクを使用している。 処置：本機で再生できるディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。

映像ディスク	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
高温、または低温のため、再生できません。	<p>原因：本機の内部温度が高い、または低い。</p> <p>処置：ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。</p>
リージョンコードが違います。	<p>原因：本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。</p> <p>処置：本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。</p> <p>詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
再生できないディスクです。	<p>原因：本機で再生できないディスクを使用している。</p> <p>処置：本機で再生できるディスクに交換してください。</p> <p>詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
再生できません。	<p>原因：再生しようとしているファイルに本機では再生できないオーディオフォーマットが含まれている。</p> <p>処置：本機で再生可能なオーディオフォーマットを確認してください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
再生できません。	<p>原因：ディスクが極端に汚れている。またはディスクにキズやそりがある。</p> <p>処置：ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。</p>
著作権で保護されたファイルです。	<p>原因：再生しようとしているファイルが著作権保護されている。</p> <p>処置：本機ではDRM（デジタル著作権管理）付きのファイルの再生には対応しておりません。</p>

地上デジタルテレビ	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
アンテナ接続エラーの可能性あります。	<p>原因：地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。</p> <p>処置：お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

docomo in Car Connect	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
ネットワークスティックを認識できません。しばらくしてから操作していただくか、取付状態をご確認ください。	<p>原因：パイオニア製ネットワークスティック（市販）が接続されていない。または通信の準備中である。</p> <p>処置：パイオニア製ネットワークスティック（市販）を本機に接続してください。接続している場合は、しばらくしてから操作してください。</p>
車内Wi-FiスポットをONにできません。車内Wi-FiスポットをONするには、docomo in Car Connectの利用登録またはチャージが必要です。	<p>原因：docomo in Car Connectサービスが有効でない。</p> <p>処置：docomo in Car Connectサービスの利用登録またはチャージを行ってください。</p> <p>詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>

docomo in Car Connect	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
docomo in Car Connectの利用期限が切れています。	原因：docomo in Car Connectサービスが有効でなくなった。 処置：docomo in Car Connectサービスのチャージを行ってください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
Wi-FiテザリングをOFFにし、車内Wi-FiスポットをONにしました。	原因：Wi-Fiテザリングと車内Wi-Fiスポットが同時に動作できないため。 処置：後に操作した方が優先的にONとなります。車内Wi-FiスポットまたはWi-Fiテザリングのご利用自体に影響はありません。
docomo in Car Connectが有効になりました。 Wi-FiテザリングをOFFにし、車内Wi-FiスポットをONにしました。	原因：docomo in Car Connectサービスが有効になると、車内Wi-Fiスポットが自動的にONになります。このとき、Wi-Fiテザリングは同時に動作できないため、OFFとなります。 処置：後に有効となった方が優先的にONとなります。車内Wi-Fiスポットまたは、Wi-Fiテザリングのご利用自体に影響はありません。

センサー学習	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
車速信号線が未接続です。	処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。	
車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。	
測位不能になりました。 お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口に御相談ください。	原因：ナビゲーション本体の故障、劣化等が発生した。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。	原因：GPSアンテナが接続されていない。または断線、故障、劣化等が発生した。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。
GPSアンテナに異常があります。お買い上げの販売店、または、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。	
内蔵のセンサーが異常です。 お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口に御相談ください。	原因：内蔵のセンサーが故障した。 処置：お買い上げの販売店にご相談ください。

設定の初期化

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻せます。初期化したい項目を選んで初期化できます。

- **工場出荷状態に戻す**を選択すると、本機のすべての設定が初期化されます。

- 1 **田**ボタンにタッチし、トップメニューを表示します
- 2 画面下部の**設定**にタッチします
- 3 **設定初期化**にタッチします
- 4 初期化したい項目にタッチします



- 5 **初期化**にタッチします



選択した設定が工場出荷時の状態に戻ります。

各項目で初期化される設定内容

工場出荷状態に戻す

本機のすべての設定を初期化します。

音質設定の初期化

スピーカー (オーディオ設定) で設定した内容を初期化します。

機能設定の初期化

ナビ機能設定 (ナビ機能設定) および、**地図** (地図設定) で設定した内容を初期化します。

Bluetooth設定の初期化

Bluetoothに関する設定を初期化します。

カメラ設定の初期化

カメラ設定の「バックカメラ入力」、「接続するバックカメラの種類」、「カメラ極性設定」、「駐車アシスト線表示」、「駐車アシスト線調整」、「カメラビュー表示連動設定」、「カメラビュー表示自動OFF時間」の設定を初期化します。

車内Wi-Fiスポット設定

「車内Wi-Fiスポット設定」で設定した内容を初期化します。

Wi-Fiテザリング設定

「Wi-Fiテザリング設定」で設定した内容を初期化します。

学習ルート消去

学習ルートを消去します。本機は、よく使用する道を曜日別に学習し、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します (学習ルート探索)。よく使用する道を変更した場合は、学習ルートを消去して再学習します。

走行軌跡消去

地図画面に表示される走行軌跡を消去します。



本体リセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

メモ

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

- 1  ボタンと  ボタンを同時にタッチして5秒以上経ってから離します



本機が再起動します。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 液晶画面は使用温度範囲内でお使いください。➡「仕様」(P.158)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 温度差がある環境で使用すると、一時的に液晶画面の裏側が曇ることがありますが、故障ではありません。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や消毒液は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - － ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - － 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。

- － 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

使用できないディスクについて

- 次のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
 - － DualDisc
 - － 8 cmディスク（アダプター装着時も含む）
 - － CD 規格外ディスク
 - － ひび、キズ、反りのあるCD



- － 特殊形状のディスク



- － シールなどを貼ったディスク









再生できないディスクについて

- 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - － 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したディスク
 - － ファイナライズされていないディスク

- パケットライトで記録されたディスク
- ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC規格）で記録されたディスク
- NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で記録されたDVD
- リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
- レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
- 「再生できるファイルとメディアの種類」（➡P.114）に適合しないディスク

DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、次のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意 味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
 	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

DVD-VRについて

次のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

USB機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリー等のデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

本機との接続について

- USBメモリーなどのUSBストレージ機器、iPhone/iPod以外（USB扇風機など）は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。

保管上のご注意

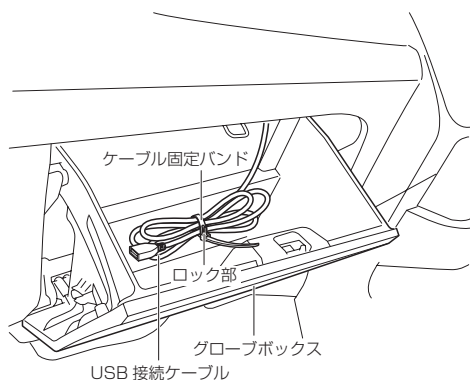
- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

USB接続ケーブルなどの取り扱い方法

- グローブボックス内に収納されているUSB接続ケーブルなどは、ケーブル固定バンドを使用して使いやすい長さに調整してお使いください。

メモ

- ケーブル固定バンドはロック部を押すとゆるめることができます。
- 純正またはオプションのUSBソケットをご利用の場合は、USB接続ケーブルはグローブボックス内に取り付けられておりません。



iPhone/iPodに関するご注意

取り扱い上のご注意

- iPhone/iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhone/iPodは必ず固定してください。iPhone/iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

著作権について

- iPhone/iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

保証書とアフターサービス

保証書

お買い上げの販売店にて必ず、保証書をお受け取りいただき、保管いただくようお願いいたします。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お取り付けした日から3年間です(期間内でも走行距離が6万 kmまで)。製造元の保証書(保証期間1年間)が同梱されている場合は、販売店が別途定める保証期間に準じます。

修理について

修理のご依頼や、取り扱い・お手入れ、その他のお問い合わせなどは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ただし、各種通信機能および関連サービス、他社サービスを利用している機能については、各社の提供サービス状況や運営方針により最低保有期間よりも前にサービスを機能を終了する場合があります。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電圧: 14.4 V DC (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

最大消費電流: 10 A

アース方式: マイナスアース方式

使用温度範囲: - 10 °C ~ + 60 °C

GPS 部

受信方式: 92チャンネルマルチチャンネル受信方式

モニター部

画面サイズ: 9V型HD

画素数:

2 764 800画素[水平1280 X 垂直720 X 3(RGB)]

方式: TFTアクティブマトリクス方式

バックライト: LED光源

タッチパネル: 静電容量方式

表示色数: 1 677万色(Real 8bit)

オーディオ部

最大出力: 50 W × 4

プリアウト最大出力レベル: 2.0 V

13バンドグラフィックイコライザー:

周波数: 50/80/125/200/315/500/800/
1.25 k/2 k/3.15 k/5 k/8 k/12.5 k [Hz]

調整幅: ± 12 dB (2 dB/step)

デコーダー: リニアPCM

スピーカー出力レベル:

調整幅: - 24 dB ~ + 10 dB (1 dB/step)

カットオフ周波数:

ハイパスフィルター: 25/31.5/40/50/63/80/
100/125/160/200/250 [Hz]

ローパスフィルター (サブウーファー): 25/31.5/
40/50/63/80/100/125/160/200/250 [Hz]

カットオフスロープ:

フロント、リア: -6/-12/-18/-24 [dB/oct]
サブウーファー: -6/-12/-18/-24/-30/
-36 [dB/oct]

位相:

サブウーファー: NORMAL/REVERSE

タイムアライメント:

0 cm ~ 350 cm (1.4 cm/step)

外部入出力

【RCA/AUX部】

映像入出力レベル(リアモニター OUT):

1.0 Vpp ± 10 % (signal: White 100 %)

外部音声最大入力レベル(AUX): 2.0 Vrms以下

【HDMI部】

入力部: 1系統(Type A)

出力部: 1系統(Type A)

DVD プレーヤー部

リージョンNo.: 2

対応メディア: DVD (VIDEO MODE、VR MODE)、
DVD-R (DL)、DVD-RW、CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW

デコーディングフォーマット:

MP3: MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA: Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC: MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の
iTunesでエンコードされたもののみ)

周波数特性:

(DVD 値): 20 Hz ~ 20 000 Hz (± 2.5 dB)

(CD 値): 20 Hz ~ 20 000 Hz (+2.5 dB)

S/N:

(DVD 値): 90 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

(CD 値): 85 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ:

(DVD 値): 90 dB (1 kHz)

(CD 値): 85 dB (1 kHz)

高調波歪率: 0.05 % (1 kHz)

FM チューナー部

受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz

音声: ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

音声: モノラル

地上デジタルTV チューナー部

放送方式: 地上デジタル放送方式

受信チャンネル: 470 MHz ~ 710 MHz

地上デジタルTV 用フィルムアンテナ

使用電源: DC 8 V

出力端子: 4 系統(専用プラグ)

SDカード部

ファイルシステム: FAT16/FAT32/NTFS*/exFAT
(SDXC 使用時)

※: 読み取り専用です。

デコーディングフォーマット:

AVI:

(VIDEO)MPEG4/H.263/H.264

(AUDIO)MP3/LPCM
MPEG-PS:
(VIDEO)MPEG-2
(AUDIO)MP3/LPCM
MP4:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
3GP:
(VIDEO)H.263
(AUDIO)AAC
MKV:
(VIDEO)MPEG-4/VC-1/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/vorbis/LPCM
MOV:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
ASF:
(VIDEO)VC-1
(AUDIO)MP3/WMA/LPCM
FLV:
(VIDEO)H.264
(AUDIO)MP3/AAC
M4V:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
MPEG-T5:
(VIDEO)MPEG-2/MPEG-4/H.264
(AUDIO)MP3/AAC

USB部

対応メディア：USB2.0 High Speed

最大電流：2.1 A(Type A)

ファイルシステム：FAT16/FAT32/NTFS*/exFAT

※：読み取り専用です。

デコーディングフォーマット：

AVI:
(VIDEO)MPEG4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/LPCM
MPEG-PS:
(VIDEO)MPEG-2
(AUDIO)MP3/LPCM
MP4:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
3GP:
(VIDEO)H.263
(AUDIO)AAC
MKV:
(VIDEO)MPEG-4/VC-1/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/vorbis/LPCM

MOV:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
ASF:
(VIDEO)VC-1
(AUDIO)MP3/WMA/LPCM
FLV:
(VIDEO)H.264
(AUDIO)MP3/AAC
M4V:
(VIDEO)MPEG-4/H.263/H.264
(AUDIO)MP3/AAC/LPCM
MPEG-T5:
(VIDEO)MPEG-2/MPEG-4/H.264
(AUDIO)MP3/AAC

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン：Bluetooth5.2+EDR

出力：最大+5 dBm (Power class2)

Wi-Fi部

対応規格：IEEE 802.11 b/g/n (2.4 GHzのみ)

対応チャンネル：1-11ch

セキュリティ方式：WPA/WPA2/WPA3

出力：最大+16.5 dBm

外形寸法

本体取付寸法：

236 (W) mm x 134 (H) mm x 161 (D) mm

本体ノーズ寸法：

227 (W) mm x 127 (H) mm x 16 (D) mm

地上デジタルTVフィルムアンテナ：

152 (W) mm x 100 (H) mm x 0.05 (D) mm

GPS アンテナ：

33 (W) mm x 36 (H) mm x 14 (D) mm

質量

本体：2.4 kg

付属品

取扱説明書：1

保証書：1

地図更新用SDカード申込ハガキ：1

個人情報保護シール：1

シリアルNo.ラベル：1

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、

VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

商標・著作権など

- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を取得しています。



□ 007-AL0137

- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、Windows Mediaは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Apple CarPlay、iPhone、iPod、iTunes、LightningおよびSirilは米国、他の国々および地域で登録された Apple Inc. の商標です。日本におけるiPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Apple CarPlayロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが、Appleが定める性能基準を満たしていることを示します。Appleは、車両の操作や安全および規制基準への準拠について一切の責任を負いません。本製品をiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Sirilはマイクを通して機能します。
- このアクセサリを Apple 製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Google、Android、Android Auto、Google Chrome は Google LLC の商標です。
- 互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- SD、SDHC、およびSDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。



- Wi-Fiは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C®とUSB-C®は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。



- LTEは、欧州電気通信標準化機構(ETSI)の商標です。
- FSKARENは、富士ソフトの登録商標です。
- NaviConは、株式会社ミックウェアの登録商標です。
- 「docomo in Car Connect」「dアカウント」は、株式会社NTT ドコモの登録商標です。
- MapFan®はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- This Product uses the Source Code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.2 granted by TRON Forum (www.tron.org).
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Entier (エンティア)は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
 1. 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
 2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるとを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
 3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
 4. 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。

5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米國輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。

- (1) 輸出するとき。
- (2) 海外へ持ち出すとき。
- (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
- (4) 前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2：第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- その他、製品名などの固有名称は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音(録画)したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

ソフトウェア利用規約

最終更新日：2022年4月15日

「ソフトウェア利用規約」(以下「本規約」といいます。) は、パイオニア株式会社(以下「当社」といいます。) が提供する本ソフトウェア(第1条に定義します。) の使用に適用されます。利用者が本ソフトウェアを使用した場合、本規約に同意し、利用者との間で本規約を内容とする契約(以下「本契約」といいます。) が成立したものとみなします。

第1条(定義)

本規約において用いられる用語の意味は以下に掲げるとおりとします。

- (1)「本ソフトウェア」とは、本製品のためにのみ使用されることを条件に当社が提供する、本製品向けファームウェアをいいます。
- (2)「本製品」とは、本ソフトウェアがライセンスされる、当社が販売・提供するカーナビゲーション製品をいいます。
- (3)「利用者」とは、本規約に同意のうえ、本ソフトウェアの使用を開始した個人又は法人をいいます。

第2条(本規約の適用)

本規約は、本ソフトウェアの使用許諾条件及び本ソフトウェアに関する当社と利用者との間の権利義務関係を定めることを目的とし、当社と利用者との間の本ソフトウェアの使用に係る一切の關係に適用されます。

第3条(使用許諾)

当社は、利用者が本規約に同意し、本規約に定める条項を遵守することを条件として、本製品と併用する範囲において、本ソフトウェアを本製品にインストールし使用することができる限定的、非独占的、譲渡不能かつ無償の日本国内における使用権を利用者に対して許諾します。

第4条(権利の帰属)

利用者は、本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社及び当該権利を有する第三者に帰属するものとします。本規約による利用者への使用許諾は、利用者に対する権利譲渡を意味するものではありません。

第5条(利用環境の準備)

1. 本ソフトウェアを使用するためには、利用者の責任と費用において、本製品と、当社サーバーから本ソフトウェアをダウンロードするためのパソコン又はスマートフォンと、そのインターネット接続環境をご用意いただく必要があります。
2. 本ソフトウェアをダウンロードするための端末としてスマートフォンを利用する場合、当社が指定するスマートフォン用アプリを別途ダウンロードいただく必要があります。
3. 利用者は、本ソフトウェアのダウンロード前に、予め本製品の型番を確認し、本ソフトウェアと適合するものであるか確認するものとします。利用者は、本ソフトウェアと適合しない本製品に本ソフトウェアをダウンロードすることが、本製品の動作不良の原因となる場合があることを予め了承するものとします。

第6条(禁止事項)

利用者は、本ソフトウェアの使用にあたり、以下の行為を行うことはできません。

- (1) 当社又は第三者が保有する権利を侵害する行為
- (2) 当社又は第三者に不利益もしくは損害を与える行為
- (3) 他の利用者又はその他の第三者のプライバシーを侵害する行為
- (4) 公序良俗に反する行為
- (5) 法令に違反する行為
- (6) 本ソフトウェアの全部又は一部を複製、翻案、改修、改変等する行為
- (7) 本ソフトウェアに対して、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等を加える行為
- (8) 本ソフトウェアを第三者に頒布、譲渡、貸与、送信し、又は本ソフトウェアの使用を再許諾する行為
- (9) 本ソフトウェアにおける権利表示や商標を削除又は変更する行為
- (10) その他、前各号に準ずる合理的な根拠に基づき当社が不適切と合理的に判断する行為

第7条(免責)

1. 本ソフトウェアは利用者に対し無償で使用許諾されるため、当社は、本ソフトウェアが無償のソフトウェアに対して適用される通常の業界基準に従って開発され使用可能にされていることのみを保証します。
2. 本ソフトウェアは現状有姿のまま提供されるものとし、当社は、以下の事項を保証しません。
 - (1) 本ソフトウェアにエラー、バグ等が存在しないこと
 - (2) 利用者による本ソフトウェアの使用が中断なくあるいはエラーを生じずに行われること
 - (3) 本ソフトウェアが、利用者の要求に合致していること

- (4)本ソフトウェアが、利用者が使用する機器で動作すること
- (5)本ソフトウェアが第三者の著作権その他の知的財産権を侵害していないこと
- 3. 本ソフトウェアの使用により利用者及び第三者に生じた一切の損害に対する当社の損害賠償責任は、当該損害が当社の故意又は重大過失による場合を除き、いかなる場合にも、利用者に直接かつ現実生じた通常の損害に限定され、利用者が購入した本製品の購入代金を上限とします。
- 4. 当社は、理由の如何を問わず、利用者が本ソフトウェアを使用できなかったことに起因して利用者に生じたいかなる損害(逸失利益、ビジネスの中断などによる損害を含みますが、これらに限られません。)について、一切の責任を負わないものとします。
- 5. 利用者は、本ソフトウェアの使用に関して第三者との間で紛争が生じた場合には、当該紛争を自らの責任と費用で解決するものとします。

第8条 (アップデート)

- 1. 利用者は、利用者が当社又は当社が指定する第三者のサーバーに本製品を接続した場合、本ソフトウェアのセキュリティー機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で本ソフトウェアが自動的にアップデートされる場合があることに同意するものとします。
- 2. 利用者は、本ソフトウェアのアップデートに伴い、本ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除される場合があることに同意するものとします。
- 3. 利用者は、アップデートされた本ソフトウェアについても本契約の各条項が適用されることに同意するものとします。

第9条 (本契約の解除)

- 1. 当社は、以下の事項のいずれかに該当し、又は当社が該当すると判断する場合は、利用者に事前に通知することなく、本契約の一部又は全部を解除することができるものとします。
- (1)利用者が本規約に違反した、又は違反するおそれのある利用その他通常の利用から逸脱した利用が確認された場合
- (2)利用者が未成年者等の制限行為能力者であり、親権者など法定代理人の同意を得ずに本ソフトウェアを使用している場合
- (3)利用者が暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力に属しており、又はこれらのものと密接な関係を有している場合
- (4)当社が合理的な理由に基づき、本契約の継続が適当でないとは判断した場合
- (5)その他、当社が必要だと判断した場合
- 2. 当社は、前項に基づき当社が行った措置に起因して利用者又は他の第三者に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。
- 3. 本契約が終了した場合、利用者は本ソフトウェアの使用を直ちに停止し、本ソフトウェアを直ちに廃棄するか、又は当社に返還するものとします。

第10条 (本規約の変更)

- 1. 当社は本規約を変更することができます。この場合、当社は、本規約を変更する旨、変更後の規約の内容及び変更の効力の発生時期を、事前に当社が適当と考える手段により通知するものとします。
- 2. 変更の効力発生後に利用者が本ソフトウェアを利用した場合には、当社は利用者が当該変更同意したとみなします。

第11条 (権利義務の譲渡禁止)

利用者は、本ソフトウェアを使用する権利その他の本契約から生じる権利及び義務を、第三者に譲渡又は移転してはなりません。当社は本契約又は本契約上の当社の一切の権利もしくは義務を自由に譲渡、移転又は承継することができます。

第12条 (分離可能性)

本規約のいずれかの条項又はその一部が、法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された条項の残りの部分は、なお完全にその効力を有するものとします。

第13条 (輸出規制法令の遵守)

日本国及びアメリカ合衆国の法律で認められている以外の方法で、本ソフトウェア及びそれに関連したドキュメントを利用、輸出、再輸出することはできません。特に、以下のいずれの者に対しても本ソフトウェア及びそれに関連したドキュメントを輸出又は再輸出することはできませんが、これに限定されません。

(1)日本国及び米国が禁輸措置を命令している国

(2)米国財務省が特別にしている国民・個人リスト及び米国商務省の懸念顧客リストに記載されている宛先

本ソフトウェア及びそれに関連するドキュメントを利用することにより、第1号に該当する国に在住していないこと、第2号のリストに掲載されていないことを表明し、保証するものとします。また、核兵器、ミサイル、化学兵器、生物兵器又は通常兵器の開発、設計、製造、生産する目的、又は米国の法律で禁止されている目的で本ソフトウェア及びそれに関連するドキュメントを利用しないことに同意されたものとします。

第14条 (準拠法・管轄裁判所)

- 1. 本契約の準拠法は日本法とし、日本国法に従って解釈されるものとします。
- 2. 当社と利用者との間で生じた本契約に関する紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

【改定履歴】

2021年11月1日：Ver1.0発行

2022年4月15日：Ver1.1発行

索引

あ

案内開始	74.76
案内開始画面	75
案内地方向目安線表示	95

い

行き先を探す	61
イコライザー	108
イジェクト	56.61
一時停止地点案内	91
一般道シンプルガイド	89
イルミ連動	50

う

右左折専用レーン案内	91
------------------	----

お

オーディオ設定	59
オーディオソースを選ぶ	61
オートパーキングメモリー設定	92
オートパーキングメモリー編集	92
オートハイウェイモード	90
オートフリーズーム	89
オートリルート	77
オーナーズリンク	18
オービスポイント	96
お客様登録	18
おすすめモード	16.55
お出かけ検索	56.57
音質設定	107
音声認識操作	113
音量設定	49

か

回避エリア	89
学習ルート考慮	88
拡張事象規制エリア表示	95
画質調整	52
カスタムキー	66
カスタムダイレクト	66
カットオフ	108
カメラ極性設定	30
カメラ設定	30
カメラビュー表示自動OFF時間	30
カメラビュー表示連動設定	30
画面OFF	54.58
画面明るさ切替設定	50.51
冠水注意地点マーク表示	94

カンタンモード	16.60
---------------	-------

き

機器登録 / 削除	42
規制情報 / 規制区間表示	95
起動モード	25
逆走警告	90
逆走注意案内	90
教育施設所在案内	91

く

クイックリスト	69
区間旅行時間表示	96

け

ケーブル	128
現在地画面	68
県境案内	91

こ

交差点案内表示	90
更新開始	123
更新データ確認	45
高速道通過時刻表示設定	90
交通情報	58
合流案内	91
ここを登録する	80

さ

サービス利用期限	40
サービス利用登録	39.40
最高速度情報表示	94
サウンドレトリバー	108
サブウーファー	32.108
サブウーファー設定	32.108

し

時間規制考慮	88
自車位置修正	96.97
システム設定・情報	59
施設検索	57
自宅登録する	82
自宅に帰る	57
自動更新設定	45
車内Wi-Fiスポット	37
車内Wi-Fiスポット接続	40
車内Wi-Fiスポット設定	39
車両情報設定	28

車両スイッチ簡易連動	30
住所	57
渋滞	83.85
渋滞オートガイド	92
渋滞情報	83.88
渋滞情報取得開始設定	85
渋滞情報取得時間設定	85
渋滞情報表示	95
渋滞情報表示対象道路	95
渋滞情報連続取得設定	85
手動設定	51
順調表示	95
ショートカット	65
初期化	146
信号機ジャスト案内	90

す

ステアリングオーディオスイッチ	47
ステアリングリモコン設定	29
ステータスバー	64
スピーカー出力レベル	108
スマートIC/ETC専用出入口考慮ルート探索	88
スマートループ渋滞情報	84
スマートループ設定	84

せ

接続アダプター連動	30
接続先設定	36
接続するバックカメラの種類	30
接続中デバイス	40
設定	56.59.61.62
設定値の保存	108
設定値の読み込み	108
設定メニュー	59.62

そ

走行軌跡自動消去	95
走行軌跡表示	95
ソースレベルアジャスター	108
ゾーン30エリア表示	94
速度超過防止警告	90

た

タイムアライメント	108
ダイヤル発信	113
立寄地編集	76

ち

地図色変更	95
地図更新用SDカード送付サービス	117.118
地図設定	59.87.93
駐車アシスト線表示	30

駐車アシスト線	31
駐車アシスト線調整	30.31
駐車場情報マーク表示	96
駐車制限(車種)	28
駐車制限(車両寸法)	28

つ

通常モード	25
通信機器	35
通信設定	59

て

天気予報	65
店頭展示モード	25
電話	58.113
電話・緯度経度	57
電話帳	113

と

到着予想時刻速度	89
登録地マーク簡易表示スケール	93
トップメニュー	56.61
ドライブレコーダー	58.125.129
ドライブレコーダー設定	33

な

ナビ機能設定	59.88
ナビスタンバイ	54
ナビメニュー	57.61

に

入力/出力設定	32.33.34
---------	----------

ね

ネットワークスティック	35.37.125
ネットワークスティック接続状態	40
ネットワークスティック有効期限	40

の

ノーマルモード	72
---------	----

は

バージョンアップ	115
ハイウェイモード	72
パイオニア製オプション品一覧	127
バスブースター設定	108
バックアイカメラ	125.130
バックカメラ入力	30
発着信履歴	113
ハンズフリー通話	113
ハンズフリー通話用マイク	47

ひ

ビーコン即時表示	92
ビーコン即時表示時間	92
ビジュアルランドマーク表示	93
微調整	70
ヒヤリハット地点案内	94
表示モード設定	16
昼/夜 切替	51

ふ

フェーダー/バランス	107
フェリー航路使用条件	88
踏切案内	91
プリセットダイヤル	113
プローブ情報送信設定	84

へ

ペアリング	42
別道路切替	96
便利メニュー	59

ほ

方面案内表示	90
ボトルネック踏み切り表示	94

ま

マイセットアップ	25
----------------	----

も

文字拡大表示	93
--------------	----

ゆ

有料道路使用条件	88
有料道路料金区分	28

よ

夜時間帯設定	51
夜時間帯設定連動	51

ら

ライト点灯案内	92
ラウドネス	108

り

リアモニター	107. 126
リアモニター出力設定	34
リクエスト案内	78
リスニングポジション	108
リセット	147
リフレッシュ案内	91
料金案内	91

履歴・登録地	57
--------------	----

る

ルート	56. 61
ルートアドバイザー	77
ルートアドバイザー自動決定ルート	89
ルートアドバイザー設定	89
ルート再探索	76
ルート消去	79
ルート探索基準	88
ルート探索条件設定	88

れ

連携アプリ	23
連動 OFF	30

ろ

ロゴマーク拡大表示	93
ロゴマーク施設内駐車場表示	93
ロゴマーク表示	93
ロゴマーク表示スケール	93

A

AAC	110
AUX	58
AUX入力設定	32
AV OFF	56. 58. 61. 98
AV画面割り込み	89
AVサイドモード	72
AVソース	98
AVソース画面	100
AVソース設定	101
AVメニュー	58. 62

B

Bluetooth Audio	58. 102
Bluetooth	41

C

CD	58
CD-R/-RW	109

D

docomo in Car Connect	37
DVD/CD	58. 104
DVD-R/-RW	109
DVD設定	101
dアカウント	37

E

ETC2.0/ETC設定	92
ETC2.0アップリンク機能設定	92

ETC2.0ユニット	125
ETC起動時音声案内	92
ETCユニット	125
ETCレーン案内	91

F

FLAC	110
FM/AM	58

H

HDMI	34 58
HDMI分配ユニット	126
Hi-Resオーディオ	101

I

iPhone	103 128
iPod	58

M

MP3	110
MapFan連携登録	18
MapFanスマートメンバーズ	17

N

NaviCon	23
---------------	----

O

ON (一時停止中)	38 39
------------------	-------

R

RCA	34
-----------	----

S

SD	58
SDカード	109 142

T

TV	58
TV設定	101

U

USB	58
USB/SD設定	101
USBメモリー	99 109

W

WAV	110
Wi-Fiテザリング設定	36
WMA	110

1

100 mスケール一方通行表示	93
-----------------------	----

3

3D建物表示	94
--------------	----

6

6ルート探索結果	76
----------------	----

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

※《バージョンアップ、ダウンロード操作、MapFan会員ID連携登録相談》を除く

携帯電話からは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター

※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト

<https://jpn.pioneer/ja/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ (FAQ)

<https://faq.jpn.pioneer/s/>



■電話

《カーナビゲーション、カーAV、ドライブレコーダー、その他システムアップの商品》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)

【携帯電話から】 **050-3097-9332** (IP電話・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

《バージョンアップ、ダウンロード操作、オーナーズリンク登録相談》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】 **0120-702-383** (無料)

【携帯電話から】 **050-3097-9113** (IP電話・有料)

《バージョンアップ、ダウンロード操作、MapFan会員ID連携登録相談》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

担当窓口: MapFan スマートメンバーズサポートセンター (ジオテクノロジーズ株式会社)

【固定電話から】 **0120-721-731** (無料)

【携帯電話から】 **0570-070-701** (ナビダイヤル・有料)

MapFan スマートメンバーズのよくあるお問い合わせ (FAQ)

<https://mapfan.com/contents/faq/smartmembers/>



■ファックス

0120-105-680 (無料)

令和7年5月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.14*

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2025

< KOZZ25I > < CRA5523-A >

